

USER MANUAL

Network Video Recorder

NVR Lite シリーズ

2022 年 3 月初版



目次

CHAPTER 1 製品の概要	1
1.1 背面パネル	1
1.2 リモコン	2
1.3 NVR 顔認識、AI 機能、自動音声警告、魚眼モードなどに関して	3
1.4 カメラ自動接続に関して	3
CHAPTER 2 レコーダーの設置と接続例	4
2.1 接続例(POE 搭載 NVR の場合)	4
2.2 電源接続	5
CHAPTER 3 レコーダー共通オペレーション	5
3.1 付属マウスの使用方法	5
3.2 仮想キーボード(モニター内キーボード)の使い方	6
3.3 パスワード	6
CHAPTER 4 レコーダーの起動	7
4.1 スタート・シャットダウン	7
4.1.1 スタートメニュー	7
4.1.1.1 <画面のロック解除とロック>	7
4.1.1.2 <シャットダウン>	8
4.2 ライブビュー画面の説明	9
4.2.1 カメラクイックツールバー	10
4.2.2 タスクバー	11
4.3 ネットワーク設定	12
4.3.1 基本設定	12
4.3.2 PPPOE	13
4.3.3 ポート設定	13
4.3.4 日付・時間	14
4.3.4.1 <日付と時間>	14
4.3.4.2 <NTP ネットワークタイムプロトコル設定>	14
4.4 IP カメラ設定	15
4.4.1 自動モードでのカメラ接続	15
4.4.2 手動モードでのカメラ接続	16
4.4.3 出力解像度	19
4.4.4 P2P 設定(リモートアクセス情報)	19
CHAPTER 5 レコーダーのシステム設定	20
5.1 チャンネル	20
5.1.1 チャンネル	20
5.1.1.1 <カメラ選択設定>	21
5.1.1.2 <IP チャンネル>	21
5.1.1.3 <POE 電源>	21
5.1.2 ライブ	22
5.1.3 イメージ設定	23
5.1.4 PTZ	24
5.1.4.1 <PTZ コントロール>	26
5.1.5 プライバシー設定	27
5.1.6 モーション	28
5.1.7 人感センサー	29
5.1.8 威嚇	31
5.1.9 Intelligent (インテリジェント機能)	34
5.1.9.1 <物体検知>	34
5.1.9.2 <音声検知>	36

5.2 録画設定	36
5.2.1 エンコード設定	36
5.2.2 録画	38
5.2.2.1 <録画>	38
5.2.2.2 <録画スケジュール>	38
5.2.3 キャプチャ	39
5.2.3.1 <キャプチャ>	40
5.2.3.2 <キャプチャスケジュール>	40
5.3 アラーム	41
5.3.1 モーションアラーム	41
5.3.2 人感センサー	43
5.3.3 IO アラーム設定	44
5.3.4 インテリジェントアラーム設定	45
5.3.4.1 <物体>	45
5.3.4.2 <音声検知>	46
5.3.5 コンビネーションアラーム	48
5.3.6 PTZ 連動	50
5.3.7 異常アラーム	50
5.3.8 アラームスケジュール	52
5.3.9 音声警告	53
5.3.9.1 <ファイル管理>	53
5.3.9.2 <連続再生管理>	53
5.4 AI 設定	54
5.4.1 設定	54
5.4.1.1 <顔認識>	54
5.4.1.2 <人&車両検知>	56
5.4.1.3 <エリア侵入>	57
5.4.1.4 <ライン侵入>	59
5.4.1.5 <人・車カウント>	60
5.4.1.6 <ヒートマップ>	61
5.4.1.7 <密集>	62
5.4.1.8 <行列>	63
5.4.1.9 <スケジュール>	65
5.4.2 顔認識	65
5.4.2.1 <モデル設定>	65
5.4.2.2 <データベース管理>	66
5.4.3 アラーム	68
5.4.3.1 <顔認識>	69
5.4.3.2 特徴検知<マスク有無アラーム>	70
5.4.3.3 <人&車両検知>	71
5.4.3.4 <エリア侵入検知>	72
5.4.3.5 <ライン侵入検知>	73
5.4.3.6 <人・車カウント>	74
5.4.3.7 <密集検知>	75
5.4.3.8 <行列検知>	76
5.4.4 統計	77
5.4.4.1 <顔認識>	77
5.4.4.2 <人&車両検索>	77
5.4.4.3 <人・車カウント統計>	78
5.4.4.4 <ヒートマップ統計>	78
5.5 ネットワーク設定	79
5.5.1 基本設定	79
5.5.1.1 <基本設定>	79
5.5.1.2 <PPPoE>	80
5.5.1.3 <SNMP>	81
5.5.1.4 <ポート設定>	82
5.5.2 DDNS	83

5.5.3 メール	83
5.5.3.1 <メール設定>	84
5.5.3.2 <メールスケジュール>	85
5.5.4 FTP	85
5.5.4.1 <FTP スケジュール>	87
5.5.5 IP フィルター	87
5.5.6 音声アシスタント	90
5.5.7 プラットフォーム	91
5.6 ディスク管理	92
5.6.1 ディスク管理	92
5.6.1.1 <ディスク管理>	92
5.6.1.2 <ディスクグループ>	94
5.6.1.3 <S.M.A.R.T>	95
5.6.2 クラウドストレージ	96
5.7 システム構成	97
5.7.1 基本設定(時間設定、NTP、モニター出力など)	97
5.7.1.1 <基本設定>	97
5.7.1.2 <日付と時間>	98
5.7.1.3 <出力構成>	99
5.7.2 マルチユーザー設定	100
5.7.2.1 <パスワード変更>	100
5.7.2.2 <マルチユーザー追加>	101
5.7.2.3 <ユーザー許可の設定>	102
5.7.3 メンテナンス設定	103
5.7.3.1 <ログ>	104
5.7.3.2 <初期値アップロード>	105
5.7.3.3 <リセットスイッチ設定>	105
5.7.3.4 <アップグレード>	106
5.7.3.5 <パラメータ管理>	106
5.7.3.6 <自動再起動>	107
5.7.3.7 <開発者モード>	107
5.7.4 IP カメラのメンテナンス	108
5.7.4.1 <IP カメラアップグレード>	108
5.7.4.2 <初期値アップロード>	109
5.7.4.3 <IP カメラ再起動>	109
5.7.4.4 <パラメータ管理>	110
5.7.5 システム情報	110
5.7.5.1 <システム情報>	110
5.7.5.2 <チャンネル情報>	111
5.7.5.3 <録画情報>	111
5.7.5.4 <ネットワーク情報>	112
CHAPTER 6 検索・再生・バックアップ	112
6.1 基本検索・再生	112
6.1.1 基本検索・再生について	113
6.1.1.1 <基本再生画面の説明>	113
6.1.1.2 <基本再生画面の検索・再生方法>	115
6.2 バックアップについて	116
6.2.1 ビデオクリップによるバックアップ	116
6.3 イベント再生	117
6.3.1 イベント検索・再生・バックアップ	117
6.3.1.1 <イベント再生画面の説明>	118
6.3.2 イベント再生コントロール	120
6.3.2.1 <イベント再生コントロール画面の説明>	120
6.3.3 イベント検索とクイックバックアップ	121
6.4 マルチ時間再生	124
6.4.1 マルチ時間(複数時間同時)再生	124

6.5 スマート再生	125
6.5.1 スマート検索・再生・バックアップ	125
6.5.1.1 <スマート検索再生画面の説明>	125
6.5.1.2 <スマートエリア設定>	126
6.5.1.3 <スマート検索・バックアップ方法>	126
6.6 タグ再生	127
6.6.1 タグ作成・検索・再生・バックアップ	127
6.6.1.1 <タグ作成>	127
6.6.1.2 <タグ検索・再生画面の説明>	130
6.6.1.3 <タグ検索・再生・バックアップ方法>	131
6.7 外部ファイル再生	132
6.7.1 外部ファイルの検索・再生	132
6.7.1.1 <外部ファイルの検索・再生画面の説明>	132
6.7.1.2 <外部ファイルの検索・再生方法>	133
6.8 写真再生	134
6.8.1 写真検索・再生・バックアップ	134
6.8.1.1 <写真検索画面の説明>	134
6.8.1.2 <写真検索・再生・バックアップ方法>	136
6.9 スライス再生	137
6.9.1 スライス検索・再生・バックアップ	137
6.9.1.1 <スライス検索画面の説明>	137
6.9.1.2 <スライス検索・再生・バックアップ方法>	138
6.10 AI 再生	140
6.10.1 顔	140
6.10.1.1 <E-マップ>	141
6.10.2 人&車両	142
6.10.3 エリア&ライン侵入	142
6.10.4 リピーター	143
6.10.5 勤怠管理	143
6.11 フィルター再生	145
6.11.1 フィルター	145
CHAPTER 7 パソコンでバックアップデータを再生	147
7.1 ビデオプレーヤーの操作方法	147
7.1.1 ソフトのインストール	147
7.1.2 ビデオプレーヤー再生画面の説明	148
7.1.3 バックアップデータの再生方法	149
CHAPTER 8 モバイルデバイスを介したリモートアクセス	149
CHAPTER 9 付録	152
9.1 トラブルシューティング	152
9.2 メンテナンス	153
CHAPTER 10 付録	154
10.1 梱包物	154
10.2 設定内容	154

安全についてのご案内

安全に使用するために、またレコーダーやその他の接続機器が損傷するのを防ぐために、次の安全上の注意をよくお読みください。

1. 電源（注：製造元の製品または指定された電源をご使用ください。）
指定外の電源を使用してレコーダーを操作しないでください。
2. レコーダーには規格外のデバイスを接続しないでください。
感電やその他の事故を防ぐために、レコーダーには規格外のデバイスを接続しないでください。
3. レコーダーをほこりの多い場所に置かないでください。
4. レコーダーを雨や湿気の多い環境に置かないでください。
地下室のような湿気の多い場所にレコーダーを置かないでください。
誤ってレコーダーが水に触れた場合は、電源コードを抜いて直ちに最寄りの販売店にご連絡ください。
5. レコーダーの表面は、清潔で乾燥した状態を維持してください。
柔らかく湿らせた布を使用してレコーダーのケースを拭きます。（液体エアゾールクリーナーは使用しないでください）
6. 何か問題が見つかった場合は操作しないでください。
レコーダーから異臭や音がした場合は、電源ケーブルを抜き、正規販売店またはサービスセンターにご連絡ください。
7. 上部カバーを取り外さないでください。
警告：レコーダーの上部カバーを外さないでください。感電の恐れがあります。
8. 取扱注意
硬い物にぶつかってレコーダーが正常に作動しない場合は、修理または交換が必要です。正規販売店に連絡してください。
9. 標準のリチウム電池をご使用ください。
（注：製造元の製品または指定した電池をご使用ください。）
電源を切った後、システムクロックが作動し続けない場合は、メインボードの標準 3V リチウム電池を交換してください。
警告：電池を交換する前にレコーダーの電源を切ってください。
重大な感電事故の恐れがあります。
使用済み電池は正しく廃棄してください。
10. 換気の良い場所にレコーダーを置いてください。
レコーダーシステムには、作動中に大量の熱を発生する HDD が組み込まれています。
システムを冷却するための換気用開口部（上面、底面、両面および裏面）を塞がないでください。風通しの良い場所に設置してください。
11. 付属の電源アダプタはレコーダーにのみ使用できます。
電源アダプターが正常ではない場合、レコーダーが繰り返し再起動される可能性があります。
12. レコーダーに水滴などが、かからないようにしてください。

点検の重要性

本商品の機能を常に正常に保つために日常点検及び定期点検を心がけてください。
商品添付の「取扱説明書」をよくご確認の上、正しく設置・運用してください。

レコーダーの消耗品

ハードディスクと放熱ファンは消耗品です。周囲温度 25℃の使用条件でハードディスクは 2 年、放熱ファンは 3 年を目安に交換してください。この年数はあくまでも交換の目安であり、部品の性能を保証するものではありません。

DDNS および P2P サービスの利用についてのご注意(免責事項)

※DDNS および P2P サービスを利用する場合は、下記の内容に同意したうえでご利用ください。

※下記内容が問題となる場合は、プロバイダーの固定 IP アドレスや VPN サービスをご使用ください。

- ・本サービスを利用することにより生じたいかなる損害や障害(不慮の事故、機械故障、ネットワーク障害、ネットワーク障害に起因する本サービス提供の停止、ならびにお客様の設定ミス等の人為的ミスにより生じたサービス停止を原因とする第三者に与えた損害も含みます)について、弊社は一切の責任を負わないものとし、損害賠償する義務はないものとします。
- ・利用者に連絡することなく、一時的に本サービスを中断する場合があります。
- ・弊社は利用者に予告することなく、本サービスを停止することができます。
- ・弊社は本サービスの遅延・消失の原因・理由について調査・返答する義務が無いものとします。
- ・本サービスに関連する情報について、その完全性、正確性、適用性、有用性などいかなる保証も行いません。

Chapter 1 製品の概要

1.1 背面パネル

NVR(ネットワーク ビデオ レコーダー)

DCT-5104ER/Lite



DCT-5108ER/Lite

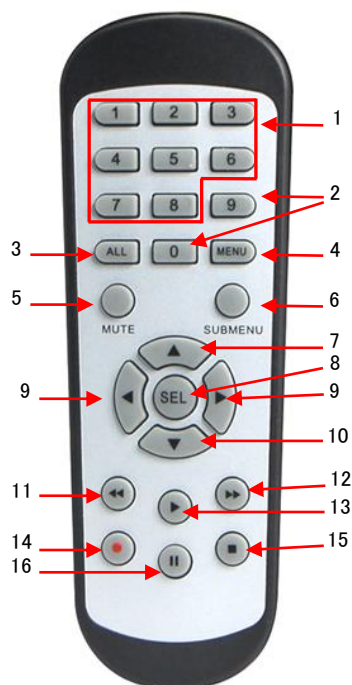


DCT-5116HR/Lite



No	名称	接続方法・用途
1	電源スイッチ	電源を ON/OFF します
2	電源入力	付属の電源ケーブルを接続します
3	USB 接続	USB マウスや USB メモリなどの USB デバイスを接続します
4	センサー/アラーム	センサーまたはアラーム機器を接続します
5	映像出力 (HDMI)	HDMI ケーブルを接続します
6	映像出力 (VGA)	VGA ケーブルを接続します
7	音声入力 (RCA)	RCA ケーブル (ライン入力) を接続します
8	音声出力 (RCA)	RCA ケーブル (音声出力) を接続します
9	WAN ポート	ルーター側のネットワークに接続します
10	LAN ポート	IP カメラ用のネットワークに接続します ※POE ポートの場合はカメラに電源を供給することができます

1.2 リモコン



No.	ボタン	用途
1	1-8	数字キーを押して チャンネル 1~8 を表示します
2	9、0	数字キー
3	ALL	すべてのチャンネルを表示します マルチディスプレイモード
4	MENU	メニューを表示・非表示
5	MUTE	消音 (ミュート) ON/OFF
6	SUBMENU	サブメニューを表示
7	▲	上矢印キー・音量を上げる
8	SEL	選択したメニュー項目に入り、設定を編集します
9	◀▶	左右キー・コントロールバーのパラメータ値を増減します
10	▼	下矢印キー・音量を下げる
11	◀◀	録画再生中に押すと巻き戻します
12	▶▶	録画再生中に押すと早送りします
13	▶	録画済み映像の再生または録画検索メニューを開きます
14	●	手動録画を開始します
15	■	手動録画の停止、または録画再生を停止します
16	⏸	録画再生の一時停止または再生モードを開始します

1.3 NVR 顔認識、AI 機能、自動音声警告、魚眼モードなどに関して

主要機能は、各モデルによって異なります。

※ 本機能は IP カメラのみ該当します。

下記の一覧表からご確認ください。

	モデル	顔認識	AI	自動音声 警告	魚眼モード	人感センサー	PoE 搭載	RAID
NVR	5104ER/Lite	○	○	○	×	○	○	×
	5108ER/Lite	○	○	○	×	○	○	×
	5116HRLite	○	○	○	×	○	○	○

1.4 カメラ自動接続に関して

レコーダーの PoE ポートにカメラの LAN ケーブルを接続すると、カメラが自動的に認識され、レコーダーに接続されます。

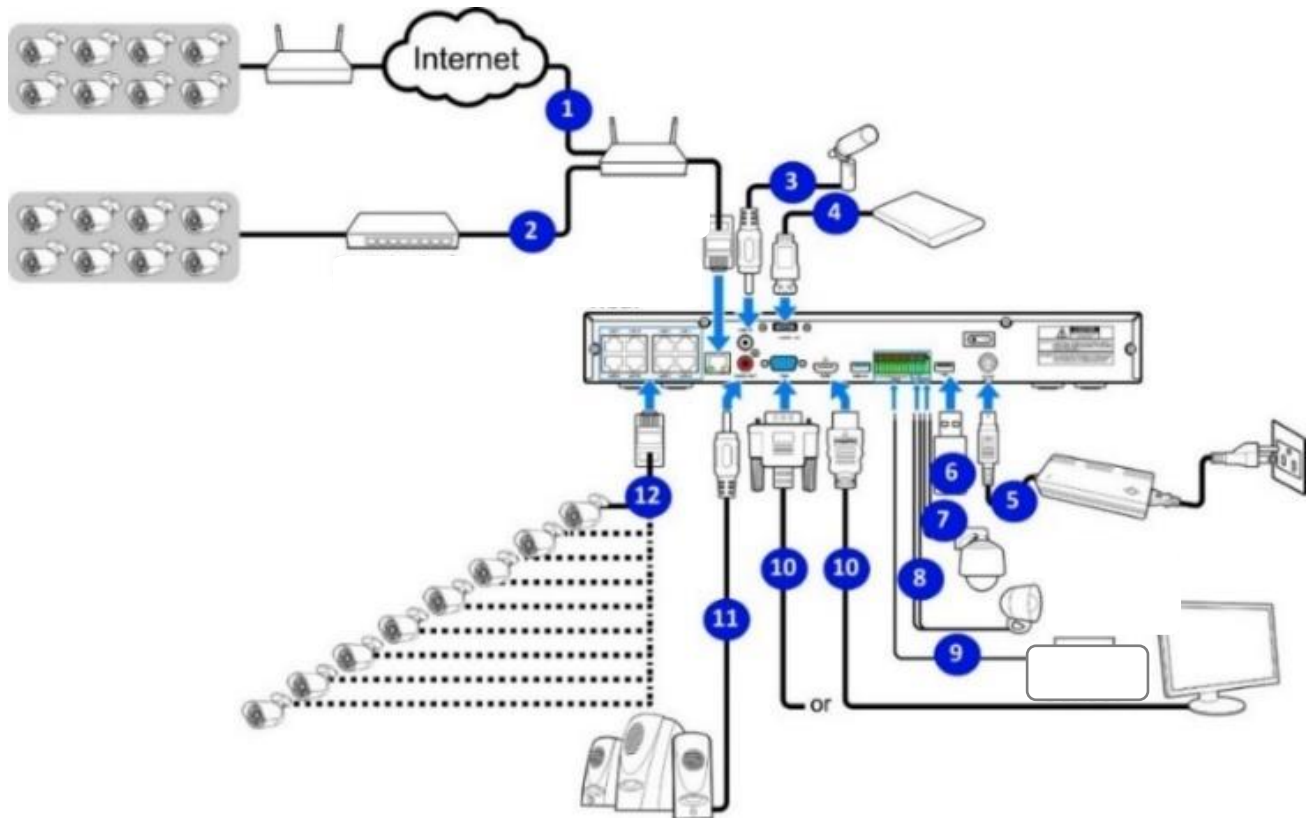
※ この機能を使用できるカメラは、プライベートプロトコルを使用するカメラに限られます。

※ この機能を使用できるレコーダーは、DCT-5104ER/Lite、DCT-5108ER/Lite、DCT-5116HR/Lite に限られます。

詳しい設定方法と対応機種(モデル名)に関しては、[4.4 IP カメラ設定](#)をご参照ください。

Chapter 2 レコーダーの設置と接続例

2.1 接続例(PoE 搭載 NVR の場合)



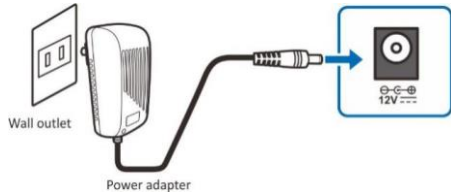
1. インターネット経由でリモート接続する場合に接続します。
2. PoEハブに接続されたIPカメラをローカル接続する場合に接続します。
3. 音声入力を行う場合に接続します。
4. 外部ハードディスクを使用する場合に接続します。
5. 付属の電源ケーブルを接続します。
6. バックアップ、F/Wアップグレード用にUSBメモリを接続します。
7. スピードドームカメラなどのRS-485デバイスを使用する場合に接続します。
8. サイレンなどの外部アラーム出力デバイスを接続します。
9. 外部アラームセンサーを接続します。
10. NVRのビデオ出力用HDMIまたはVGAケーブルを接続します。
11. NVRのライブ音声または再生時の音声を出力させる場合は、スピーカーをレコーダーに接続してください。
12. PoEポートにIPカメラを接続し、電源供給を行います。

※ カメラ接続後、カメラ映像がモニターに表示されるまで1分以上かかる場合があります。

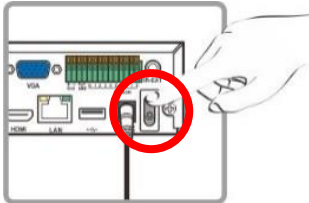
注意: 実際の接続方法は、モデルごとに異なります。詳しくは販売店にご確認ください。

2.2 電源接続

レコーダーには付属の電源アダプターのみご使用ください。

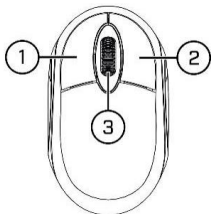


※ レコーダー本体に電源スイッチのあるモデルでは、コンセントに接続した後に、本体の電源スイッチを押してください。



Chapter 3 レコーダー共通オペレーション

3.1 付属マウスの使用方法



1. 左ボタン

- メニューの選択
クリックしてメニューを選択します。
- 画面の拡大と分割表示
分割画面表示の状態で、拡大表示したいチャンネルをダブルクリックすると、全画面表示になります。
チャンネルをもう一度ダブルクリックすると、分割画面表示に戻ります。
- ツールバーの選択
ライブ画面のチャンネルをクリックしカメラクイックツールバーを開きます。



2. 右ボタン(タスクバー)

ライブ画面からタスクバーを開く場合、一度クリックします。

[4.2.2 タスクバー](#)をご参照ください。

各設定画面で、右ボタンをクリックするとメニューに戻ります（閉じる）。

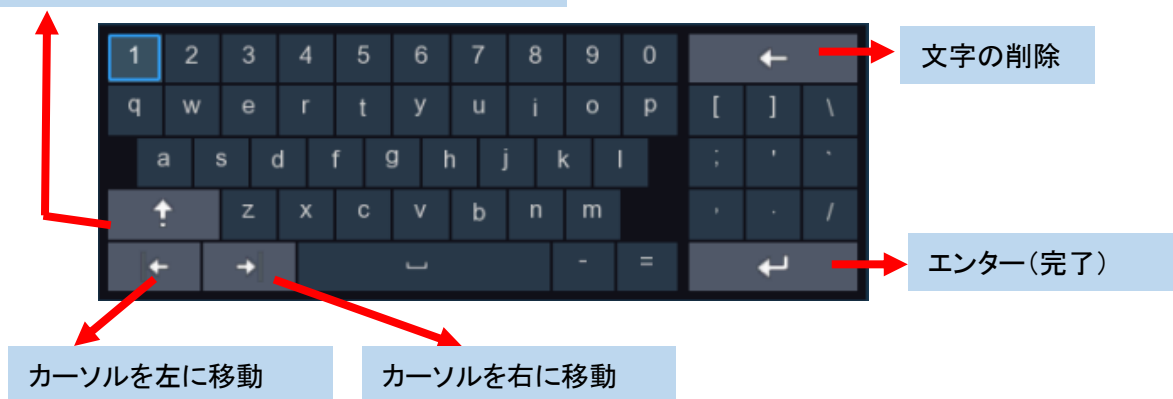
3. スクロールホイール(デジタルズーム)

画面上でスクロールすると、デジタルズームイン・アウトができます。

3.2 仮想キーボード(モニター内キーボード)の使い方

データを入力する必要があるときは、仮想キーボードが自動的に画面に表示されます。

クリックすると、キーボードが大文字になります。



3.3 パスワード

プライバシー保護のためにもレコーダーの初期パスワードを変更することをお勧めします。
変更後のユーザー名とパスワードは安全な場所に保存してください。

パスワードの変更

マニュアルの [5.7.2 マルチユーザー設定](#)をご参照ください。

The screenshot shows a login interface with the following fields and buttons:

- 言語 (Language): Dropdown menu set to 日本語 (Japanese).
- デバイスID (Device ID): Text field showing 000000, with a small (000000) label to the right.
- ユーザー名 (Username): Dropdown menu set to admin.
- パスワード (Password): Text field with a checkbox for パスワード表示 (Show password).
- Buttons: パスワードをお忘れですか? (Forgot your password?), ログイン (Login).

注意: パスワードを忘れた場合、システムにログインできなくなります。

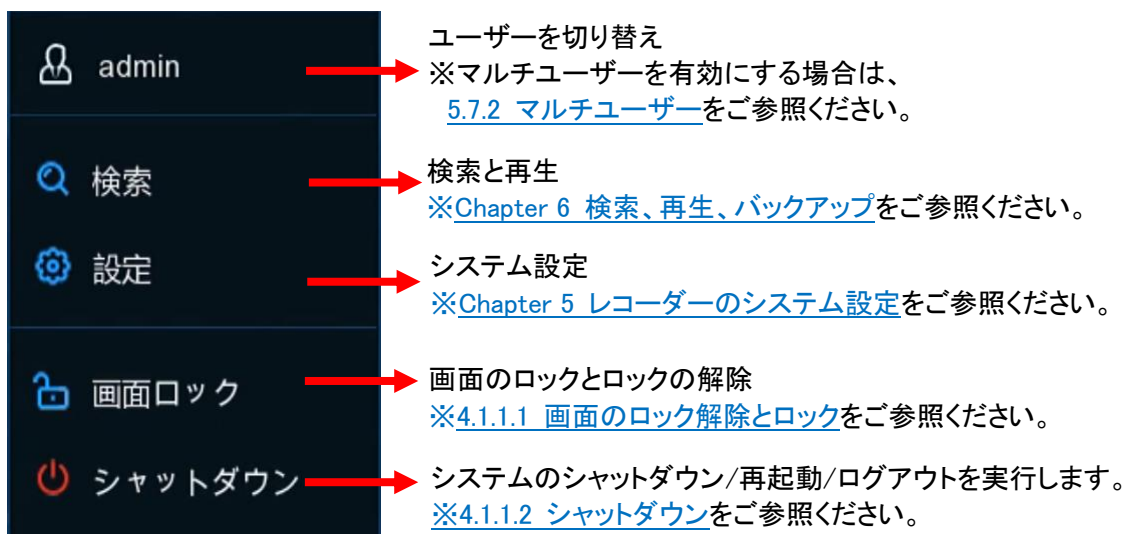
パスワードをリセットする場合は、管理者にご確認ください。

Chapter 4 レコーダーの起動

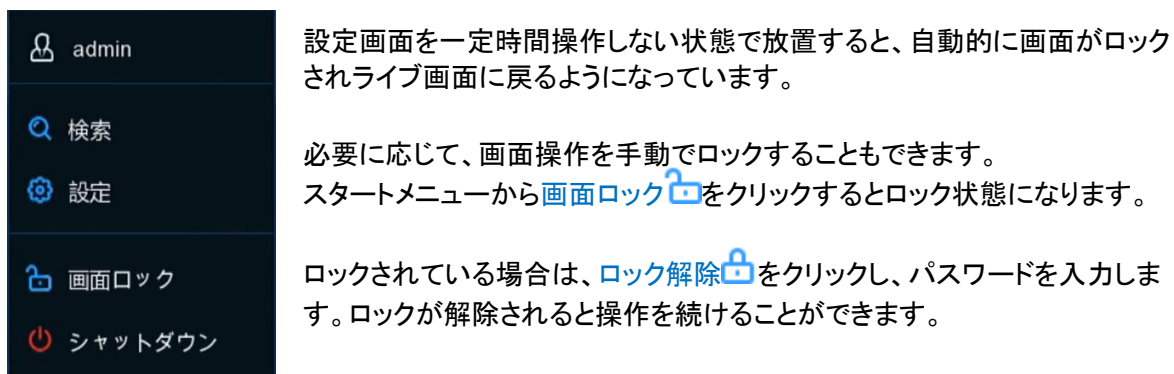
4.1 スタート・シャットダウン

4.1.1 スタートメニュー

スタートメニューでは、ユーザーの切り替え、検索/再生、システム設定、画面のロック/解除、シャットダウン/再起動/ログアウトを行うことができます。



4.1.1.1 <画面のロック解除とロック>



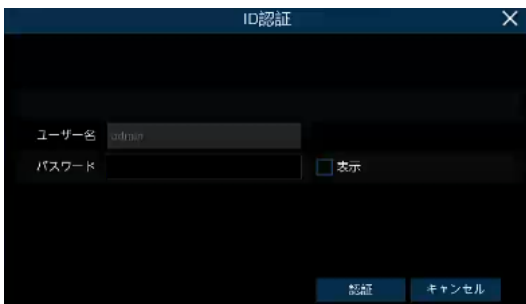


パターン入力でロック解除も出来ます。

4.1.1.2 <シャットダウン>



[スタート]メニューから[シャットダウン]をクリックし、操作したいアクションを選択します。
 をクリックし、管理者パスワードを入力してください。



[システムからログアウト]を選択すると、ライブ表示画面は消えます。
 再度操作をする場合は、システムにログインして下さい。
 再度ログインする場合、パスワードの入力が必要です。

4.2 ライブビュー画面の説明



カメラ名: カメラの種類を表示

A-: AHD カメラ

T-: TVI カメラ

C-: CVI カメラ

IP: IP カメラ

ステータスアイコン

● : 現在録画中

👤 : モーション検知中

🔔 : 外部 I/O 検知中

PIR : 人感センサー検知中

🛑 : HDD 停止

🔄 : HDD 未フォーマット

📊 : HDD 空き容量がなし

🔒 : HDD 読み取り専用

ビデオロス: カメラ信号が切断

カメラなし: カメラが未接続

デコード失敗: 圧縮規格がサポートされていない(カメラを H.265 または H.264 に設定してください)

+ : IP カメラを追加

4.2.1 カメラクイックツールバー

ライブビュー画面で、接続されているカメラの上でマウスの左ボタンをクリックして、カメラクイックツールバーを表示します。



手動録画

クリックすると手動でチャンネルを録画することができます。手動録画が進行中の場合、アイコンは赤色になります。手動録画を停止する場合は、再度クリックします。

手動キャプチャ

指定したカメラ映像のスナップショットを保存します。この機能を使用する場合は、手動キャプチャを有効にする必要があります。手動キャプチャの有効化については、[5.2.3 キャプチャー](#)をご参照ください。

インスタント再生

指定したチャンネルの直前 5 分前の録画映像を再生します。

PTZ

PTZ コントロールパネルを開きます。

デジタルズーム

指定したチャンネルの特定の場所を拡大・縮小します。マウスポインタを拡大したい位置にもっていき、そのままマウスホイールを回転させると、画像が拡大・縮小します。

カラー設定

指定したチャンネルの映像の色を調整することができます。映像の色相、明るさ、コントラスト、彩度を調整できます。

ストリームスイッチ

HD と SD の間でライブビュービデオストリームを切り替えます。HD がメインストリーム、SD がサブストリームのライブビューです。

カスタムタグ追加

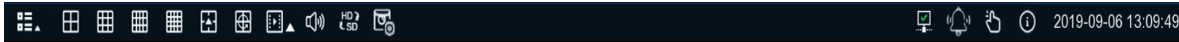
カスタムタグを追加します。

AI 検知数

顔認識/人検知/車両検知した数を表示します。

4.2.2 タスクバー

ライブの画面上で、マウスのポインターを画面の一番下の部分に移動するとタスクバーが表示されます。



メニューバー

スタートメニューを開き、検索/設定/シャットダウンなどを選択します。

画面レイアウト

モニター画面のレイアウト表示を選択することができます。

他のレイアウト

クリックするとその他のレイアウトを選択することができます。

自動シーケンス

登録チャンネルのリアルタイム画面を順番に表示することができます。

録画再生

本日の00:00から全チャンネルの録画データを再生します。直前の5秒、10秒、30秒、1分、5分前から選択し、再生することもできます。

音声

音量を調整します。

ストリームスイッチ

すべてのチャンネルがメインストリームとサブストリームの間で切り替わります。
(ライブビュー解像度用)

プレビューポリシー

リアルタイム表示、バランス表示、またはスムーズ表示に切り替わります。プレビューポリシーはライブ映像を調整する機能です。録画品質には影響しません。

ネットワーク接続状況



このアイコンは、ネットワークが接続されていることを意味します。



このアイコンは、ネットワークが切断されていることを意味します。

ライト&サイレン

威嚇機能を搭載したカメラが接続されている場合に表示されます。クリックすると、ライトとサイレンの作動設定が可能になります。

手動モード

手動で録画とアラームのON/OFFを操作することができます。

システム情報

システム情報、チャンネル情報、録画情報、ネットワーク状態が表示されます。

4.3 ネットワーク設定

ネットワーク設定は、

設定 ➡ ネット ➡ 基本設定 ➡ 基本設定 から設定できます。

4.3.1 基本設定

このメニューでは、DHCPなどのネットワーク設定を行います。最も一般的なタイプはDHCPです。ネットワーク設定が自動で指定されている場合は、ネットワークタイプをDHCPで設定してください。



WAN		内部インタフェース	
DHCP	<input checked="" type="checkbox"/>	POE DHCP Server	<input checked="" type="checkbox"/>
IPアドレス	192.168.0.1/24	IPアドレス	010.010.025.100
サブネットマスク	255.255.255.000	サブネットマスク	255.255.000.000
ゲートウェイ	192.168.0.1/24		
IPv6 アドレス	fe80::223:8:3ff:fe00:9:47	/	64
IPv6 ゲートウェイ	fe80::2		
DNS1	192.168.0.1/24		
DNS2	008.008.008.008		

☒ WEB互換モード ⓘ

チャンネル選択 ビデオ暗号化

ルーターに接続しDHCPの使用が可能な場合は、DHCPボックスにチェックを入れてください。DHCPを選択した場合、ルーターからレコーダーに自動的にすべてのネットワークパラメータが割り当てられます。

IPアドレス

IPアドレスはネットワーク内のレコーダーを識別するためのものです。IPアドレスは、ピリオドで区切られた0から255までの4つのグループの数字で構成されています。

例:「192.168.001.100」

サブネットマスク

サブネットマスクは、ネットワークで利用できるIPアドレスの範囲を定義するための設定項目です。サブネットアドレスも、ピリオドで区切られた4つのグループの数字で構成されています。

例:「255.255.000.000」

ゲートウェイ

ゲートウェイは、インターネットにアクセスするためのアドレスです。ゲートウェイアドレスの形式はIPアドレスと同じです。

例:「192.168.001.001」

DNS1/DNS2

DNS1はプライマリーで、DNS2はバックアップ用です。

4.3.2 PPPOE

設定 チャンネル 録画設定 アラーム AI ネット ディスク管理 システム

基本設定 PPPOE SNMP ワイヤレス ポート設定

基本設定

PPPOE起動 ☐

ユーザー名

パスワード

IPアドレス

サブネットマスク

ゲートウェイ

DNS1

DNS2 10.0.0.1

初期化 適用

PPPOE起動:PPPOEの ON/OFF

ユーザー名:任意のデータを入力してください。

パスワード:任意のデータを入力してください。

DNS2:設定値を入力してください。

※ 設定が完了後、必ず **適用** をクリックしてください。

4.3.3 ポート設定

設定 チャンネル 録画設定 アラーム AI ネット ディスク管理 システム

基本設定 PPPOE SNMP ワイヤレス **ポート設定**

	サービス	プロトコル	内部ポート	外部ポート	UPNP状態	マッピングプラン	UPNP
1	ウェブ	TCP	0080	0080	無効	自動	<input type="checkbox"/>
2	クライアント	TCP	09000	09000	無効	自動	<input type="checkbox"/>
3	RTSP	TCP	00554	00554	無効	自動	<input type="checkbox"/>
4	Https	TCP	00443	00443	無効	自動	<input type="checkbox"/>

説明

IPチャンネル: rtsp://IP:PortchAS

A01(ch1),02(ch2)

B0(main stream),1(sub stream)

外部IP

P2P スイッチ ☒

Forward Port ☐

初期化 適用

ウェブポート

リモートからレコーダーにログインするために使用するポートです。デフォルトのポート80を他のアプリケーションで使っている場合は、80番以外のポートに変更してください。

クライアントポート

レコーダーの情報を送信するために使用するポートです。デフォルトのポート9000を他のアプリケーションで使用している場合は、9000番以外のポートに変更してください。

RTSPポート

デフォルトは554です。デフォルトのポート554を他のアプリケーションで使用している場合は、554番以外のポートに変更してください。

UPNP

Webクライアントを使用してレコーダーにリモートログインする場合、UPNP（ポートフォワーディング）を設定してください。ルーターがUPNPをサポートしている場合は、レコーダーとルーターの両方でUPNPを有効にしてください。この機能を使用する場合は、ルーターのポート開放設定の必要はありません。ルーターがUPNPをサポートしていない場合は、ポートフォワーディングを手動で設定してください。

P2Pスイッチ

P2PのON/OFF

TOE

TOEのON/OFF

4.3.4 日付・時間

このメニューでは、日付、時間、日付表示形式、時間表示形式、タイムゾーン、NTPなどを設定することができます。

日付、時間、日付表示形式、時間表示形式、タイムゾーン、NTPなどの設定は、[設定](#)→[システム](#)→[基本設定](#)→[日付と時間](#)から設定することができます。

4.3.4.1 <日付と時間>

日付と時間	
日付	2019-10-23 
時間	18:20:48
日付表示形式	YYYY-MM-DD ▼
時間表示形式	24時 ▼
タイムゾーン	GMT+09:00 ▼

日付: カレンダーのアイコンをクリックしてシステムの日付を設定します。

時間: クリックしてシステムの時間を設定します。

日付表示形式: ドロップダウンメニューから日付形式を選択します。

時間表示形式: 24 時間表示または 12 時間表示から選択してください。

タイムゾーン: 日本で使用する場合は、[GMT+9:00](#) を選択してください。

4.3.4.2 <NTP ネットワークタイムプロトコル設定>

この機能を有効にするとレコーダーの時間をインターネット上のタイムサーバーと自動的に同期させることができます。この機能はレコーダーがインターネットに接続されている場合にのみ使用が可能です。

NTP設定

NTP有効 ☒

サーバアドレス

[今すぐ更新する](#)

NTP 有効をチェックし、保存(適用)してください。NTP サーバーは選択または任意で入力することができます。保存後、今すぐ更新を押すとレコーダーの時間が更新されます。

4.4 IP カメラ設定

このメニューでは、IP カメラをレコーダーに追加することができます。

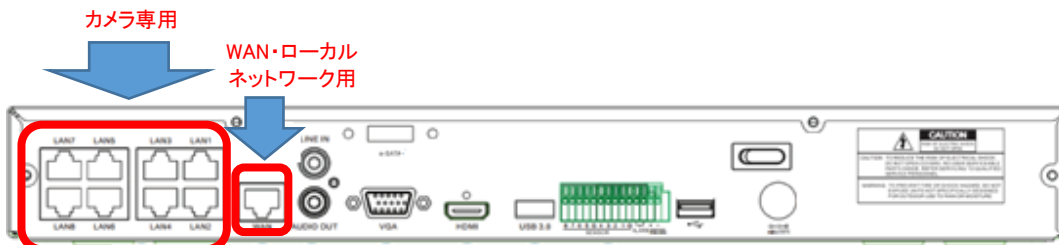
IP カメラ設定は、
[設定](#) → [チャンネル](#) → [チャンネル](#) → [IP チャンネル](#) から設定できます。

4.4.1 自動モードでのカメラ接続

自動モードで接続可能な製品は下記の機種が対象となります。

自動モードによるカメラ接続は、プライベートプロトコルを使用しているモデルに限ります。
 ONVIF や RTSP プロトコルを使用している機種に関しては、自動モードによるカメラ接続はできません。

1. NVR 背面の『PoE ポート』に接続すると自動で映像が表示されます。



4.4.2 手動モードでのカメラ接続

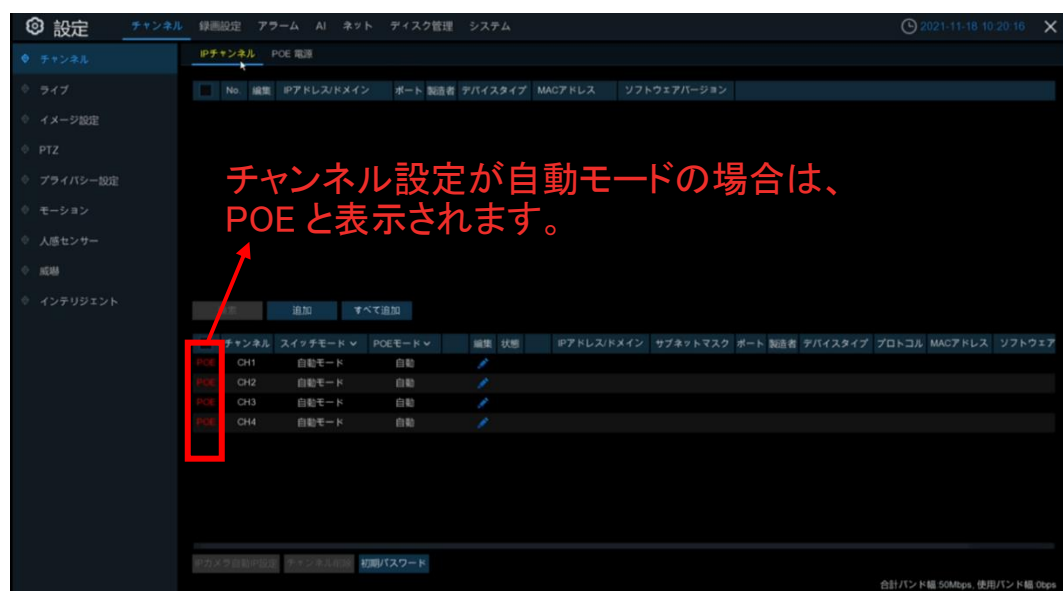
手動モードで接続を行う場合、カメラにより接続方法が異なります。



プライベートプロトコルを使用している機種はレコーダーのメニューから IP アドレスの変更を行い、検索後、カメラの登録・接続が可能になります。

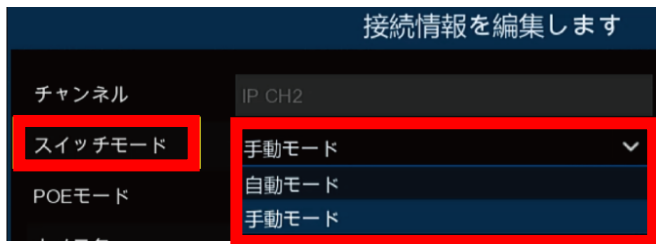
ただし、ONVIF や RTSP プロトコルを使用している機種に関しては、パソコンからカメラに接続し、IP アドレスの変更後、レコーダーに登録が可能になります。

・手動モードへの切り替え方法

1. 初期設定は、すべてのチャンネルが『POE(自動モード)』になっています。



2. 手動モードで接続する場合、まず  をクリックします。
3. スイッチモードを『自動モード』⇒『手動モード』に変更し  をクリックします。



4. 手動モードに切り替わると、が表示され、POEの表示が消えます。

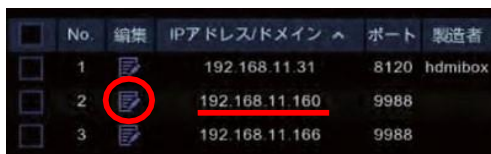


5. 手動モードに変更後、カメラを検索するとカメラがリストアップされます。
※ リストアップされない場合は PC でカメラに直接ログインし、ネットワークの変更を行ってください。



検索をクリック！
カメラが表示されます。

6. カメラのIPアドレスの変更が必要な場合はカメラの  を選択し、手動でIPアドレスを変更し、 をクリックします。



7. 追加したいカメラにチェックを入れ、追加をクリックします。



8. IPカメラ追加画面から登録したいチャンネルを選択し、ユーザー名・パスワード等を入力後、追加をクリックします。
- ※ 登録したいチャンネルを選択する際には、「[チャンネルのバインド](#)」にて選択が可能になります。



検索

アイコンをクリックし IP カメラを検索、次にデバイスリスト内(上段)の IP カメラの 1 つをクリックします。

IP アドレス/ドメイン

IP カメラの IP アドレスまたはドメイン名を入力します。カメラが RTSP を使用する場合は、カメラが指定する RTSP アドレスを入力してください。

カメラ名

IP カメラの名称

位置

画面にカメラ名を表示する位置です。

ポート

IP カメラに指定されているプライベート、ONVIF、RTSP のプロトコルに合わせ、入力してください。

プロトコル

ドロップダウンメニューから IP カメラのプロトコル(プライベート、ONVIF、RTSP)を選択します。

ユーザー名

IP カメラのユーザー名

パスワード

IP カメラのパスワード

チャンネルのバインド

登録したいカメラチャンネルを選択します。

カメラモード

接続したいレコーダーのチャンネルのモード(自動・連続・魚眼オープン)を選択します。

チャンネル削除

追加した IP カメラを 1 つ以上選択し、 をクリックして削除します。

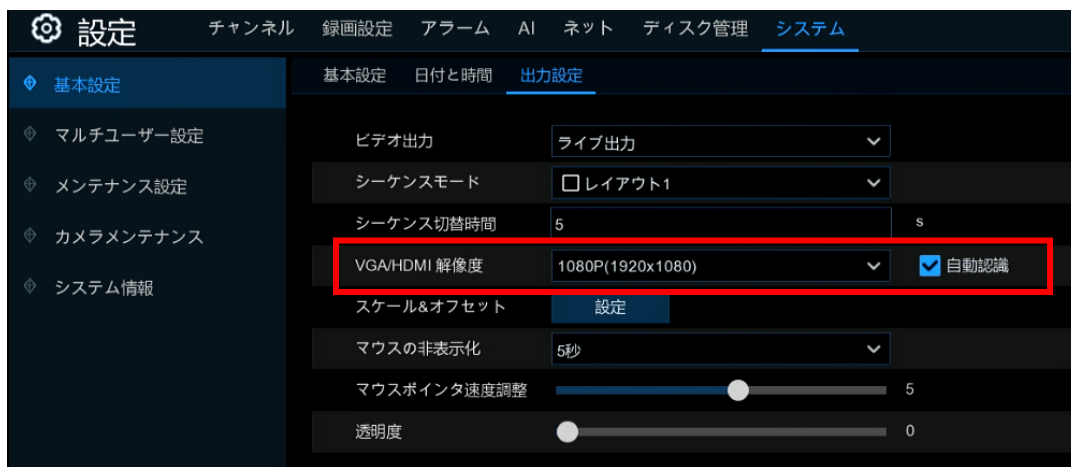
IP カメラ自動 IP 設定

IP アドレスがレコーダーと同じネットワークセグメント上に存在する IP カメラを自動で追加する機能です。

4.4.3 出力解像度

出力解像度の設定は、

設定⇒システム構成⇒基本設定⇒出力設定⇒VGA/HDMI 解像度 から設定できます。



モニターに合った出力解像度を選択してください。


レコーダーは、システム起動時にモニターの最高解像度に合わせて出力解像度を自動的に調整します。

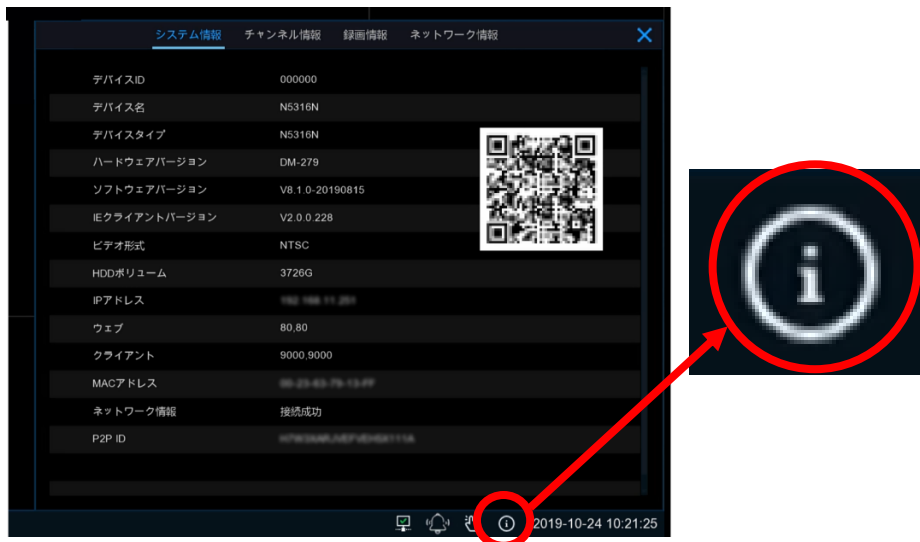
※ 設定完了後、 をクリックしてください。

4.4.4 P2P 設定(リモートアクセス情報)

モバイル設定の情報は、

設定⇒システム構成⇒システム情報⇒システム情報

または、ライブ画面の一番下の部分に表示されている  マークをクリックすると確認できます。



携帯アプリを使い、レコーダーの QR コード (P2P ID) をスキャンします。スキャン後、スマホに登録するとレコーダーにリモートからアクセスすることができます。

※ 設定方法の詳細に関しては、別紙[クイックマニュアル\(スマホ用\)](#)をご参照ください。

Chapter 5 レコーダーのシステム設定

チャンネル、録画、アラーム、ネットワーク、ディスク、システムなどの設定を行います。



5.1 チャンネル

このセクションでは、カメラの設定、ライブビュー、IP カメラの管理、IP カメラの画像調整、PTZ、モーション、モード変更などの設定を行うことができます。

5.1.1 チャンネル

5.1.1.1 <カメラ選択設定>

◎カメラ選択設定は、
設定⇒チャンネル⇒チャンネル⇒カメラ選択設定から設定できます。



チャンネル別に、デジタルまたはワイヤレスから選択し設定します。
すべてのチャンネルを選択した後、**適用** を押し確定します。
※DCT-3000 シリーズと DCT-5000 シリーズではワイヤレス機能は使用できません。

5.1.1.2 <IP チャンネル>

◎IP チャンネル設定は、
設定⇒チャンネル⇒チャンネル⇒IP チャンネルから設定できます。

※ レコーダーへのカメラ接続方法に関しては、[4.4 IP カメラ設定](#)をご参照ください。

5.1.1.3 <POE 電源>

NVR 本体の POE を使用する場合、接続した IP カメラの電源供給の状態や使用ワット数の確認ができます。

◎POE 電源は、
設定⇒チャンネル⇒チャンネル⇒POE 電源から確認できます。

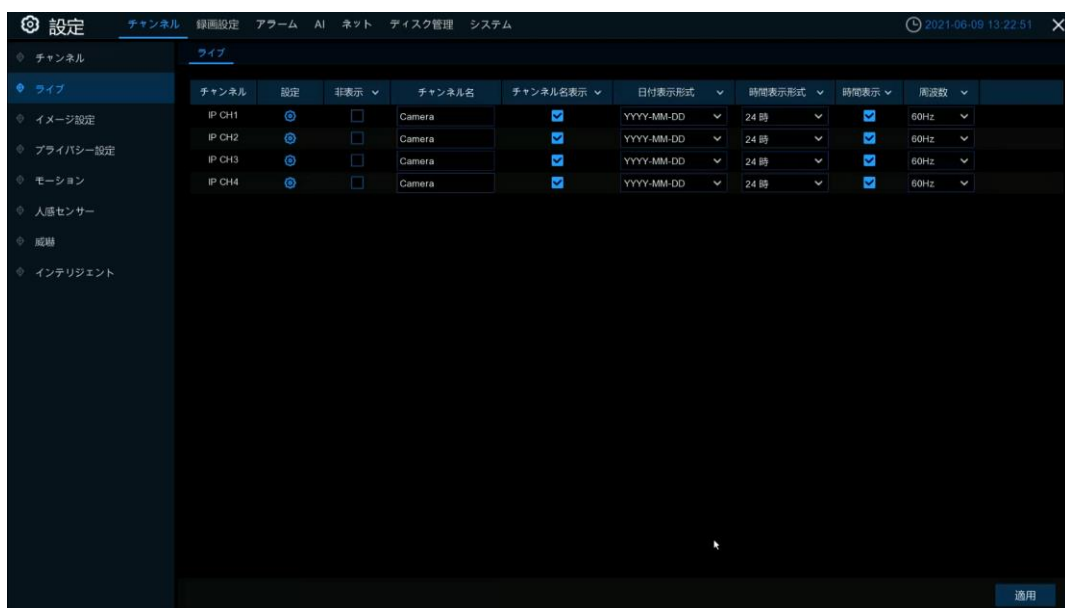


5.1.2 ライブ

カメラのパラメータを設定します。

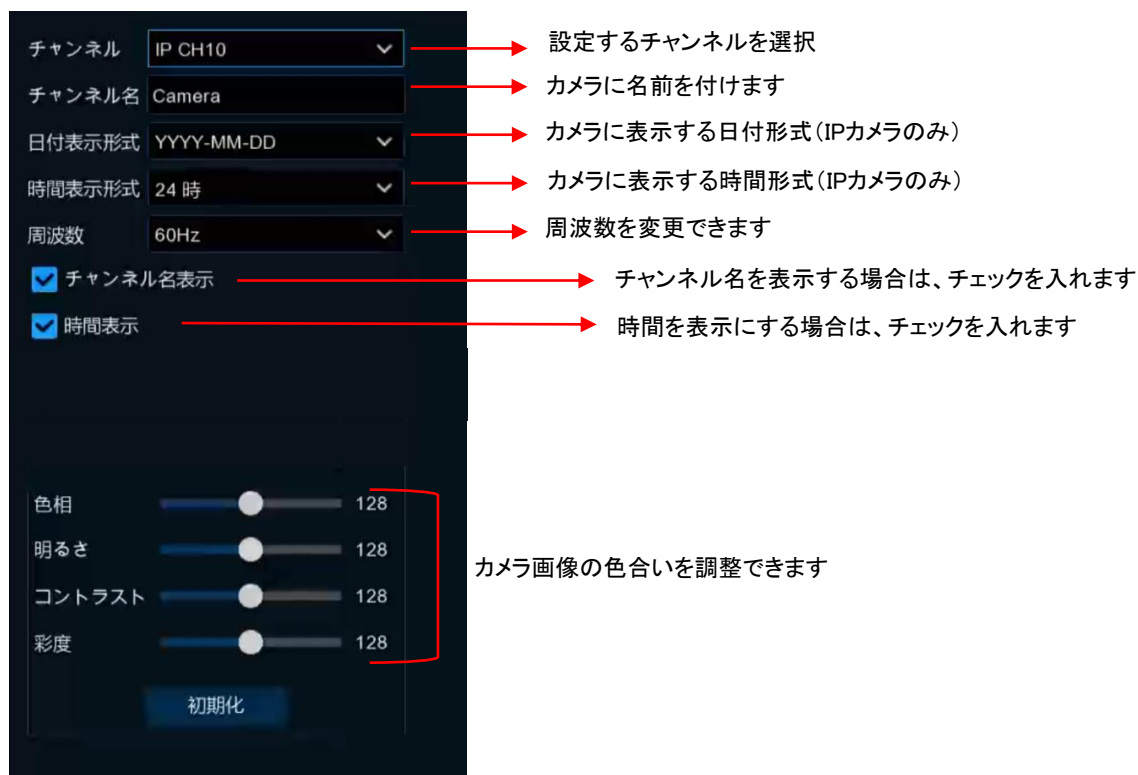
レコーダーのメニューから設定可能な機種は、プライベートプロトコルを使用しているモデルに限ります。
ONVIF や RTSP プロトコルを使用している機種に関しては、ライブメニューの操作はできません。

◎ライブ設定は、
設定⇒チャンネル⇒ライブから設定できます。



チャンネル: チャンネル名を表示します。

設定: ⚙️ アイコンをクリックすると、設定ページに移動します。



5.1.3 イメージ設定

このメニューでは、サポートされている IP カメラの画像イメージを設定できます。

レコーダーのメニューから設定可能な機種は、プライベートプロトコルを使用しているモデルに限ります。ONVIF や RTSP プロトコルを使用している機種に関しては、イメージ設定の操作はできません。

◎イメージ設定は、
設定 ➡ チャンネル ➡ イメージ設定 から設定できます。



チャンネル: チャンネル名

設定: アイコンをクリックして、設定ページに移動して、詳細な設定を行います。

チャンネル	CH1	設定するチャンネルを選択
IRカットモード	GPIO自動	カメラが昼間と夜間の両方で適切に作動するように、IRカットフィルタモードを選択
IRカット遅延	2	IR-CUTの切り替えタイミングの遅延時間を設定
IR-LED	自動	IR-LEDの作動方法(自動・オン・オフ)の設定
レンズフリップ	<input type="checkbox"/>	フリップを設定
アングルフリップ	<input type="checkbox"/>	
角度回転	0	表示画像の上下を回転
バックライト	WDR	逆光補正レベルを選択
WDR レベル	128	ワイドダイナミックレンジの設定 映像の明るさとコントラストを自動的に調整
3Dノイズリダクション	自動	3Dノイズリダクション機能を有効または無効にします
ホワイトバランス	自動	ホワイトバランスを設定
シャッター	自動	シャッターモードを設定
露出時間	1/30	カメラの露光時間を選択
デフォグモード	無効	デフォグモードを設定

5.1.4 PTZ

このメニューでは、PTZ カメラのプロトコル設定を行います。

◎PTZ 設定は、

設定 → チャンネル → PTZ から設定できます。

レコーダーのメニューから設定可能な機種は、プライベートプロトコルを使用しているモデルに限ります。
ONVIF や RTSP プロトコルを使用している機種に関しては、PTZ メニューの操作はできません。



チャンネル

チャンネル名

信号タイプ

使用するカメラに合わせアナログまたはデジタルを選択します。

プロトコル

PTZ カメラとレコーダー間の通信プロトコルを選択します。

ボーレート

レコーダーから PTZ カメラに送信される情報の速度を選択できます。PTZ カメラの設定値と一致していることをご確認ください。

データビット/ストップビット

レコーダーと PTZ カメラ間の情報は個別のパッケージで送信されます。データビットは送信されたビット数を示し、エンドビットはパッケージの終わりと次の(情報)パッケージの始まりを示します。データビットに使用可能なパラメータは、8、7、6、5 です。ストップビットに使用可能なパラメータは、1 または 2 です。

パリティ

設定に関する詳細は、PTZ カメラ本体のマニュアルをご参照ください。

アドレス

PTZ システムのコマンドアドレスを設定します。各 PTZ カメラが正しく機能するためには固有のアドレスが必要です。

5.1.4.1 <PTZ コントロール>

PTZ 設定が完了した場合のみ、PTZ 機能を使用して PTZ カメラを制御することができます。



No.	アイコン	名称	説明
1		チャンネル	PTZ カメラのチャンネルを選択します。
2		巡回開始	事前設定ポイントで PTZ クルーズを開始/停止します。
3		UTC メニュー	同軸カメラのみ使用可能です。
4		スピード	PTZ 速度を調整します。
5		ポインター パネル	A) 方向矢印をクリックして PTZ カメラの方向を選択します。 B) UTC OSD メニューでカーソルを移動するには、上/下/左/右矢印をクリックします。 C) オートパンモードに切り替えることができます。
6	ズーム	ズーム	拡大/縮小します。
	焦点	フォーカス	フォーカスを調整します。
	アイリス	アイリス	アイリスを調整します。
7		プリセット	プリセットパネルを表示または非表示にします。
8		トータル	プリセットポイントの総数を表示します。
9		No.	プリセットポイント番号
10		時刻	カメラがプリセットポイントに留まる時間を設定します。
11		保存	プリセット番号ごとに設定したプリセットポイントをリスト化します。
12		設定	プリセットポイントの番号を入力し、カメラを移動させたのち、このアイコンをクリックするとプリセットポイントが設定されます。
13		クリア	選択したプリセットポイントを削除します。
14		Go to	設定したプリセットポイントに移動します。

- ① ライブビュー画面のチャンネル上でマウスの左ボタンをクリックして、 を開きます。
詳細は、[4.2.1 カメラクイックツールバー](#)をご確認ください。
- ② PTZ コントロールパネルが表示されます。

5.1.5 プライバシー設定

このメニューでは、画像上の特定の部分を部分的に隠したい場合にプライバシーゾーンを作成します。

画像上にプライバシーゾーン(最大4ヶ所)を作成することができます。

プライバシーゾーンを有効にして、必要なゾーンの数を選択してください。

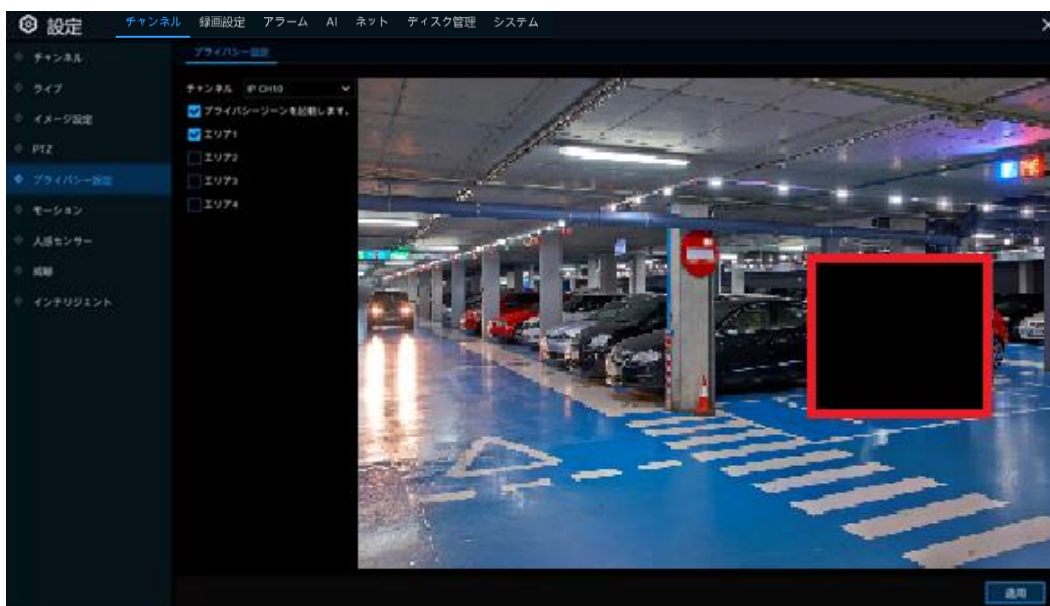
ゾーンは「赤枠線ボックス」として表示されます。

赤い枠の端をクリックして任意のサイズにドラッグし、プライバシーゾーンを作成します。

レコーダーのメニューから設定可能な機種は、プライベートプロトコルを使用しているモデルに限ります。
ONVIF や RTSP プロトコルを使用している機種に関しては、プライバシー設定の操作はできません。

◎プライバシー設定は、

設定⇒チャンネル⇒プライバシー設定から設定できます。



注意

設定したプライバシーゾーンの範囲は、ライブと録画映像の両方で非表示の状態になります。

設定

- ① プライバシーゾーンを設定したいチャンネルを選択し、プライバシーゾーンを起動にチェックを入れます。
- ② エリア番号を選択し、表示されたエリア(赤枠線ボックス)を移動させます。
※ エリアは合計4ヶ所まで設定できます。
- ③ 赤枠線ボックスの角部分をドラッグすると、選択範囲を変更することができます。
- ④ 画面右下の **適用** をクリックし保存します。

解除

エリア番号左のチェックボックスのチェックを外し、**適用** を押すと解除されます。

5.1.6 モーション

このメニューでモーションパラメータを設定できます。
カメラがモーション検知を確認すると、録画が開始されアラームが作動します。
詳細については、[5.3.1 モーションアラーム](#)をご参照下さい。

レコーダーのメニューから設定可能な機種は、プライベートプロトコルを使用しているモデルに限ります。
ONVIF や RTSP プロトコルを使用している機種に関しては、モーション設定の操作はできません。

◎モーション設定は、
設定⇒チャンネル⇒モーション⇒モーションから設定できます。



設定: アイコンをクリックすると設定ページに移動します。



モーション検知エリア:

デフォルトでは、画面全体が動体検知用に選択されています(赤いブロック)。特定の領域でモーション検知を無効にしたい場合は、画面上をドラッグしその領域を透明なブロックにします。
設定完了後、マウスの右ボタンをクリックすると前のメニューに戻り、**適用**を押すとエリア設定が有効になります。

スイッチ: モーション検知を有効または無効にします。

感度: 感度レベルを設定してください。レベル 1(最も感度が低い)、レベル 8(最も感度が高い)

5.1.7 人感センサー


人感センサーは、周りにある物体からの赤外線放射の変化を感知することによって、動きを検知します。このセンサーによって、設定エリア範囲内に人が侵入した場合にのみ録画が開始されるようになります。

※ この設定を有効にするためには、カメラに<人感センサー>の機能が必要です。

・人感センサー搭載カメラ(BA-4200IP-PIR、BI-2200IP-WL-PIR)

◎人感センサー設定は、

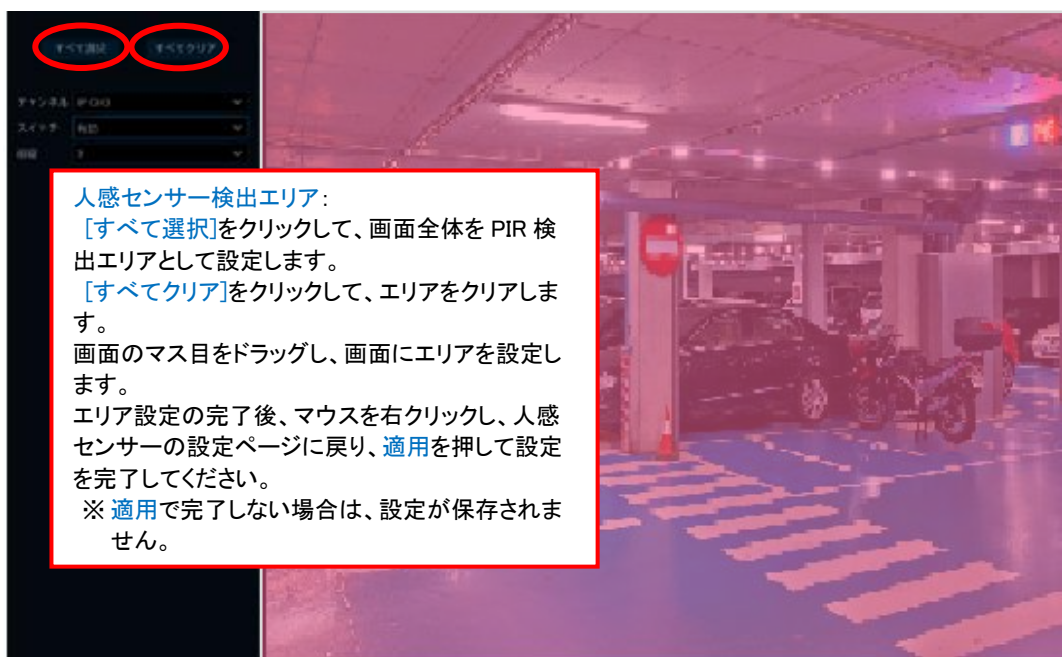
設定⇒チャンネル⇒人感センサーから設定できます。

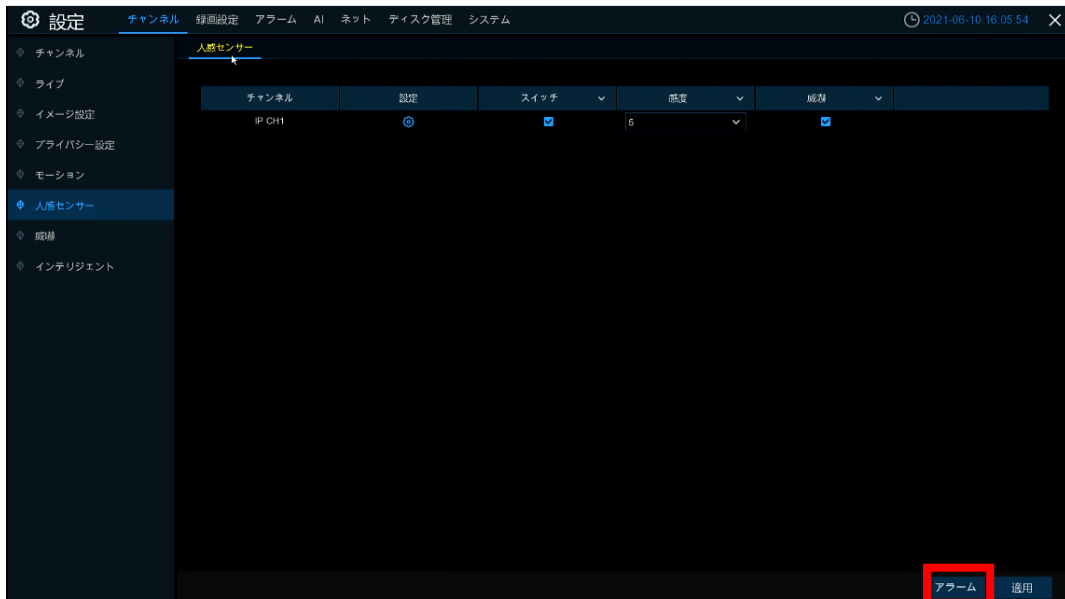
設定:  アイコンをクリックすると設定ページに移動します。

スイッチ: 人感センサー機能を有効または無効にします。

感度: 感度レベルを設定します。レベル 1(最も感度が低い)、レベル 8(最も感度が高い)

威嚇: 威嚇機能の ON/OFF スイッチ





[アラーム]をクリックして、人感センサー検知アラーム機能を設定します。



ブザー

内部ブザーを使用してアラーム音を出力することができます。人感センサーが検知されたときのブザーの持続時間を秒単位で設定することができます。


アラーム出力

人感センサー検知時に連動するアラーム出力を選択することができます。

ラッチタイム

人感センサー検知時のアラーム出力の保持時間を設定します。

録画

 アイコンをクリックして、人感センサーが検知されたときに録画するチャンネルを選択します。



録画継続時間

イベントが発生時にレコーダーで録画を継続する時間を設定します。推奨される録画時間は 30 秒ですが、最大 5 分まで設定することができます。

メッセージ表示

人感センサー検知時に、ライブ画面へメッセージを表示します。

メール送信

人感センサー検知時に、自動で電子メールを送信します。

FTP 画像送信

人感センサー検知時に、FTP へ画像を送信します。

FTP 動画送信

人感センサー検知時に、FTP へ動画を送信します。

クラウド画像送信

人感センサー検知時に、クラウドへ画像を送信します。

クラウド動画送信

人感センサー検知時に、クラウドへ動画を送信します。

全画面表示

人感センサー検知時に、検知したチャンネルを全画面で表示します。

5.1.8 威嚇

暖色 LED 搭載 IP カメラのモーション検知や人感センサー & ホワイト LED 搭載 IP カメラのセンサー検知が作動した場合に、ライトやサイレンによって侵入者を威嚇することができます。

※ カメラに威嚇(ライトやサイレン)機能を搭載した IP カメラが対象となります。

◎威嚇設定は、

設定 ➡ チャンネル ➡ 威嚇から設定できます。



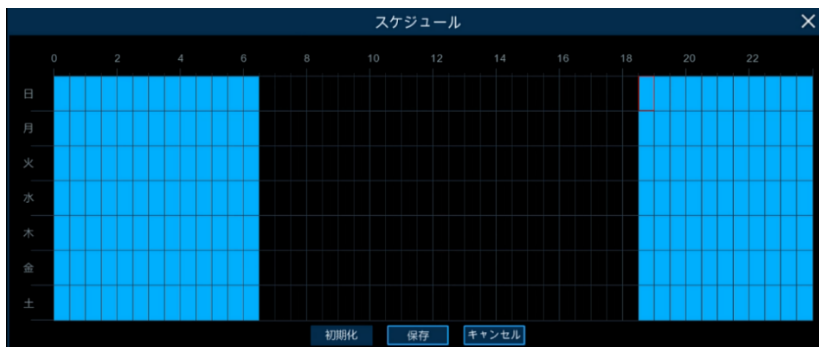
設定

⚙️ アイコンから威嚇エリアの範囲設定画面に入ります。



スケジュール

⚙️ アイコンをクリックして威嚇するスケジュールを設定します。デフォルト設定は 6:30～18:30 まで OFF に設定されています。



感度

威嚇機能の感度を 1～8 に設定します。デフォルトは 4 です。

ライトスイッチ

ライト機能の ON/OFF

ライト持続時間

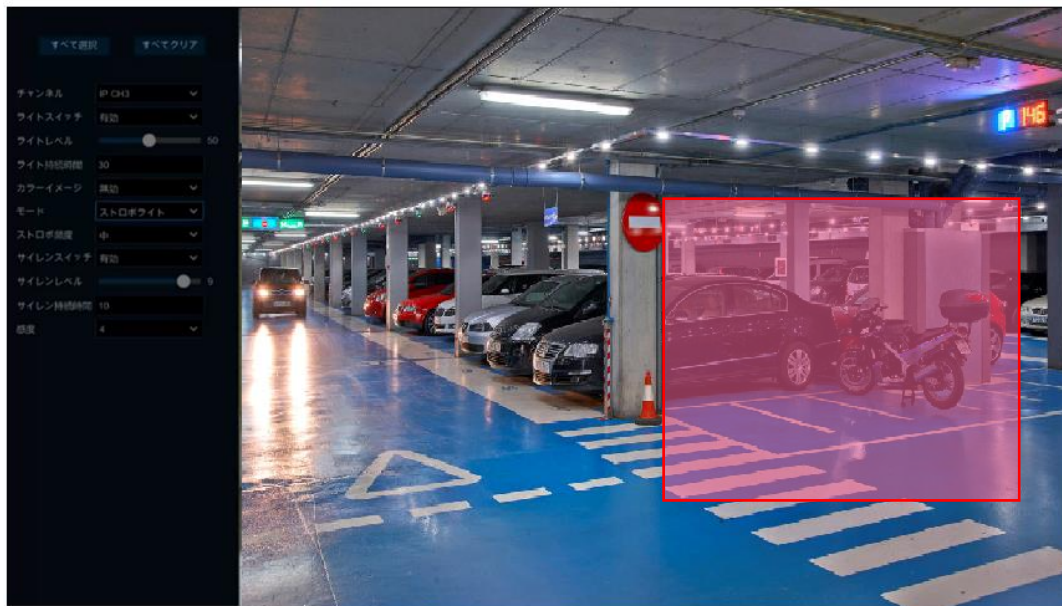
ライトの継続時間を 30～180 秒以内で設定します。デフォルトは 30 秒です。

サイレンスイッチ

サイレン機能の ON/OFF スイッチ

サイレン持続時間

サイレン持続時間を 10～180 秒以内に設定します。デフォルトは 10 秒です。



ライトレベル

LED の明るさのレベルを 0～100 で設定できます。最大は 100 です。

モード

ライトの状態を連続的なライト照射またはストロボタイプから選択します。

ライト警告

点灯

ストロボライト

点滅



ストロボ頻度

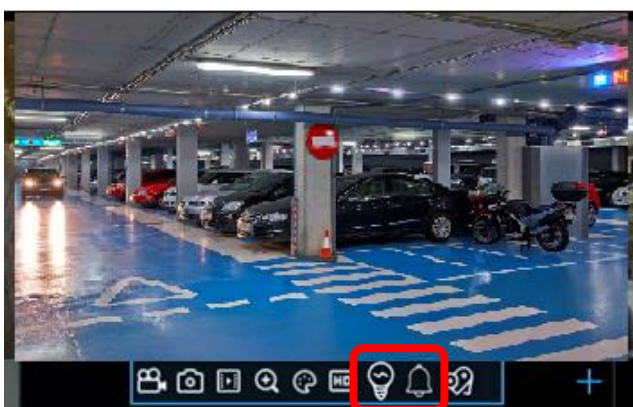
白色光のストロボ発光間隔を、低、中、高から選択します。

サイレンスイッチ

サイレン機能の ON/OFF スイッチ

設定後、ライブ画面で該当するチャンネルをクリックすると、ライトとサイレンを操作するメニューが開きます。

メニューバーから   をクリックし、ライトとサイレンの作動確認や、必要な場合に操作を行うことができます。デフォルトは無効です。



5.1.9 Intelligent(インテリジェント機能)

・エリア侵入、ライン侵入、人&車両、物体、顔、人・車カウントなどのインテリジェント機能の設定が可能です。

インテリジェント機能を使用できるカメラは、プライベートプロトコルを使用している AI1.0 以前のカメラが対象となります。AI1.0、2.0、3.0 のカメラでは、物体検知、音声検知のみ使用可能です。

AI 機能の設定は、[5.4 AI 設定](#)から設定してください。

◎インテリジェント設定は、

[設定](#)⇒[チャンネル](#)⇒[インテリジェント](#)から設定できます。

5.1.9.1 <物体検知>

物体検知機能は、手荷物、財布、危険物などのような物体が指定エリア内に置き去りになったり、エリアから持ち去られた場合に検知する機能です。また、検知した際には、設定した特定のアクションを実行することができます。

※ 物体検知の機能を搭載したカメラが設定の対象となります。

エリア検入 ライン検入 人・車両 物体 顔 人・車カウント 音声 妨害 スケジュール 人・車カウント統計				
チャンネル	設定	スイッチ	感度	
IP CH2	⚙️	<input type="checkbox"/>	2	▼
IP CH3	⚙️	<input type="checkbox"/>	2	▼
IP CH4	⚙️	<input type="checkbox"/>	2	▼

チャンネル:チャンネル名を表示します。

設定: ⚙️ アイコンをクリックし、映像上に仮想のエリアを設定します。

スイッチ:物体検知機能を有効または無効にします。

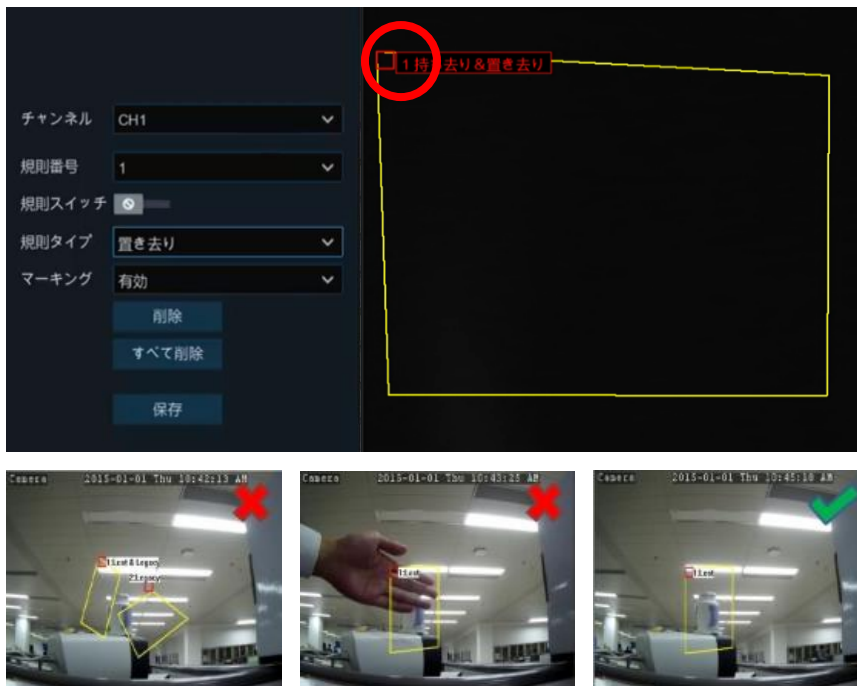
感度:感度レベルは 1～4 で、デフォルト値は 2 です。

数字が大きいほど、検知されやすくなります。

シーン:シーン設定には屋内と屋外があります。

カメラの設置場所に合わせてシーンを選択してください。

[物体検知設定画面]



1. 規則番号を 1 つ選択します。

物体検知エリアは最大4エリアまで設定が可能です。

2. 規則スイッチで検知を有効にします。

3. 規則タイプを選択します。

置き去り: 置き去りになった物体のみを検知します。

持ち去り: 持ち去られた物体のみを検知します。

置き去り & 持ち去り: 置き去りまたは持ち去られた物体の両方を検知します。

4. マウスを使って映像上に4点をクリックし、仮想エリアを設定します。

エリアの選択範囲は多角形にしてください。

5. **保存** をクリックして設定を保存します。

6. エリアのサイズを調整したい場合は、エリア内の赤いボックスをクリックしてください。エリアの境界が赤色に変わります。マウスの左ボタンを長押しして選択範囲全体を移動するか、コーナーをドラッグして選択範囲のサイズを変更します。
7. 画像上から設定エリアを削除する場合は、そのエリアの赤いボックスをクリックしてから **削除** をクリックします。 **すべて削除** をクリックすると、すべてのエリアが削除されます。

5.1.9.2 <音声検知>

音声検知は緊急時の大声や、機械の作動音の停止などを検知することができます。また、検知した際には、設定した特定のアクションを実行することができます。

※ 音声検知機能を搭載したカメラが設定の対象となります。



チャンネル	スイッチ	上昇	上昇感度	音の強さ	下降	下降感度	ライ
IP CH1	<input type="checkbox"/>	無効	50	50	無効	50	
IP CH2	<input type="checkbox"/>	無効	50	50	無効	50	
IP CH3	<input type="checkbox"/>	無効	50	50	無効	50	
IP CH4	<input type="checkbox"/>	無効	50	50	無効	50	

チャンネル: チャンネル名を表示します。

スイッチ: 音声検知の ON/OFF を設定します。


上昇: 一定レベルの音量からの上昇レベルの感知を有効または無効にします。

上昇感度: 上昇感度を 0～100 の範囲で設定できます。デフォルトは 50 です。

音の強さ: 音の強さを 0～100 の範囲で設定できます。デフォルトは 50 です。

下降: 一定レベルの音量からの下降レベルの感知を有効または無効にします。

下降感度: 低下感度を 0～100 の範囲で設定できます。デフォルトは 50 です。

ライトスケジュール:  アイコンをクリックしライトスケジュールを設定します。

5.2 録画設定

このメニューでは録画の詳細設定が可能です。

5.2.1 エンコード設定

このメニューでは、録画映像とネットワーク伝送の画質を設定することができます。

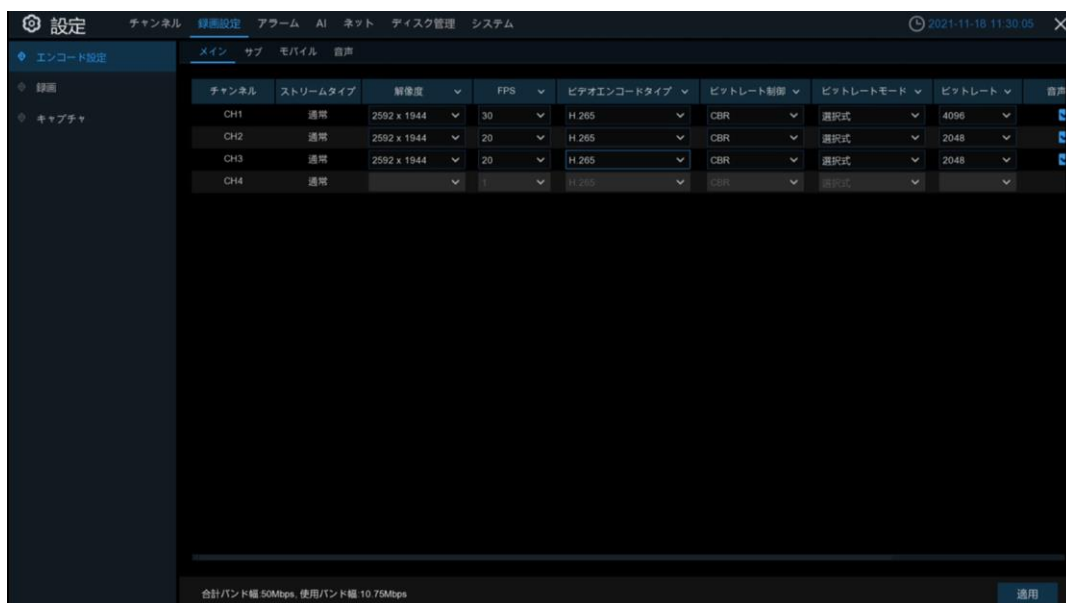
メインストリームは HDD に保存される録画映像の設定項目です。

サブストリームは、リモートアクセスの際に表示される映像に関連する設定です。

モバイルストリームは、モバイルデバイスでのリモートアクセス時に表示される映像の品質です。

◎エンコード設定は、

設定 ➡ 録画設定 ➡ エンコード設定 から設定できます。



ストリームタイプ

画面上段メニューから「メイン」「サブ」「モバイル」「音声」4 種類の設定を行います。

※ モバイル・音声は ON/OFF の設定が可能です。カメラによっては、設定できません。

解像度

録画される画像の大きさを設定します。

FPS

録画する 1 秒あたりのフレーム数を設定します。

ビデオエンコードタイプ

H.265 または H.264 の選択が可能です。IP カメラが H.265 をサポートしていない場合は、H.264 を選択してください。

ビットレート制御

灰色の壁のような単純なシーンでは、一定のビットレート (CBR) が適しています。

繁華街などのより複雑なシーンには、可変ビットレート (VBR) が適しています。

ビットレートモード

直接ビットレートを設定する場合は、入力式を選択してください。選択式を選択した場合は、リストからビットレートを選択してください。

ビットレート

録画映像の品質やデータ転送速度を設定します。ビットレートが高いほど、画質は向上します。ただしデータの伝送や録画日数に影響するため、解像度に適したビットレートを設定してください。

音声

接続したカメラに音声機能が搭載されている場合のみスイッチが表示され、ON/OFF の選択ができます。

I フレーム間隔

この設定はデフォルトでの設定で、変更はしないでください。

ETR (メインストリームのみ対応)

ETR をオンにすると、通常時の設定とアラーム発生時の設定を別々に設定することができます。

例) 通常時: 『低解像度、低フレーム、低ビットレート』

アラーム発生時: 『高解像度、高フレーム、高ビットレート』

5.2.2 録画

このメニューでは録画の ON/OFF、デュアルストリーム、プレ録画などを設定します。

◎録画設定は、
設定 ➡ 録画設定 ➡ 録画 から設定できます。

5.2.2.1 <録画>



録画スイッチ

録画を有効にする場合はチェックを入れます。

ストリームモード

録画の画質を選択します。デュアルストリームの場合はメインとサブストリームの両方を同時に録画します。

プレ録画

このオプションを有効にすると、イベントが発生する数秒前から録画を開始します。モーションや I/O アラームの場合は、このオプションを使用します。

5.2.2.2 <録画スケジュール>

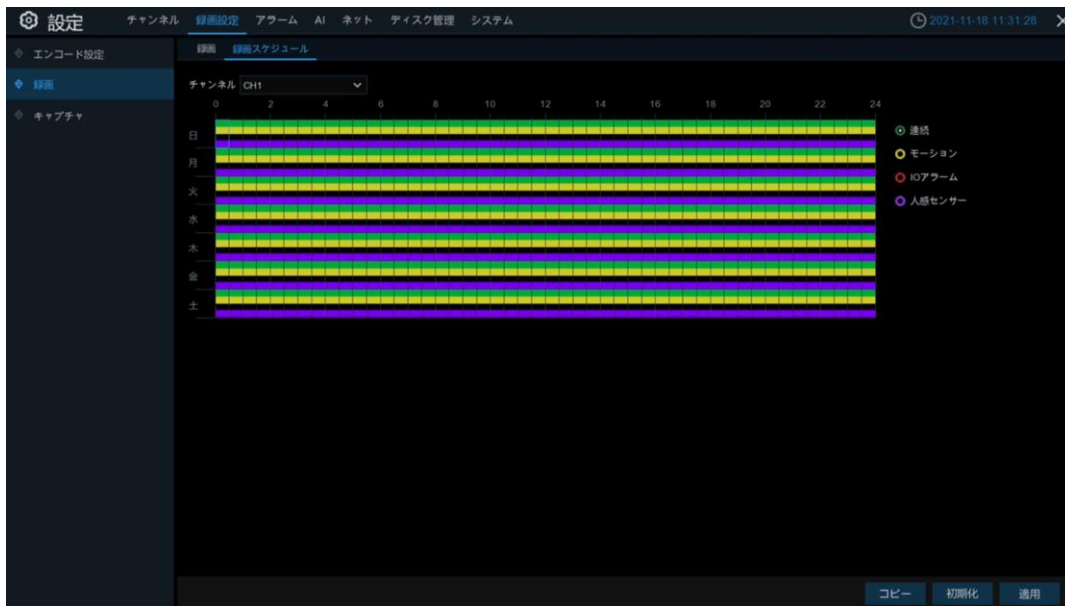
チャンネル別、曜日別、時間帯別、録画モード(連続録画、モーション録画、IO アラーム録画、人感センサー録画)別にスケジュールを設定することができます。

録画モードを設定するには、まず各モードの選択ボタン(連続、モーション、IO アラーム、人感センサー)を選択し、次にスケジュール上でカーソルをドラッグして設定します。

録画スケジュールはチャンネル毎に設定します。

他のチャンネルに同じ録画スケジュールを使用したい場合は、コピー機能をご使用ください。

適用 をクリックして設定を保存します。



チャンネル

設定するチャンネルを選択します。

連続

連続録画は継続して録画を行います。スケジュールは緑色で表示されます。

モーション

モーション録画は映像上に変化が発生した場合のみ録画を開始します。スケジュールは黄色で表示されます。

アラーム IO

IO 録画は外部センサーを検知した場合に録画を開始します。スケジュールは赤色で表示されます。

人感センサー

人感センサー録画は、カメラの人感センサーが検知された場合に録画を開始します。スケジュールは紫色で表示されます。

録画無し

黒く表示されている箇所は録画されません。

5.2.3 キャプチャ

このメニューでは、画像キャプチャ機能を設定することができます。

◎キャプチャ設定は、

設定 ➡ 録画設定 ➡ **キャプチャ** から設定できます。

5.2.3.1 <キャプチャ>



自動キャプチャ

チャンネルの自動キャプチャを有効または無効にします。

ストリーム

キャプチャする画質をメインまたはサブストリームから選択します。

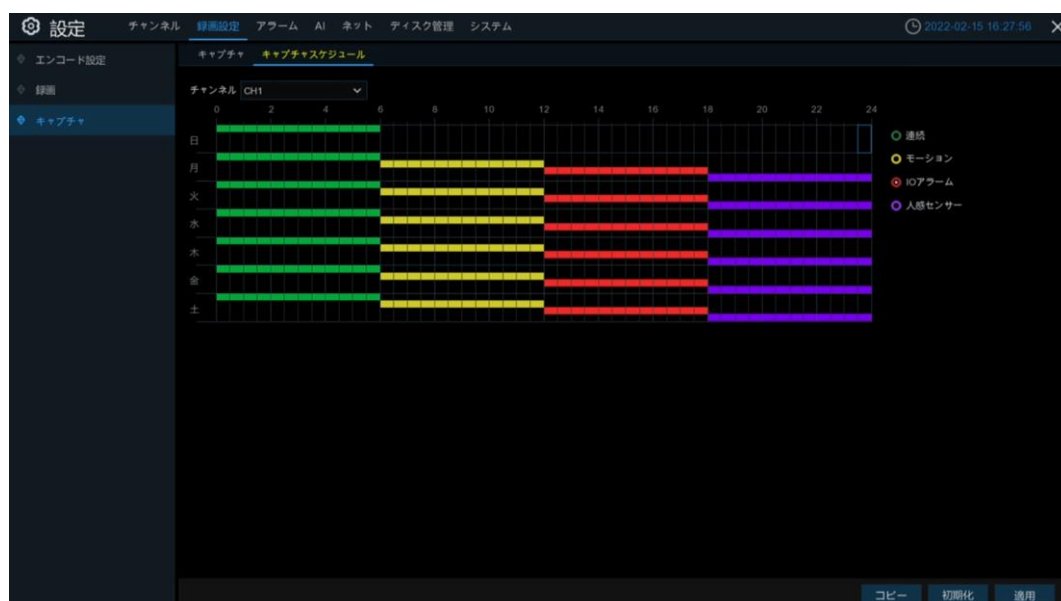
通常間隔

通常録画の画像をキャプチャする間隔を選択します。

アラーム間隔

モーション、IO アラーム、人感センサーが検知されたときにキャプチャする画像の間隔を選択します。

5.2.3.2 <キャプチャスケジュール>



チャンネル

設定するチャンネルを選択します。

連続

通常録画をキャプチャします。スケジュールは緑色で表示されます。

モーション

映像上に変化が発生した場合のみキャプチャを開始します。スケジュールは黄色で表示されます。

IO アラーム

外部センサーを検知した場合にキャプチャを開始します。スケジュールは赤色で表示されます。

人感センサー

人感センサーが検知した場合にキャプチャを開始します。スケジュールは紫色で表示されます。

キャプチャ無し

黒く表示されている箇所はキャプチャされません。

他のチャンネルに同じキャプチャスケジュールを使用したい場合は、コピー機能をご使用ください。

適用

をクリックして設定を保存します。

5.3 アラーム

このメニューでは、アラーム（警報）の詳細設定が可能です。

インテリジェントに関するアラーム設定は、プライベートプロトコルを使用している AI1.0 以前のカメラが対象となります。

AI1.0、2.0、3.0 のカメラでは、物体検知、音声検知に関する設定のみ可能です。
AI1.0、2.0、3.0 カメラの場合、AI の設定の [5.4.3 AI アラーム](#) から設定してください。

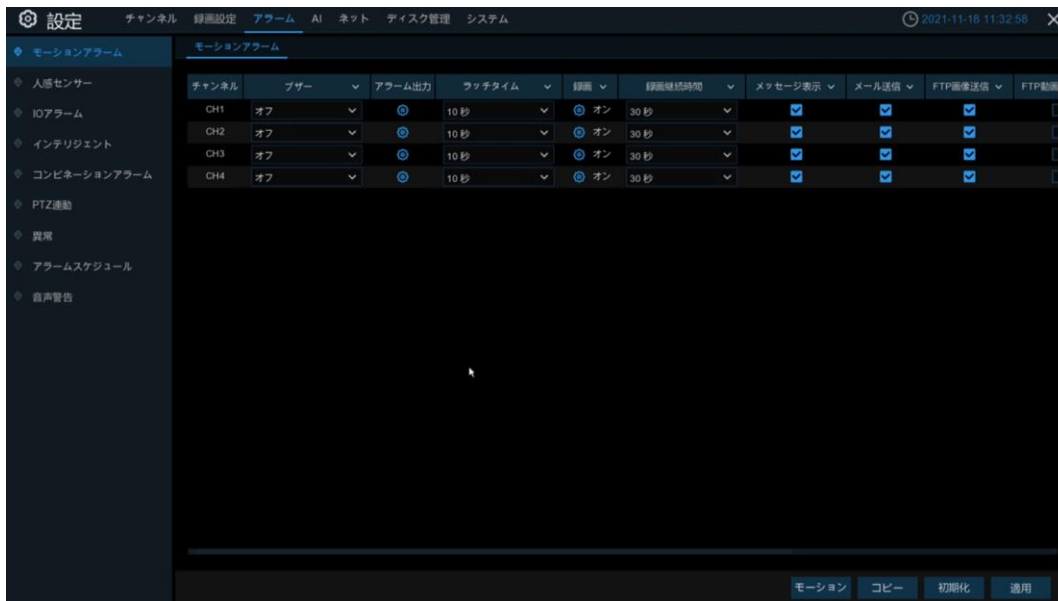
5.3.1 モーションアラーム

アラームをクリックして、モーション検知機能を設定します。

※ IP カメラではプライベートプロトコル搭載カメラが設定の対象となります。

◎モーションアラーム設定は、

設定 ➡ [アラーム](#) ➡ [モーションアラーム](#) から設定できます。



ブザー

モーションが検知された場合、アラーム音（本体内蔵）を出力することができます。アラーム音の持続時間を秒単位で設定できます。


アラーム出力

モーションが検知された場合に、外部の警報機器を作動させることができます。

ラッチタイム

アラーム出力の作動時間を設定します。

録画

 アイコンをクリックし、モーションが検知したとき同時に録画したいチャンネルを選択します。



録画継続時間

モーションイベント発生時の録画継続時間を設定します。推奨録画時間は 30 秒ですが、最大 5 分まで設定できます。

メッセージ表示

モーション検知時に、ライブ画面に  が表示されます。

メール送信

モーション検知時に、登録したメールアカウントにメールが送信されます。

FTP 画像送信

モーション検知時に、FTP サーバーに画像をアップロードします。FTP を有効にする方法は、[5.5.4 FTP](#) をご参照ください。

FTP 動画送信

モーション検知時に、FTP サーバーに動画をアップロードします。FTP を有効にする方法は、[5.5.4 FTP](#) をご参照ください。

クラウド画像送信

モーション検知時に、クラウドサーバーに画像をアップロードします。クラウドを有効にする方法は、[5.6.2 クラウド](#) をご参照ください。

クラウド動画送信

モーション検知時に、クラウドサーバーに動画をアップロードします。クラウドを有効にする方法は、[5.6.2 クラウド](#) をご参照ください。

全画面表示

モーション検知時に、検知したチャンネルがフルスクリーンで表示されます。

音声警告

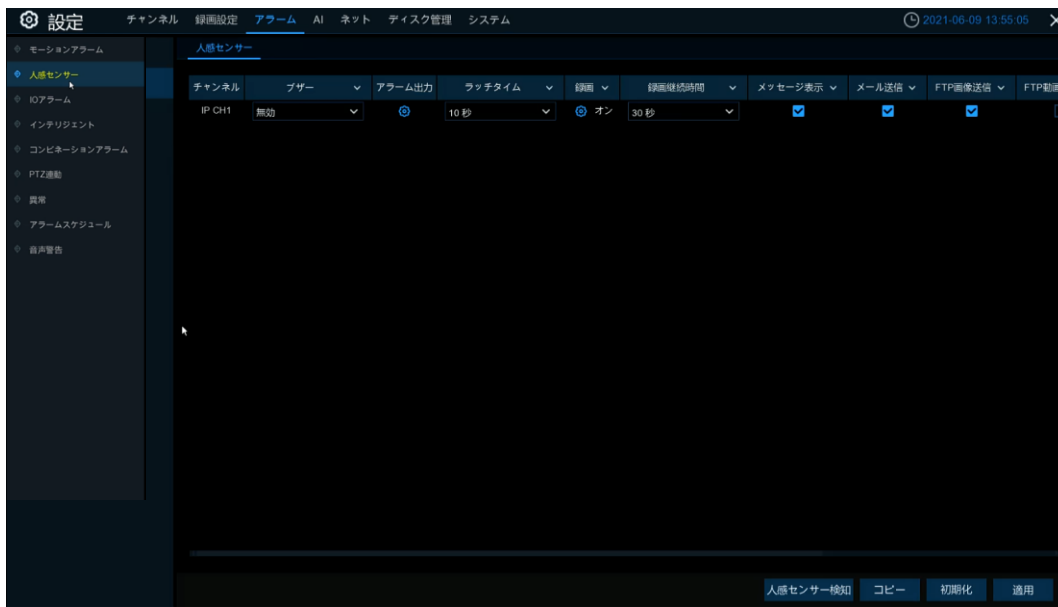
モーション検知時に、音声警告を出力する設定ができます。詳しい設定方法は、[5.3.9 音声警告](#) をご参照ください。

5.3.2 人感センサー

アラームをクリックして、人感センサー機能を設定します。

※ 人感センサー搭載カメラが設定の対象となります。

◎人感センサー設定は、
設定⇒アラーム⇒人感センサーから設定できます。



ブザー

人感センサーが検知された場合、アラーム音（体内蔵）を出力することができます。アラーム音の持続時間を秒単位で設定できます。

アラーム出力

人感センサーが検知された場合に、外部の警報機器を作動させることができます。

ラッチタイム

アラーム出力の作動時間を設定します。

録画

⚙️アイコンをクリックし、人感センサーが検知したとき同時に録画したいチャンネルを選択します。



録画継続時間

人感センサー検知時の録画継続時間を設定します。推奨録画時間は 30 秒ですが、最大 5 分まで設定できます。

メッセージ表示

人感センサー検知時に、ライブ画面に「PIR」の文字が表示されます。

メール送信

人感センサー検知時に、登録したメールアカウントにメールが送信されます。

FTP 画像送信

人感センサー検知時に、FTP サーバーに画像をアップロードします。FTP を有効にする方法は、[5.5.4 FTP](#) をご参照ください。

FTP 動画送信

人感センサー検知時に、FTP サーバーに動画をアップロードします。FTP を有効にする方法は、[5.5.4 FTP](#) をご参照ください。

クラウド画像送信

人感センサー検知時に、クラウドサーバーに画像をアップロードします。クラウドを有効にする方法は、[5.6.2 クラウド](#)をご参照ください。

クラウド動画送信

人感センサー検知時に、クラウドサーバーに動画をアップロードします。クラウドを有効にする方法は、[5.6.2 クラウド](#)をご参照ください。

全画面表示

人感センサー検知時に、検知したチャンネルがフルスクリーンで表示されます。

音声警告

人感センサー検知時に、音声警告を出力する設定ができます。詳しい設定方法は、[5.3.9 音声警告](#)をご参照ください。

5.3.3 IO アラーム設定

アラームをクリックして、IO アラーム機能を設定します。

※ レコーダー本体とセンサー入出力搭載の IP カメラが設定の対象となります。

◎IO アラーム設定は、
設定⇒アラーム⇒IO アラームから設定できます。

IOアラーム										
アラーム入力	アラームタイプ	ブザー	アラーム出力	ラッチタイム	チャンネル	録画継続時間	メッセージ表示	メール送信	FT	
Local<-1	ノーマルオープン	無効	Ⓢ	10 秒	Ⓢ	30 秒	☑	☑		
Local<-2	ノーマルオープン	無効	Ⓢ	10 秒	Ⓢ	30 秒	☑	☑		
Local<-3	ノーマルオープン	無効	Ⓢ	10 秒	Ⓢ	30 秒	☑	☑		
Local<-4	ノーマルオープン	無効	Ⓢ	10 秒	Ⓢ	30 秒	☑	☑		
Local<-5	ノーマルオープン	無効	Ⓢ	10 秒	Ⓢ	30 秒	☑	☑		
Local<-6	ノーマルオープン	無効	Ⓢ	10 秒	Ⓢ	30 秒	☑	☑		
Local<-7	ノーマルオープン	無効	Ⓢ	10 秒	Ⓢ	30 秒	☑	☑		
Local<-8	ノーマルオープン	無効	Ⓢ	10 秒	Ⓢ	30 秒	☑	☑		
Local<-9	ノーマルオープン	無効	Ⓢ	10 秒	Ⓢ	30 秒	☑	☑		
Local<-10	ノーマルオープン	無効	Ⓢ	10 秒	Ⓢ	30 秒	☑	☑		
Local<-11	ノーマルオープン	無効	Ⓢ	10 秒	Ⓢ	30 秒	☑	☑		
Local<-12	ノーマルオープン	無効	Ⓢ	10 秒	Ⓢ	30 秒	☑	☑		
Local<-13	ノーマルオープン	無効	Ⓢ	10 秒	Ⓢ	30 秒	☑	☑		
Local<-14	ノーマルオープン	無効	Ⓢ	10 秒	Ⓢ	30 秒	☑	☑		
Local<-15	ノーマルオープン	無効	Ⓢ	10 秒	Ⓢ	30 秒	☑	☑		
Local<-16	ノーマルオープン	無効	Ⓢ	10 秒	Ⓢ	30 秒	☑	☑		
IP CH2<-1	ノーマルオープン	無効	Ⓢ	10 秒	Ⓢ	30 秒	☑	☑		
IP CH4<-1	ノーマルオープン	無効	Ⓢ	10 秒	Ⓢ	30 秒	☑	☑		

アラーム入力

入力チャンネルごとに設定します。(Local は NVR 本体、IP はカメラを意味します)

アラームタイプ

3つのタイプ(ノーマルオープン、ノーマルクローズ、オフ)から選択します。設置するセンサーの種類に合わせて選択してください。使用しない場合は、オフを選択してください。

ブザー

センサーが検知された場合、アラーム音(本体内蔵)を出力することができます。アラーム音の持続時間を秒単位で設定できます。

アラーム出力

センサーが検知された場合に、外部の警報機器を作動させることができます。

ラッチタイム

アラーム出力の作動時間を設定します。

チャンネル

⚙️ アイコンをクリックし、センサーが検知したときに録画したいチャンネルを選択します。



録画継続時間

センサー検知時の録画継続時間を設定します。推奨録画時間は 30 秒ですが、最大 5 分まで設定できます。

メッセージ表示

センサー検知時に、ライブ画面に「S」の文字が表示されます。

メール送信

センサー検知時に、登録したメールアカウントにメールが送信されます。

FTP 画像送信

センサー検知時に、FTP サーバーに画像をアップロードします。FTP を有効にする方法は、[5.5.4 FTP](#) をご参照ください。

FTP 動画送信

センサー検知時に、FTP サーバーに動画をアップロードします。FTP を有効にする方法は、[5.5.4 FTP](#) をご参照ください。

クラウド画像送信

センサー検知時に、クラウドサーバーに画像をアップロードします。クラウドを有効にする方法は、[5.6.2 クラウド](#) をご参照ください。

クラウド動画送信

センサー検知時に、クラウドサーバーに動画をアップロードします。クラウドを有効にする方法は、[5.6.2 クラウド](#) をご参照ください。

全画面表示

センサー検知時に、検知したチャンネルがフルスクリーンで表示されます。

音声警告

センサー検知時に、音声警告を出力する設定ができます。詳しい設定方法は、[5.3.9 音声警告](#) をご参照ください。

5.3.4 インテリジェントアラーム設定

AI1.0、2.0、3.0 は物体検知・音声検知のみ設定可能です。AI アラーム機能を使用する場合は [5.4.3 アラーム](#) から設定してください。

5.3.4.1 <物体>

物体検知機能は、手荷物、危険物などのような物体が指定エリア内に置き去りになったり、エリアから持ち去られた場合に検知する機能です。また、検知した際には、設定した特定のアクションを実行することができます。

※ 物体検知の機能を搭載したカメラが設定の対象となります。

エリア検入 ライン検入 人々車両 物体 顔 人々・車カウント 音声 防犯									
物体									
チャンネル	ブザー	アラーム出力	ラッチタイム	録画	録画継続時間	メッセージ表示	メール送信	FTP画像送信	FTP動画
IP-CH2	無効	🔊	10 秒	📺 オン	30 秒	☑	☑	☑	☑
IP-CH3	無効	🔊	10 秒	📺 オン	30 秒	☑	☑	☑	☑
IP-CH4	無効	🔊	10 秒	📺 オン	30 秒	☑	☑	☑	☑

チャンネル

チャンネル名を表示します。

ブザー

物体が検知された場合、アラーム音(本体内蔵)を出力することができます。アラーム音の持続時間を秒単位で設定できます。


アラーム出力

物体が検知された場合に、外部の警報機器を作動させることができます。

ラッチタイム

アラーム出力の作動時間を設定します。

録画

 アイコンをクリックし、物体を検知したときに録画したいチャンネルを選択します。

録画継続時間

物体の検知時の録画継続時間を設定します。推奨録画時間は 30 秒ですが、最大 5 分まで設定できます。

メッセージ表示

物体検知時に、ライブ画面に「S」の文字が表示されます。

メール送信

物体検知時に、登録したメールアカウントにメールが送信されます。

FTP 画像送信

物体検知時に、FTP サーバーに画像をアップロードします。FTP を有効にする方法は、[5.5.4 FTP](#) をご参照ください。

FTP 動画送信

物体検知時に、FTP サーバーに動画をアップロードします。FTP を有効にする方法は、[5.5.4 FTP](#) をご参照ください。

クラウド画像送信

物体検知時に、クラウドサーバーに画像をアップロードします。クラウドを有効にする方法は、[5.6.2 クラウド](#) をご参照ください。

クラウド動画送信

物体検知時に、クラウドサーバーに動画をアップロードします。クラウドを有効にする方法は、[5.6.2 クラウド](#) をご参照ください。

全画面表示

物体検知時に、検知したチャンネルがフルスクリーンで表示されます。

音声警告

物体検知時に、音声警告を出力する設定ができます。詳しい設定方法は、[5.3.9 音声警告](#) をご参照ください。

5.3.4.2 <音声検知>

音声検知は緊急時の大声や、機械の作動音の停止などを検知することができます。また、検知した際には、設定した特定のアクションを実行することができます。

※ 音声検知機能を搭載したカメラが設定の対象となります。

チャンネル	ブザー	アラーム出力	ラッチタイム	録画	録画継続時間	メッセージ表示	メール送信	FTP画像送信	FTP動画
IP CH1	無効		10 秒	オン	30 秒	<input checked="" type="checkbox"/>	<input checked="" type="checkbox"/>	<input checked="" type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>
IP CH2	無効		10 秒	オン	30 秒	<input checked="" type="checkbox"/>	<input checked="" type="checkbox"/>	<input checked="" type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>
IP CH3	無効		10 秒	オン	30 秒	<input checked="" type="checkbox"/>	<input checked="" type="checkbox"/>	<input checked="" type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>
IP CH4	無効		10 秒	オン	30 秒	<input checked="" type="checkbox"/>	<input checked="" type="checkbox"/>	<input checked="" type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>

[インテリジェント](#)
[コピー](#)
[初期化](#)
[適用](#)

チャンネル

チャンネル名を表示します。

ブザー

音声を検知された場合、アラーム音(本体内蔵)を出力することができます。アラーム音の持続時間を秒単位で設定できます。

アラーム出力

音声を検知された場合に、外部の警報機器を作動させることができます。

ラッチタイム

アラーム出力の作動時間を設定します。

録画

アイコンをクリックし、音声を検知したときに録画したいチャンネルを選択します。

録画継続時間

音声検知時の録画継続時間を設定します。推奨録画時間は 30 秒ですが、最大 5 分まで設定できます。

メッセージ表示

音声検知時に、ライブ画面に「S」の文字が表示されます。

メール送信

音声検知時に、登録したメールアカウントにメールが送信されます。

FTP 画像送信

音声検知時に、FTP サーバーに画像をアップロードします。FTP を有効にする方法は、[5.5.4 FTP](#) をご参照ください。

FTP 動画送信

音声検知時に、FTP サーバーに動画をアップロードします。FTP を有効にする方法は、[5.5.4 FTP](#) をご参照ください。

クラウド画像送信

音声検知時に、クラウドサーバーに画像をアップロードします。クラウドを有効にする方法は、[5.6.2 クラウド](#) をご参照ください。

クラウド動画送信

音声検知時に、クラウドサーバーに動画をアップロードします。クラウドを有効にする方法は、[5.6.2 クラウド](#) をご参照ください。

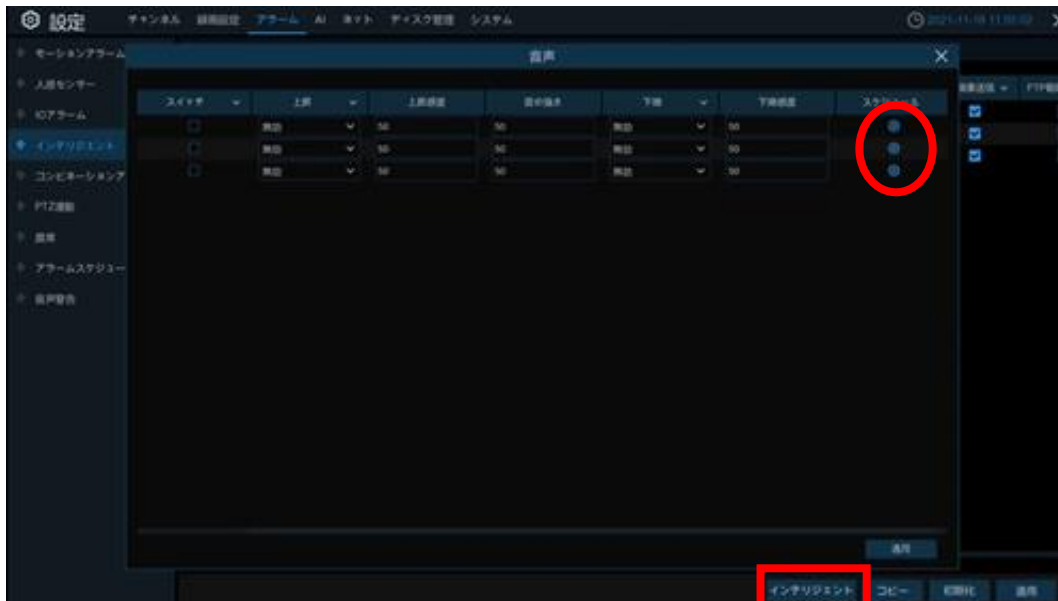
全画面表示

音声検知時に、検知したチャンネルがフルスクリーンで表示されます。

音声警告

音声検知時に、音声警告を出力する設定ができます。詳しい設定方法は、[5.3.9 音声警告](#) をご参照ください。

音声検知の設定ページ内の右下 **インテリジェント** から、音声検知設定ページへ移動することができます。



インテリジェント から音声検知設定ページ内に移動して、スケジュールを設定することができます。

5.3.5 コンビネーションアラーム

カメラ単体やセンサー単体での検知方法ではなく、2種類の検知機能(AIカメラ&外部のセンサーなど)を組み合わせ、より精度の高い検知を行います。

設定⇒**アラーム**⇒**コンビネーションアラーム**から設定できます。



チャンネル

チャンネル名を表示します。

アラーム有効

アラーム有効・無効の設定をします。

コンビネーション設定

コンビネーションアラームの詳細設定をします。

ブザー

アラームが検知された場合、アラーム音(本体内蔵)を出力することができます。アラーム音の持続時間を秒単位で設定できます。


アラーム出力

アラームが検知された場合に、外部の警報機器を作動させることができます。

ラッチタイム

アラーム出力の作動時間を設定します。

録画

 アイコンをクリックし、アラームを検知したときに録画したいチャンネルを選択します。

録画継続時間

アラーム検知時の録画継続時間を設定します。推奨録画時間は 30 秒ですが、最大 5 分まで設定できます。

メッセージ表示

アラーム検知時に、ライブ画面に「S」の文字が表示されます。

メール送信

アラーム検知時に、登録したメールアカウントにメールが送信されます。

FTP 画像送信

アラーム検知時に、FTP サーバーに画像をアップロードします。FTP を有効にする方法は、[5.5.4 FTP](#) をご参照ください。

FTP 動画送信

アラーム検知時に、FTP サーバーに動画をアップロードします。FTP を有効にする方法は、[5.5.4 FTP](#) をご参照ください。

クラウド画像送信

アラーム検知時に、クラウドサーバーに画像をアップロードします。クラウドを有効にする方法は、[5.6.2 クラウド](#) をご参照ください。

クラウド動画送信

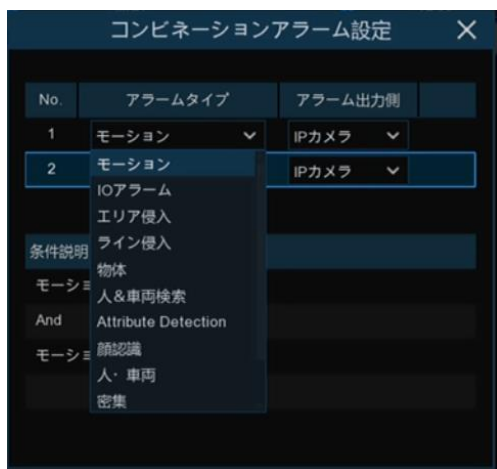
アラーム検知時に、クラウドサーバーに動画をアップロードします。クラウドを有効にする方法は、[5.6.2 クラウド](#) をご参照ください。


全画面表示

アラーム検知時に、検知したチャンネルがフルスクリーンで表示されます。

音声警告

アラーム検知時に、音声警告を出力する設定ができます。詳しい設定方法は、[5.3.9 音声警告](#) をご参照ください。



コンビネーション設定の  アイコンをクリックし、コンビネーションアラームの詳細設定をします。

5.3.6 PTZ 連動

PTZ カメラと各種アラーム（モーション、外部 IO アラーム）を連動させるための設定を行います。
モーションまたは IO アラームが検知した場合に事前に設定した場所に PTZ カメラを移動させることができます。

◎PTZ 連動設定は、
[設定](#)→[アラーム](#)→[PTZ 連動](#)から設定できます。

PTZ連動									
チャンネル	スイッチ	モーション	IOアラーム	人感センサー	PTZ1	PTZ2	PTZ3	PTZ4	
IP CH1	<input type="checkbox"/>	<input checked="" type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	<input checked="" type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/> オフ	<input type="checkbox"/> オフ	<input type="checkbox"/> オフ	<input type="checkbox"/> オフ	
IP CH2	<input type="checkbox"/>	<input checked="" type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	<input checked="" type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/> オフ	<input type="checkbox"/> オフ	<input type="checkbox"/> オフ	<input type="checkbox"/> オフ	
IP CH3	<input type="checkbox"/>	<input checked="" type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	<input checked="" type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/> オフ	<input type="checkbox"/> オフ	<input type="checkbox"/> オフ	<input type="checkbox"/> オフ	
IP CH4	<input type="checkbox"/>	<input checked="" type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	<input checked="" type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/> オフ	<input type="checkbox"/> オフ	<input type="checkbox"/> オフ	<input type="checkbox"/> オフ	
IP CH5	<input type="checkbox"/>	<input checked="" type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	<input checked="" type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/> オフ	<input type="checkbox"/> オフ	<input type="checkbox"/> オフ	<input type="checkbox"/> オフ	

コピー 初期化 適用

スイッチ

PTZ 連動を有効または無効にします。

モーション

モーションを検知した場合に、事前に設定されているプリセットと連動させることができます。


IO アラーム

IO アラームが検知した場合に、事前に設定されているプリセットと連動させることができます。

人感センサー

人感センサーが検知した場合に、事前に設定されているプリセットと連動させることができます。

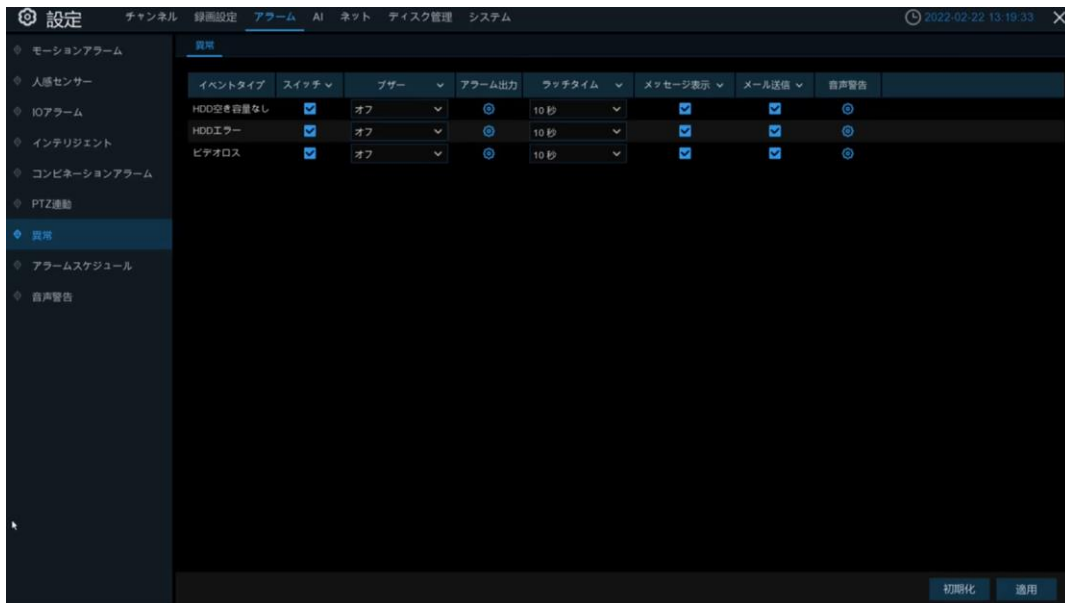
PTZ

 PTZ カメラのプリセットポイントを設定します。詳しい設定方法は、[5.1.4.1 PTZ コントロール](#)をご参照ください。

5.3.7 異常アラーム

機器に異常が発生した場合の通知方法などを設定することができます。

◎異常アラームの設定は、
[設定](#)→[アラーム](#)→[異常](#)から設定できます。



イベントタイプ

イベント(HDD 空き容量なし、HDD エラー、ビデオロス)別の設定が可能です。

スイッチ

異常アラーム機能を有効または無効にします。

ブザー

異常検知時に、アラーム音(本体内蔵)を出力することができます。アラーム音の持続時間を秒単位で設定できます。

アラーム出力

異常検知時に、外部の警報機器を作動させることができます。

ラッチタイム

アラーム出力の作動時間を設定します。

メッセージ表示

異常検知時に、ライブ画面にメッセージが表示されます。

メール送信

異常検知時に、登録したメールアカウントにメールが送信されます。

音声警告

異常検知時に、音声警告を出力する設定ができます。詳しい設定方法は、[5.3.9 音声警告](#)をご参照ください。

HDD 空き容量なし

HDD に空き容量がなくなった場合、アラームが実行されます。

HDD エラー

HDD が正しく検出されない場合、下の図のダイアログが表示され、アラームが実行されます。

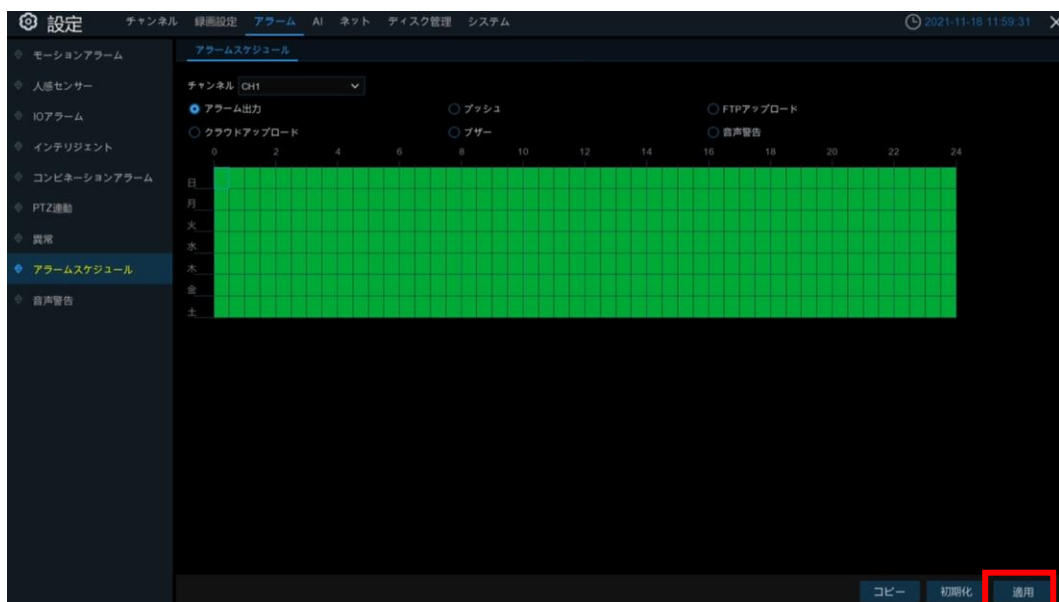


ビデオロス

カメラが正しく接続されず、映像が表示されない場合にアラームが実行されます。

5.3.8 アラームスケジュール

◎アラームスケジュール設定は、
設定→アラーム→アラームスケジュールから設定できます。



[アラーム]をクリックして設定ページに移動します。次に、[アラームスケジュール]をクリックしてスケジュールを設定します。スケジュール設定は、アラーム出力、プッシュ通知、FTPアップロード、クラウドアップロード、ブザー、音声警告別に設定を行います。

次にチャンネル別・曜日別・時間帯別にアラームの有効・無効を選択します。

スケジュール設定を行う場合、チャンネルを1つ選択してからタイムスケジュール上をドラッグし設定します。有効な箇所は緑色のブロックで表示されます。設定内容は選択したチャンネルに対してのみ有効です。

他のチャンネルにも同じスケジュールを適用する場合は、コピー機能をご使用ください。

適用 をクリックして設定を保存します。

5.3.9 音声警告

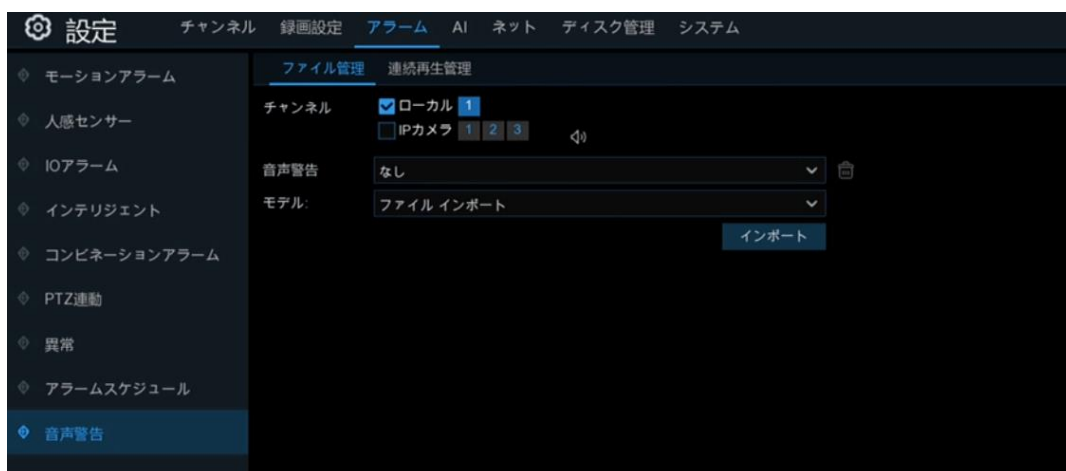
AI機能やIOアラームなどと連動させた自動音声警告を行うための音声ファイル登録・管理を行います。

◎音声警告は、

設定→アラーム→音声警告から設定できます。

5.3.9.1 <ファイル管理>

ここでは、自動警告音声のファイル出力先を設定します。



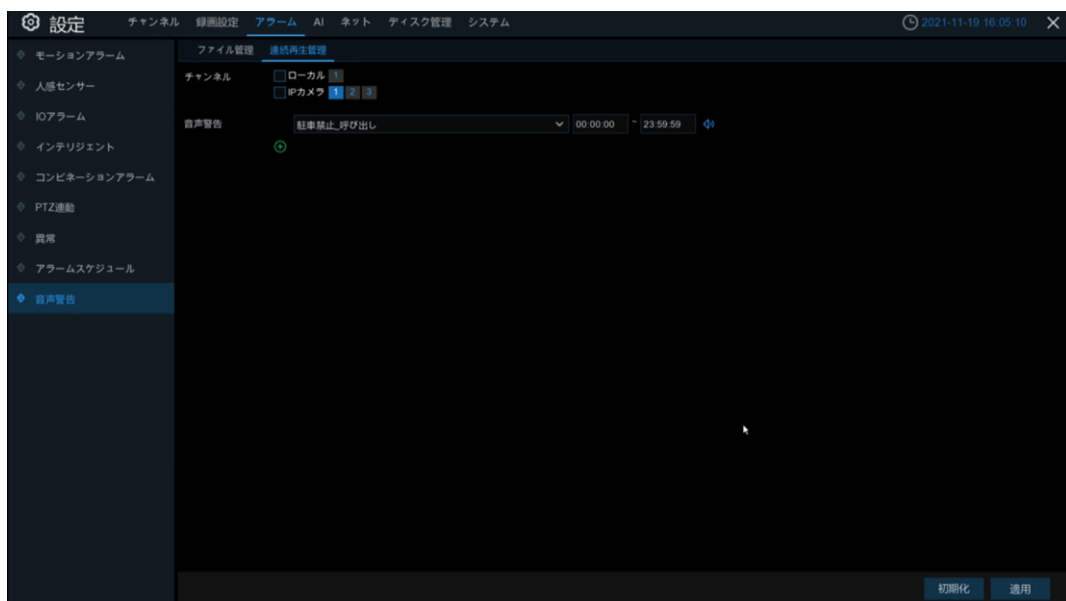
チャンネル: 音声出力先としてローカル(レコーダー本体)やカメラを選択します。

音声警告: 音声を選択します。登録された音声がない場合、先に音声ファイルをインポートして下さい。


モデル: パソコンやスマホで作成した音声ファイル(wav、mp3)を USB ポートからインポートします。

5.3.9.2 <連続再生管理>

ここでは、時間帯別に連動して出力する音声ファイルと出力先を設定します。



チャンネル: 音声出力先を選択します。

音声警告: 音声を選択し、出力する時間帯を設定します。  で追加できます。

5.4 AI 設定

AI カメラを使用するための設定を行います。AI カメラは顔・人・車両を認識し、それらの認識機能を基に、エリア侵入、ライン侵入、不審者管理、顔認証などを設定します。

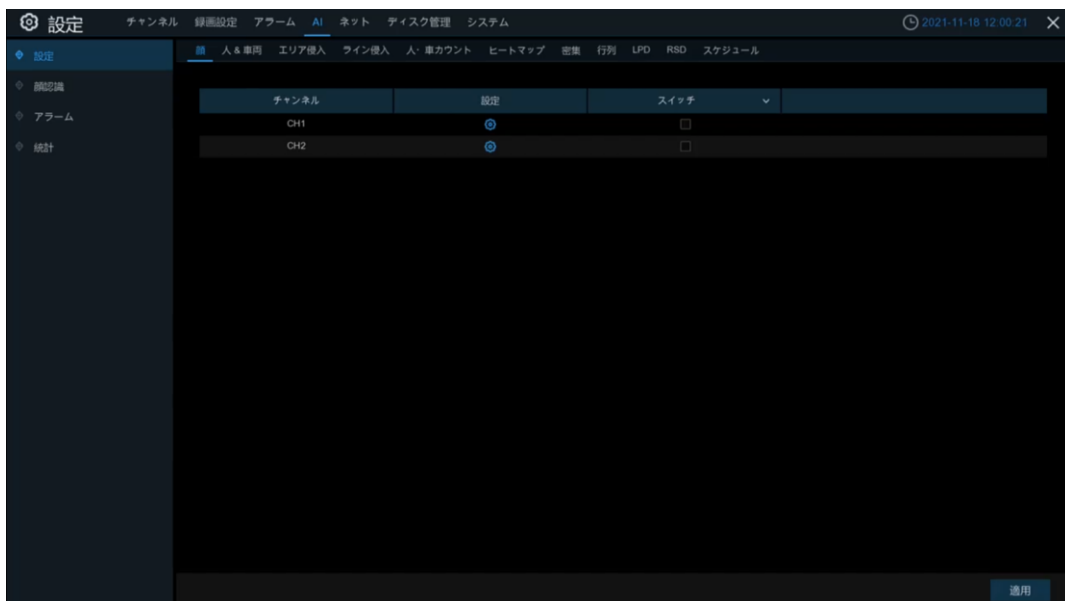
◎AI 設定は、
設定 ➡ **AI** ➡ **設定** から、各種 AI 機能を設定します。

※AI 検知機能を搭載したカメラが設定の対象になります。

5.4.1 設定

5.4.1.1 <顔認識>

ここでは、顔検知関連のパラメータを設定します。



スイッチ: 顔検知をオン/オフにします

⚙️ をクリックしてインターフェースに入ります



チャンネル: チャンネル選択

スナップモード: 最適モード(顔が消えたときにプッシュする画像を選択)、リアルタイムモード(顔が現れたときに 1 回プッシュ、顔が消えたときにもう一度プッシュ)、インターバルモード(時間及びプッシュ間隔をカスタマイズする)。

スナップ番号: インターバルモードで、顔をプッシュするスクリーンショットの番号を設定します。

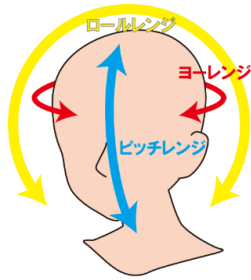
スナップ間隔: インターバルモードで、顔をプッシュする間隔を設定します。

アングル: フロントビュー、マルチアングル、カスタマイズなどのアングルを設定します。

ロール範囲: カスタム角度で、顔のロール範囲を設定します。

ピッチ範囲: カスタム角度で、顔のピッチ範囲を設定します。

ヨー範囲: カスタム角度で顔のヨー範囲を設定します。



フロントビュー/ マルチアングル初期化: フロントビューおよびマルチアングル設定を初期化します。

ぼかし: 画質を設定(1～最大 100)

アングル: フロントビュー、マルチアングル、カスタマイズを含む検知範囲アングルを設定します。

最小ピクセル: 最小認識ピクセルボックスを設定します。顔は、設定されたピクセルよりも大きい場合にのみ認識されます。

最大ピクセル: 最大認識ピクセルボックスを設定します。顔は、設定されたピクセルよりも小さい場合にのみ認識されます。

顔強調: 無効/有効にできます

検知モード: 静的モードとモーションモードの2つの検出モードがあります。

ルールの種類: ルールの種類。四角形とラインのルールがあります。

検知範囲: 長方形で検出領域を設定します。カスタマイズ領域と全画面領域。

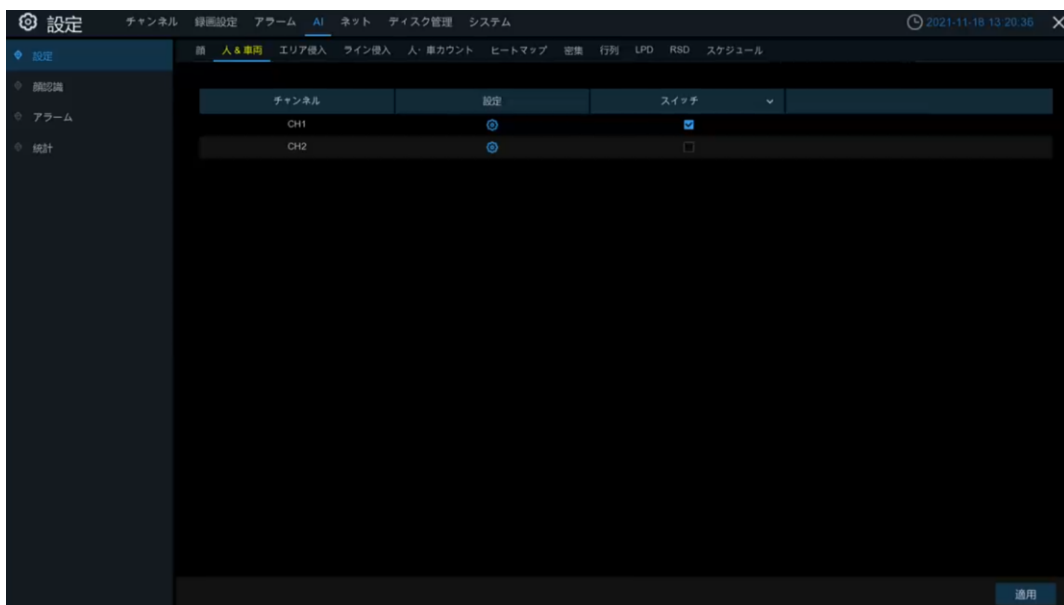
マーキング: 検知対象者を検知した時の印を有効/無効にします。

保存 をクリックして終了します。

※設定後の再生方法は [6.10.1 <顔>](#) をご参照ください。

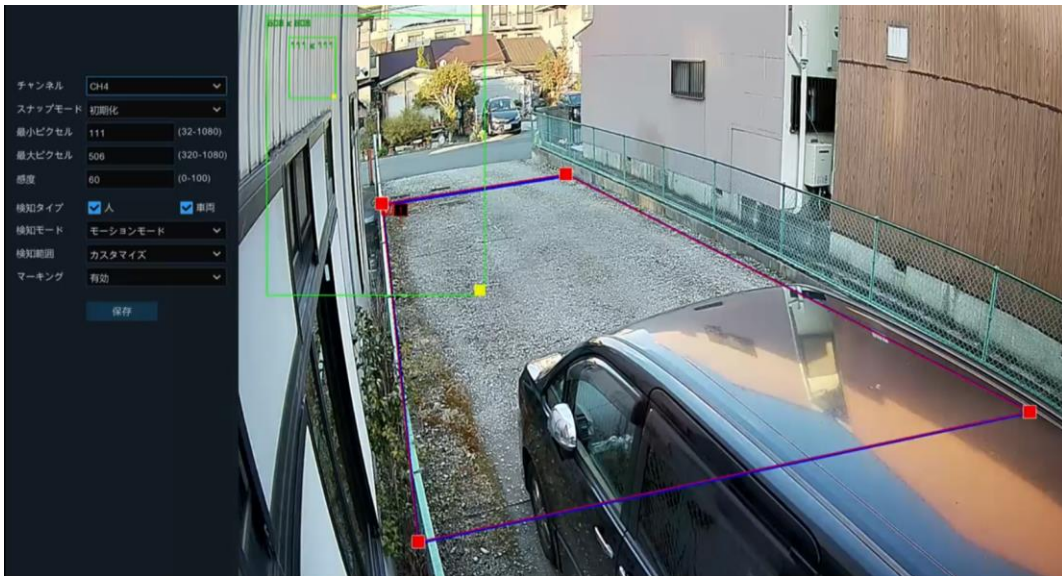
5.4.1.2 <人&車両検知>

ここでは、人と車両のタイプを検知するパラメーター設定を行います。



スイッチ: 人&車両の検知をオン/オフにします

⚙️ をクリックしてインターフェースの設定に入ります



チャンネル: チャンネル選択

スナップモード: 初期化 (人や車両の出現から消失までの間にプッシュする最高画像を選択)、リアルタイムモード (出現したときに 1 回プッシュし、消えたときにもう一度プッシュ)、およびインターバルモード (プッシュの時間と間隔をカスタマイズします)。

スナップ番号: インターバルモードで、プッシュするスクリーンショットの数を設定します。

スナップ間隔: インターバルモードで、プッシュする間隔を設定します。

最小ピクセル: 最小検知ピクセルボックスを設定します。人と車両は、設定されたピクセルよりも大きい場合にのみ検知できます。

最大ピクセル: 最大検知ピクセルボックスを設定します。人と車両は、設定されたピクセルよりも小さい場合にのみ検知できます。

感度: 感度を設定、1～最大 100

検知タイプ: 検知タイプの設定、人、車両、もしくは両方を選択します。

検知モード: 静的モードもしくはモーションモードの設定ができます

検知範囲: 検知範囲をカスタマイズ、もしくは全画面に設定します。

マーキング: 検知対象者を検知した時の印を有効/無効にします。

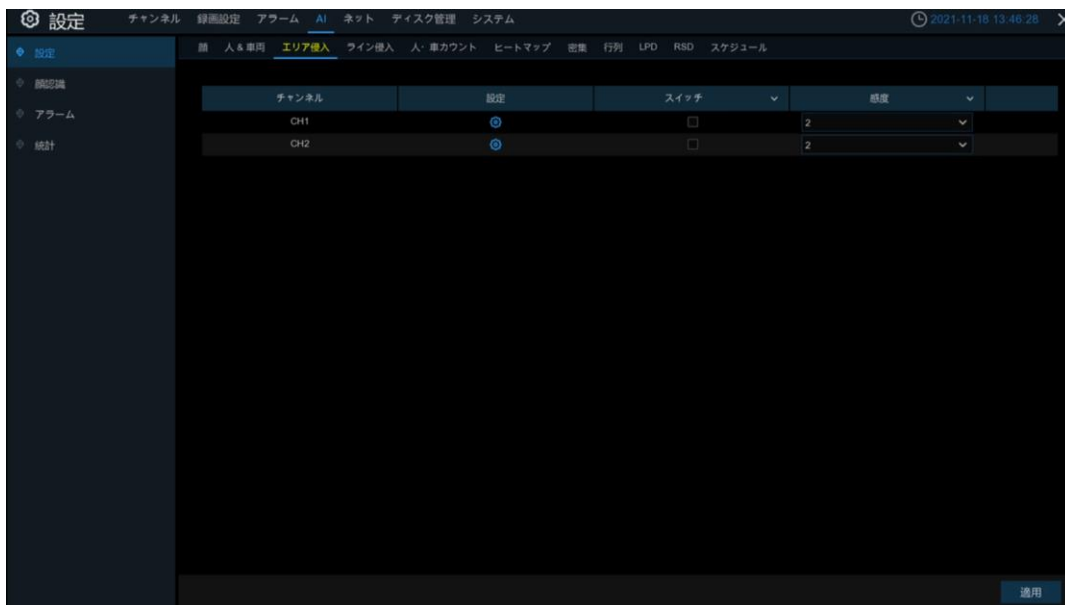
保存

をクリックして終了します。

※設定後の再生方法は [6.10.2 <人&車両>](#) をご参照ください。

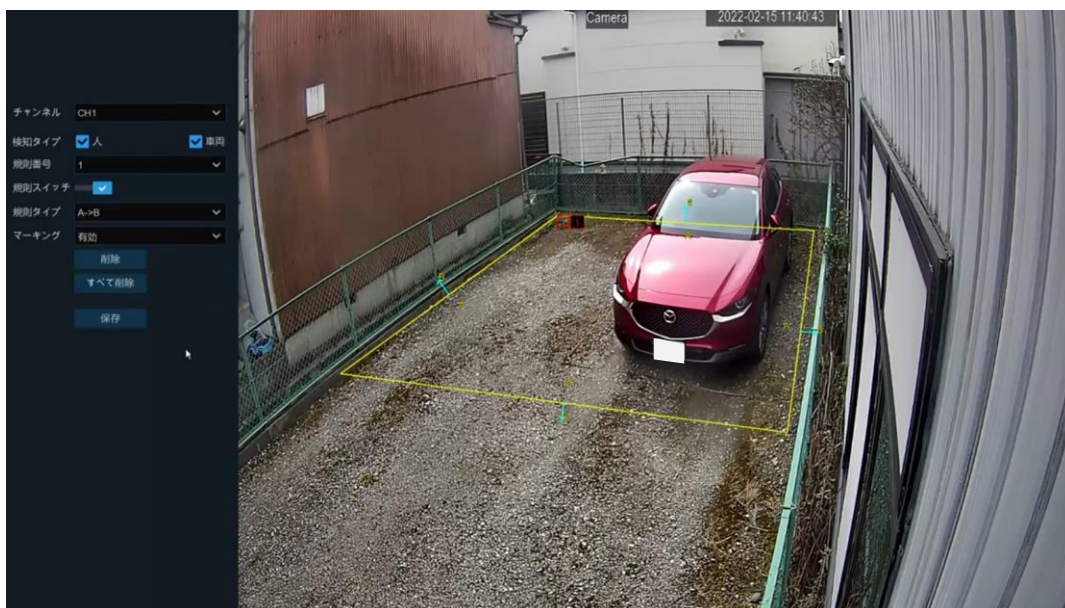
5.4.1.3 <エリア侵入>

ここではエリア侵入を検知するパラメーター設定を行います。



スイッチ: エリア侵入検知をオン/オフにします

をクリックしてインターフェースの設定に入ります。



チャンネル: チャンネル選択

検知タイプ: 検知タイプの設定、人、車両、もしくは両方を選択します。

規則番号: 最大 4 か所まで設定できます。

規則スイッチ: 規則番号ごとに有効・無効にします。

規則タイプ: **A→B:** A サイドから B サイドへのアクションのみを検知します。

B→A: B サイドから A サイドへのアクションのみを検知します。

A↔B: B から A へ、または A から B への両アクションを検知します。

マーキング: 検知対象者を検知した時の印を有効/無効にします。

※設定後の再生方法は [6.10.3 <エリア侵入&ライン侵入>](#) をご参照ください。

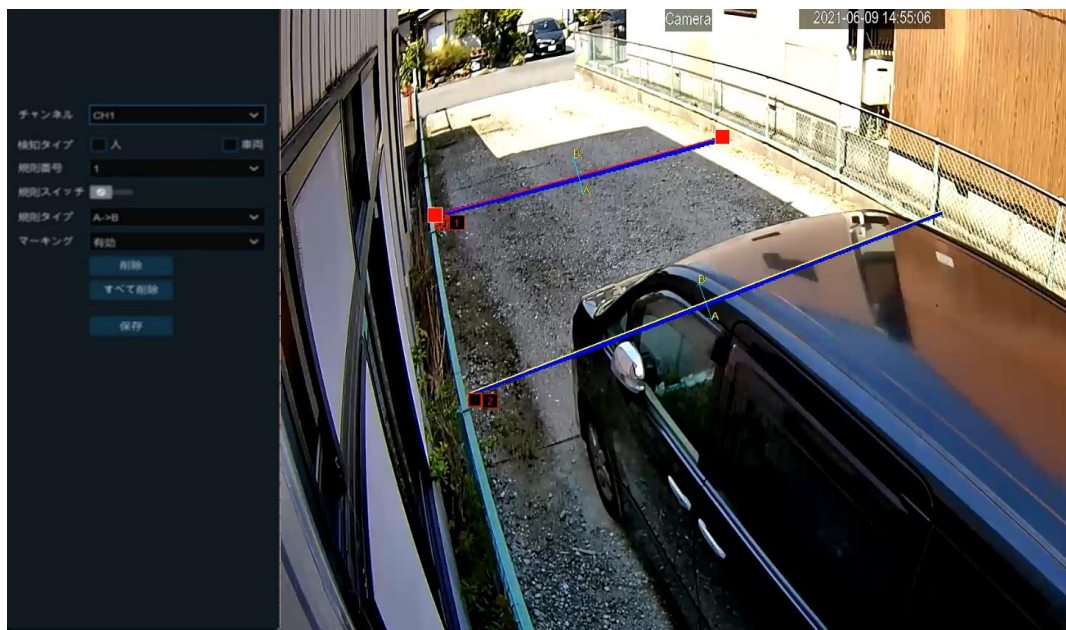
5.4.1.4 <ライン侵入>

ここでは、仮想ラインを横切る<人、車両>を検知するパラメーター設定を行います。



スイッチ: ライン侵入検知をオン/オフにします

をクリックしてインターフェースの設定に入ります



チャンネル: チャンネル選択

検知タイプ: 検知タイプの設定、人、車両、もしくは両方を選択します。

規則番号: 最大 4ヶ所まで設定できます。

規則スイッチ: 規則番号ごとに有効・無効にします。

規則タイプ: **A→B:** A サイドから B サイドへのアクションのみを検知します。

B→A: B サイドから A サイドへのアクションのみを検知します。

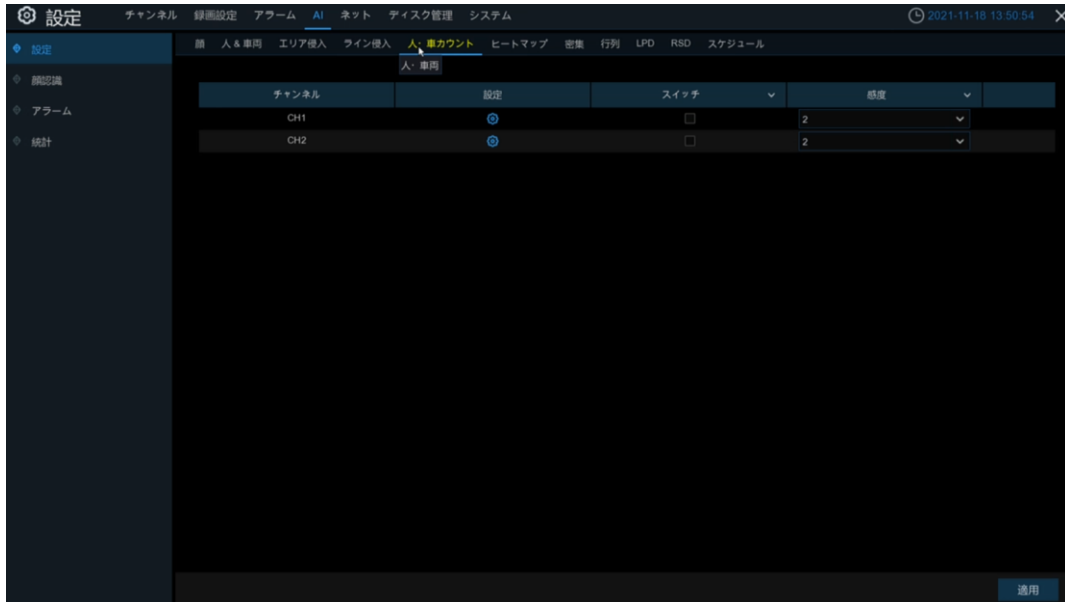
A↔B: B から A へ、または A から B への両アクションを検知します。

マーキング: 検知対象者を検知した時の印を有効/無効にします。


※設定後の再生方法は [6.10.3 <エリア侵入&ライン侵入>](#) をご参照ください。

5.4.1.5 <人・車カウント>

ここでは、仮想ラインを人や車両が横切って移動する回数をカウントするパラメーター設定を行います。



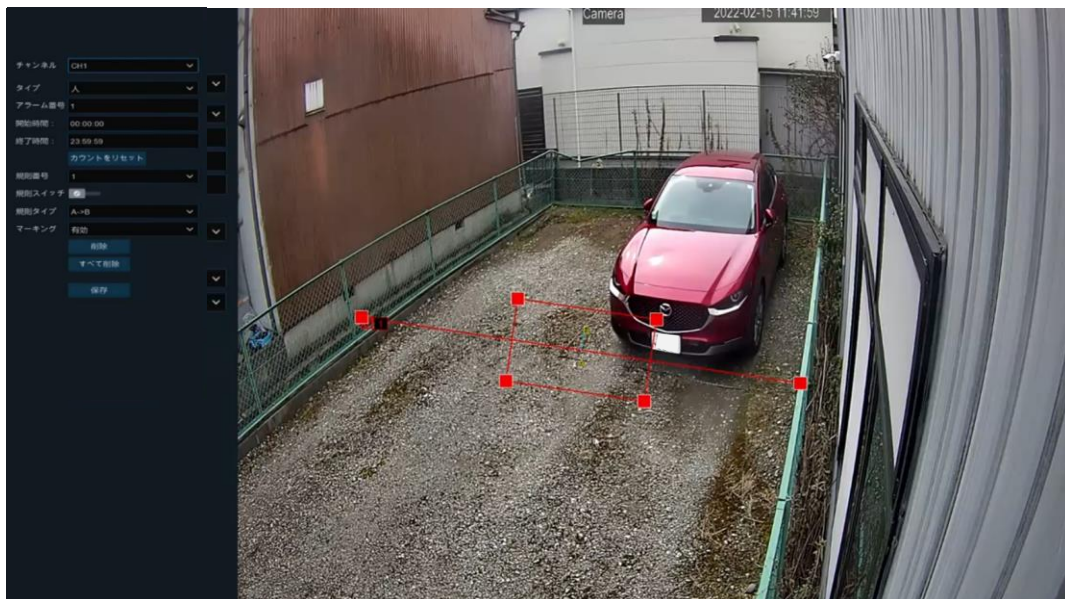
チャンネル: チャンネル名を表示します。

設定:  アイコンをクリックし、映像上に仮想ラインを設定します。

スイッチ: 人・車カウント機能を有効または無効にします。

感度: 感度レベルは 1～4 の範囲から選択します。デフォルト値は 2 です。

感度が高いほど、検知が開始されやすくなります。



チャンネル: チャンネル選択

タイプ: カウントタイプの設定、モーション、人、車両、のいずれかを選択します。

アラーム番号: 1 つのみ設定できます。

開始時間: カウント開始時間を設定します。

終了時間: カウント終了時間を設定します。

規則番号: 1 つのみ設定できます。

規則スイッチ: カウントを有効・無効にします。

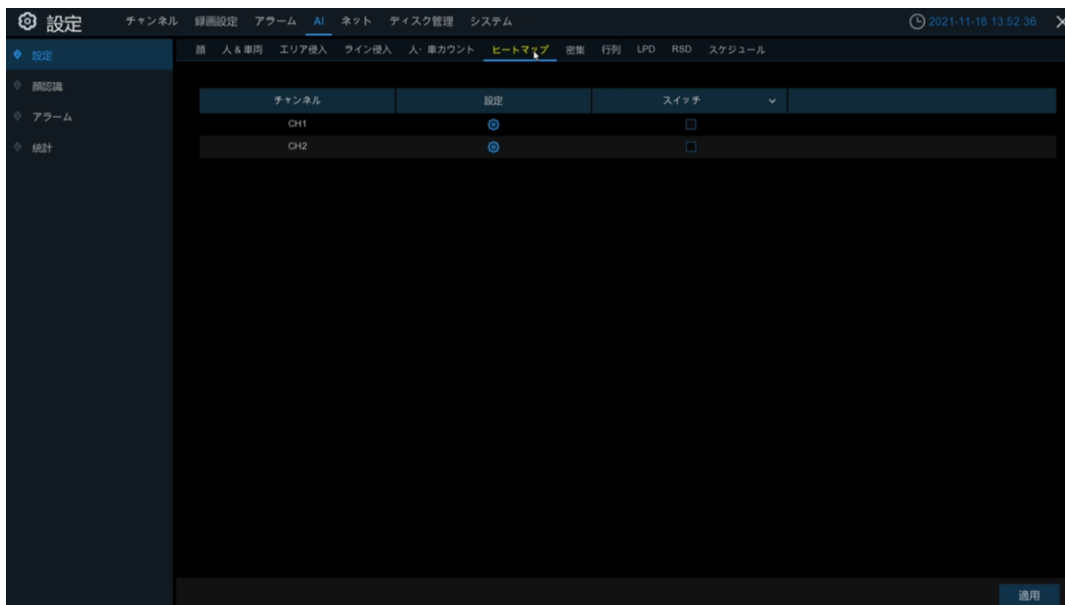
規則タイプ: **A→B:** A サイドから B サイドへのアクションのみをカウントします。

B→A: B サイドから A サイドへのアクションのみをカウントします。

マーキング: 検知対象者を検知した時の印を有効/無効にします。

5.4.1.6 <ヒートマップ>

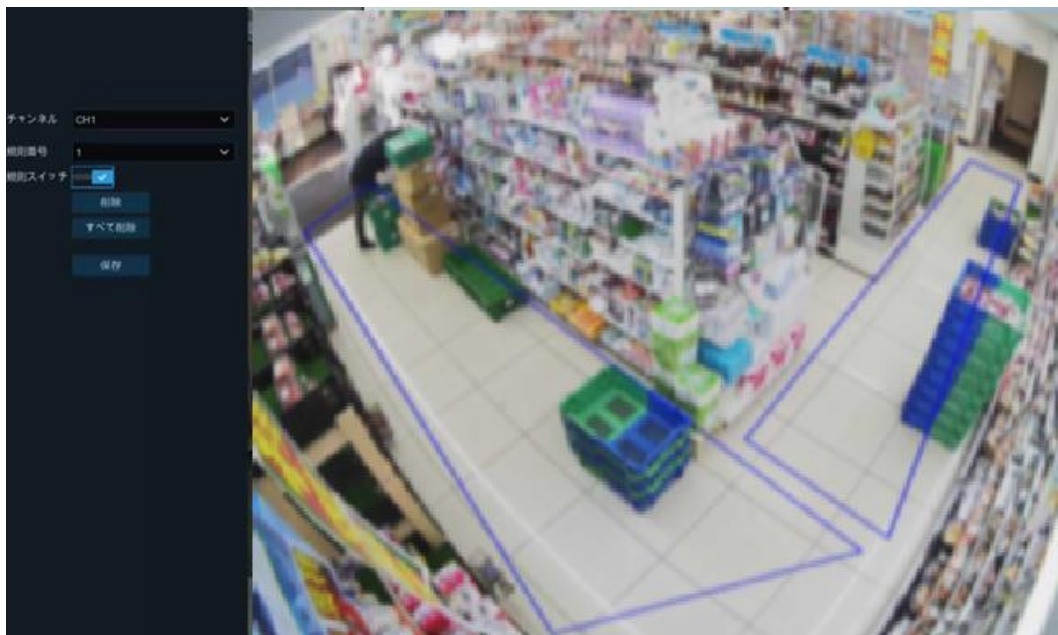
ここでは、人・車両の動きが多いエリアや時間帯を検知するパラメーターが設定できます。



スイッチ: ヒートマップ検知をオン/オフにします。

をクリックしてインターフェースの設定に入ります。

※エリアの設定はできません。



チャンネル: チャンネル選択

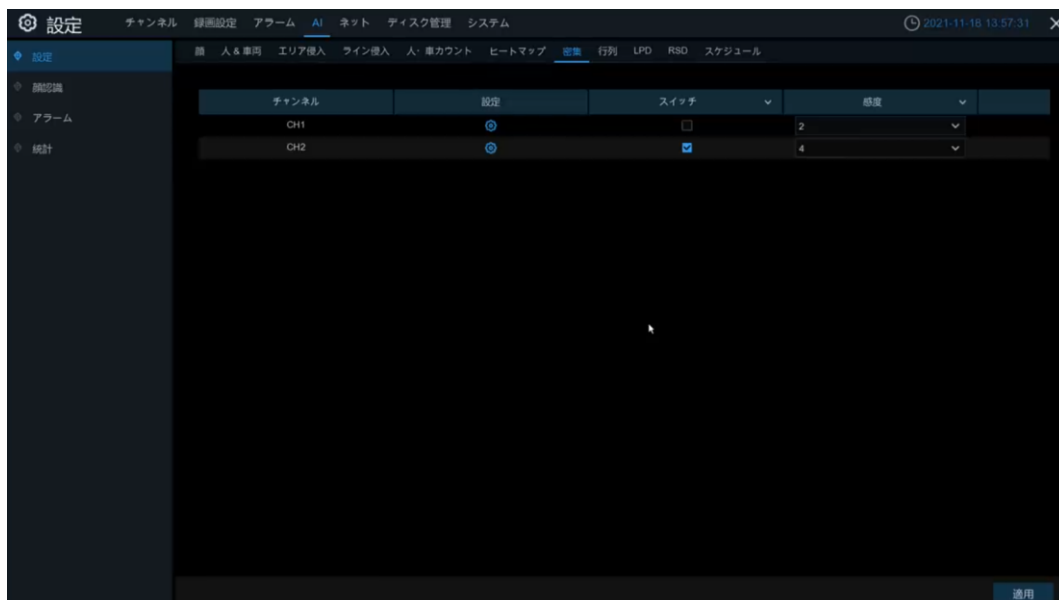
規則番号: 1 つのみ設定できます。

規則スイッチ: 検知を有効・無効にします。


保存 をクリックして設定を保存します。

5.4.1.7 <密集>

ここでは、仮想エリア内で設定した人数以上を検知するパラメーター設定を行います。



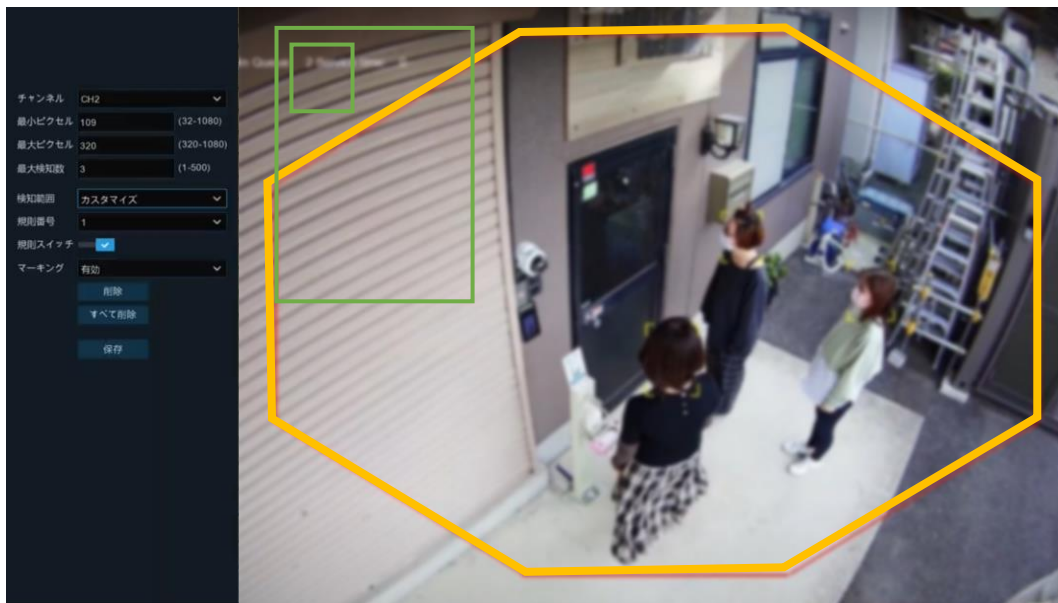
チャンネル: チャンネル名を表示します。

設定:  アイコンをクリックし、映像上に仮想エリアと検知人数を設定します。

スイッチ: 密集検知機能を有効または無効にします。

感度: 感度レベルは 1～4 の範囲から選択します。デフォルト値は 2 です。

感度が高いほど、検知が開始されやすくなります。



チャンネル: チャンネル選択

最小ピクセル: 最小検知ピクセルボックスを設定します。人の頭部が、設定されたピクセルよりも大きい場合にのみ検知できます。

最大ピクセル: 最大検知ピクセルボックスを設定します。人の頭部が、設定されたピクセルよりも小さい場合にのみ検知できます。

最大検知数: 密集検知する最大人数を設定できます。

検知範囲: 全画面もしくはカスタマイズを選択します。カスタマイズは画面上で任意の範囲を設定できます。

規則番号: 1 つのみ設定できます。

規則スイッチ: 検知を有効・無効にします。

マーキング: 検知対象者を検知した時の印を有効/無効にします。

保存 をクリックして設定を保存します。

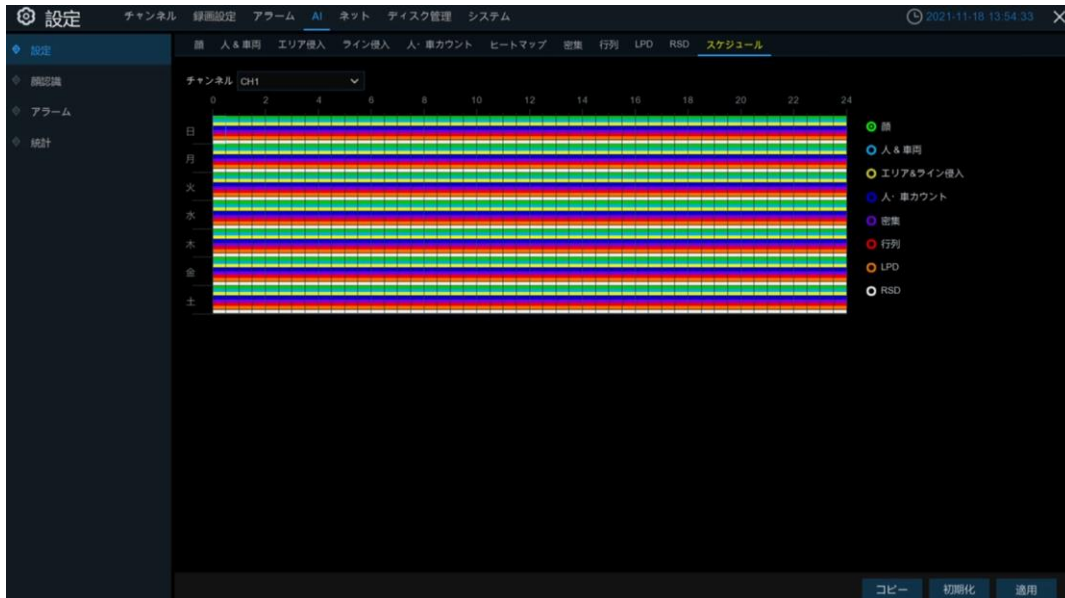
5.4.1.8 <行列>

ここでは、仮想エリア内で設定した人数と時間以上の滞留を検知するパラメーター設定を行います。

規則スイッチ:検知を有効・無効にします。

マーキング:検知対象者を検知した時の印を有効/無効にします。

5.4.1.9 <スケジュール>



AI 検知のスケジュールを設定します。色で表示されている場合はオン、表示されていない場合はオフになります。スケジュールはチャンネル別・曜日別・時間帯別に設定が可能です。

5.4.2 顔認識

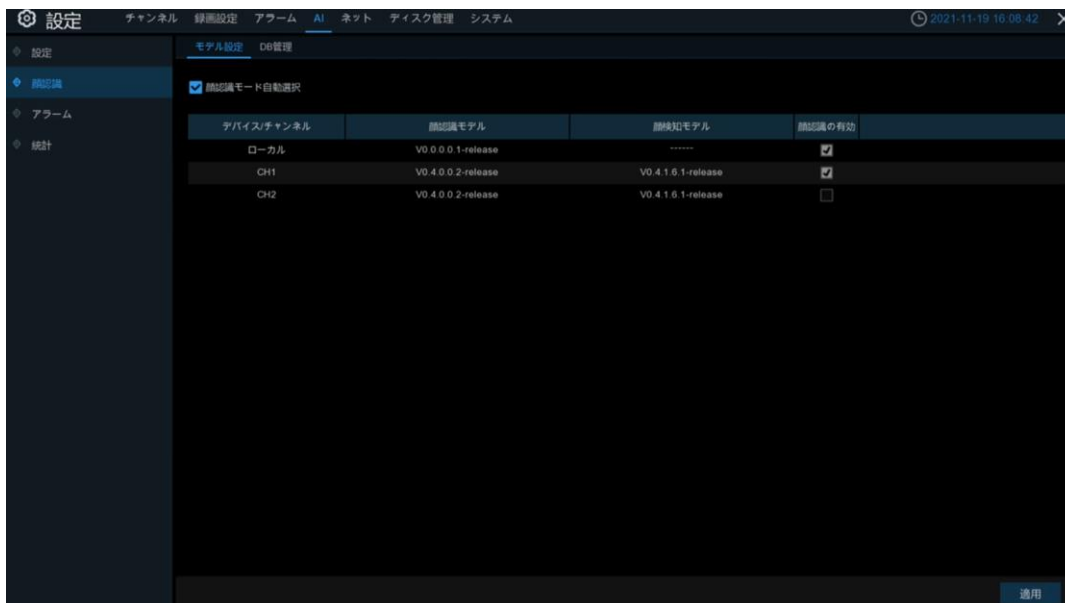
顔認証や不審者管理を行うためのデータベースやアルゴリズムの設定を行います。

◎顔認識は、

設定 ➡ **AI** ➡ **顔認識** から設定できます。

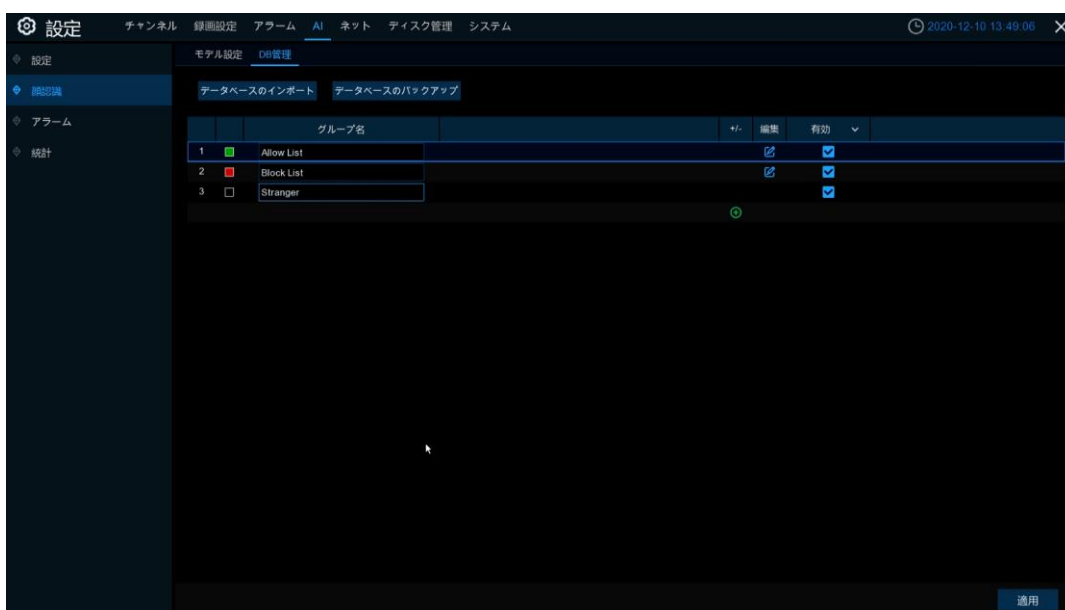
5.4.2.1 <モデル設定>

このメニューでアルゴリズムモデルを選択します。ローカルアルゴリズムモデルと IPC アルゴリズムモデルがあります（一部のデバイスにはローカルアルゴリズムモデルがなく、アルゴリズムモデルを使用した IPC が必要です）。



5.4.2.2 <データベース管理>

ここでは、顔認証比較用データベースを設定します

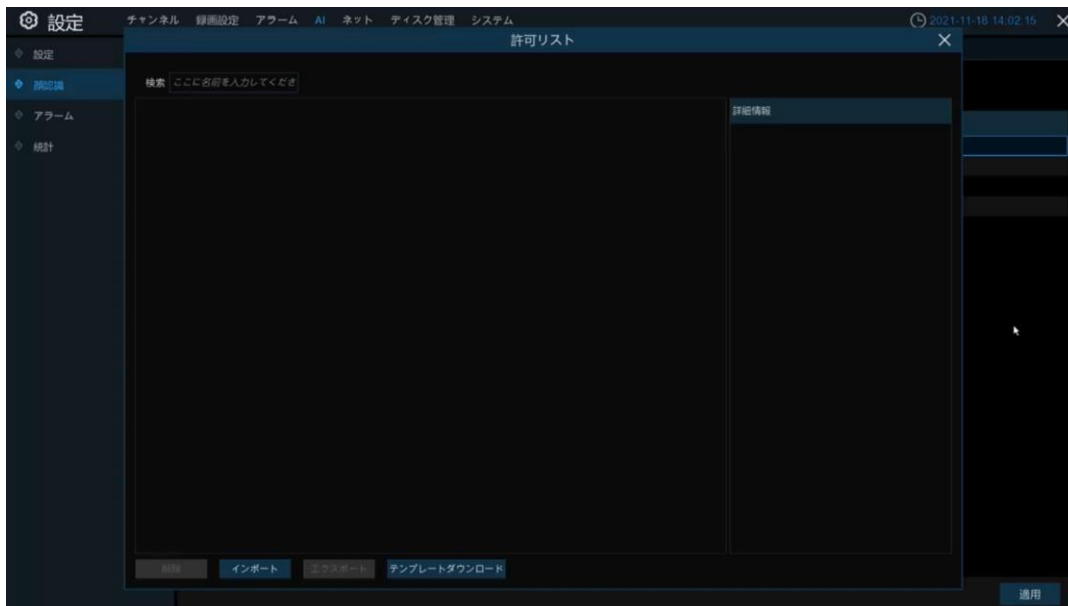


データベースのインポート: エクスポートされたグループデータをデバイスにインポートできます。
データベースのバックアップ: すべてのグループを USB ディスクにエクスポートできます。

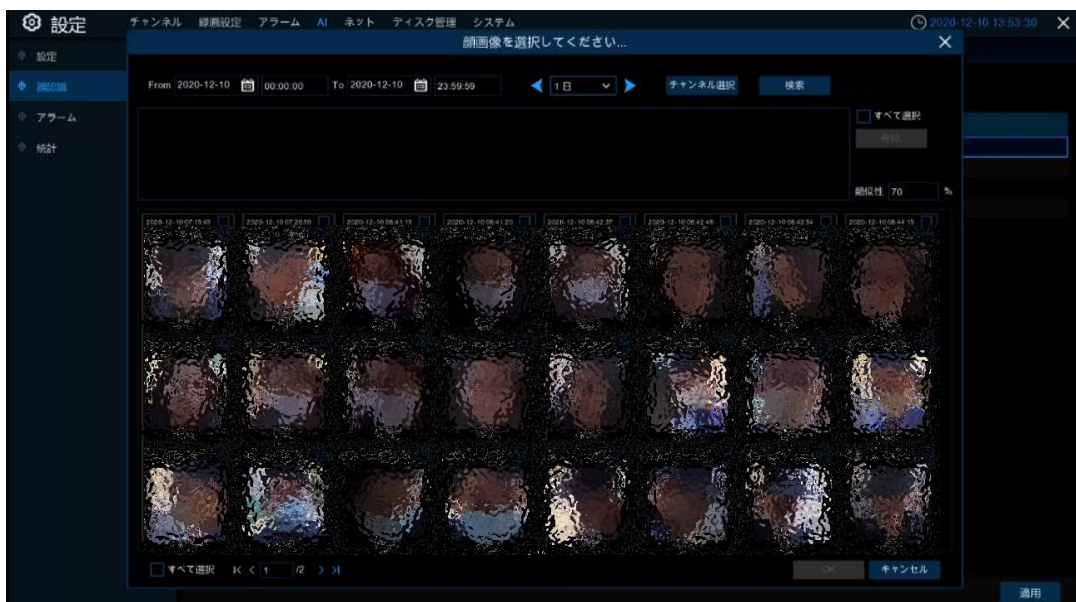
/ - : 新しい顔グループを追加したり、既存の顔グループを削除したりできます。

有効: 顔グループをオン/オフにします。

編集: をクリックして、顔グループの編集インターフェースに入ります。

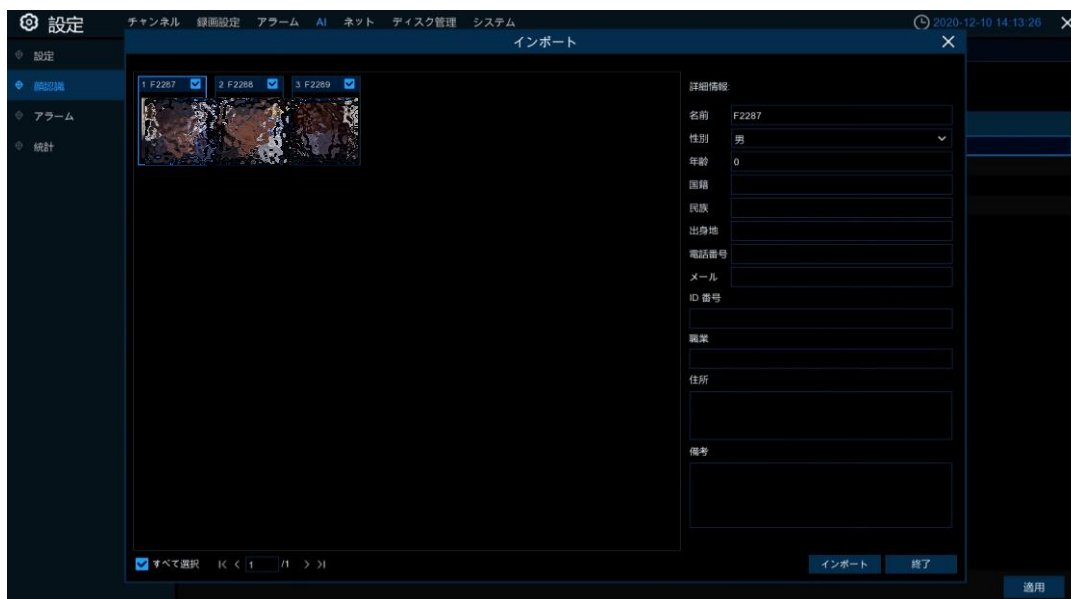


インポート: クリックしてローカルストレージを選択し、インターフェースに入りローカルフェイスを追加します

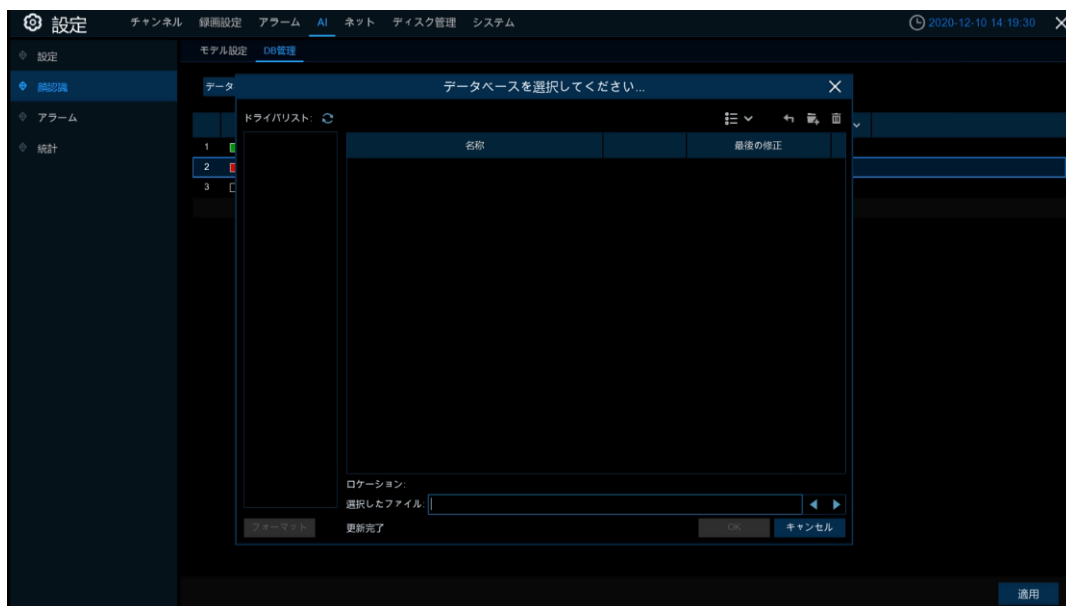


日付、期間、チャンネルを選択し、[検索]をクリックして、該当の期間にデバイスによって保存されたすべての顔を検索します。顔を選択して類似性を設定し、[検索]をクリックすると、選択した顔の類似性に一致する顔が検索されます。検索領域で顔を選択し、[削除]をクリックして検索領域の顔を削除します。

顔を選択し、**OK** をクリックして顔をグループに追加します。



顔情報は右の詳細情報で編集できます。編集後、**インポート** をクリックしてインポートを完了し、[終了]をクリックしてインターフェースを終了します。



データベースのインポート をクリックし、ファイルを選択し、インポートする顔を選びます。
手順はローカルフェイスをインポートするのと同じです。

5.4.3 アラーム

AI を利用したアラーム機能の詳細設定を行います。

◎AI アラームは、
設定 → AI → アラーム から設定できます。

5.4.3.1 <顔認識>

顔グループ内の顔が検出されると、一連のアラーム機能が実行されます。


※顔認識機能を搭載したカメラが設定の対象になります。

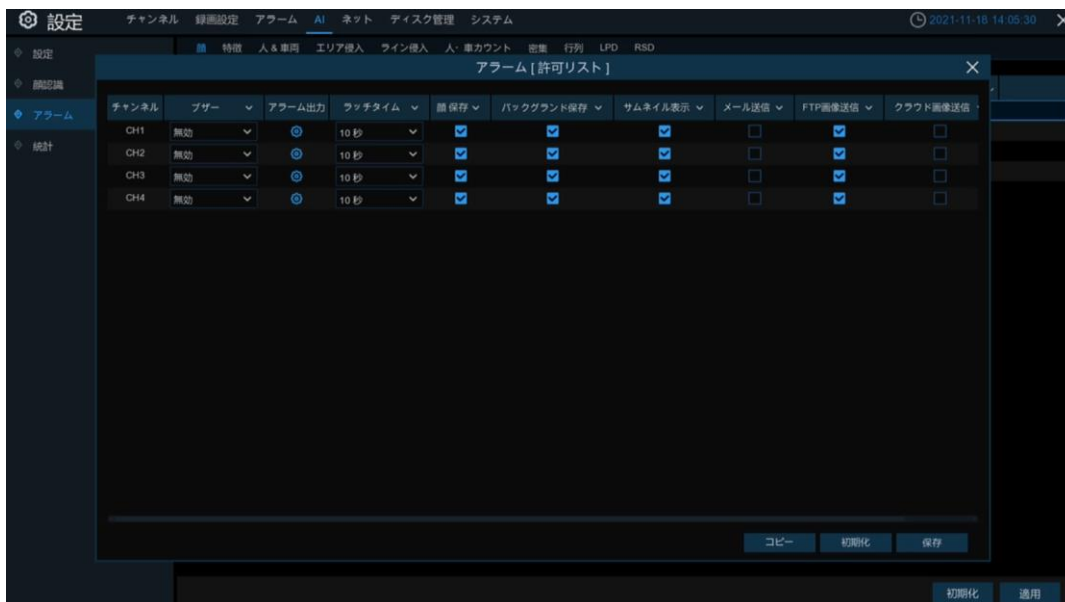


アラーム有効: 顔検知アラームをオン/オフにします

登録種別: 顔グループのアラーム設定状況

類似性: 類似性設定

アラーム:  をクリックして、設定インターフェースに入ります



アラーム出力: 顔認識が検知された場合に、外部の警報機器を作動させることができます。

許可リストに登録された顔を認識した場合、電気錠と連動させ解錠させることができ、また、ブロックリストに登録された顔を認識した場合、回転灯などを作動させることができます。

ラッチタイム: 顔が検知されたときのアラーム時間を設定します。

顔保存: 顔が検知されると、顔が保存されます。

バックグラウンド保存: 顔が検知されると、プレビュー画像全体が保存されます


サムネイル表示: 顔が検知されると、プレビューにサムネイルポップアッププロンプトが表示されます。

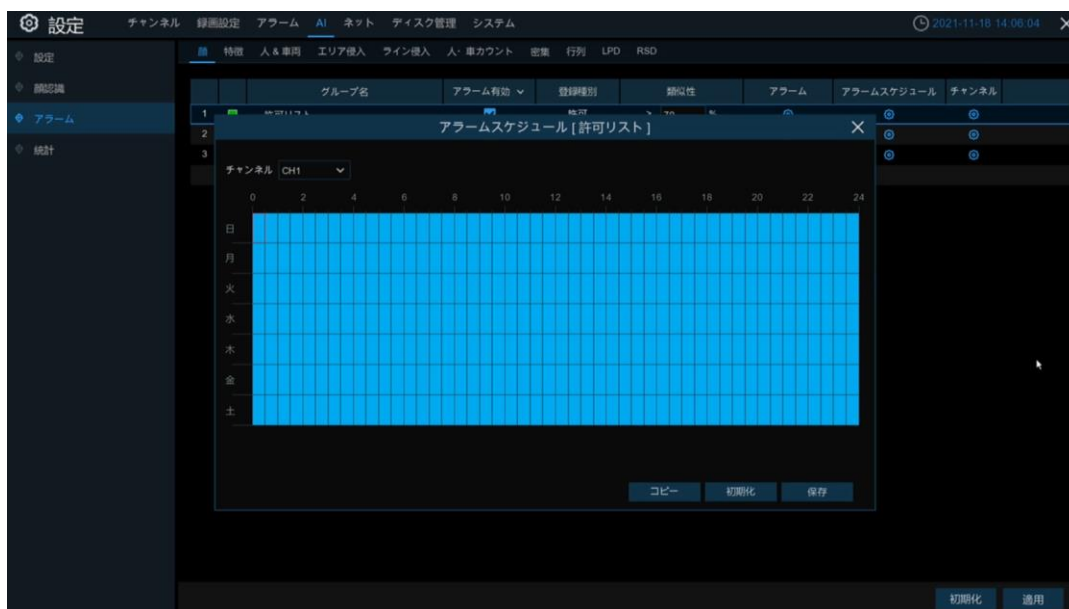
メール送信: 顔を検知すると、設定したメールに画像が送信されます。

FTP 画像送信: 顔が検知されると、画像は設定された FTP サーバー [5.5.4 FTP](#) に送信されます。

クラウド画像送信: 顔が検知されると、画像は設定されたクラウドストレージサーバー [5.6.2 クラウド](#) に送信されます。

音声警告: 検知時に、音声警告を出力する設定ができます。詳しい設定方法は、[5.3.9 音声警告](#)をご参照ください。

アラームスケジュール:  をクリックしてスケジュール設定のインターフェースに入ります



アラームを実行したい時間帯を選択して水色に表示し、**保存** をクリックして終了します。**コピー** は他のチャンネルにコピーできます

5.4.3.2 特徴検知＜マスク有無アラーム＞

マスク有無のアラーム設定ができます。



チャンネル

チャンネル名を表示します。

アラームタイプ

無効もしくは、マスク無し、マスク有りを選択します。

ブザー

マスク有無が検知された場合、アラーム音(本体内蔵)を出力することができます。アラーム音の持続時間を秒単位で設定できます。


アラーム出力

マスク有無が検知された場合に、外部の警報機器を作動させることができます。

ラッチタイム

アラーム出力の作動時間を設定します。

録画

 アイコンをクリックし、マスク有無を検知したときに録画したいチャンネルを選択します。

録画継続時間

マスク有無検知時の録画継続時間を設定します。推奨録画時間は 30 秒ですが、最大 5 分まで設定できます。

メッセージ表示

マスク有無検知時に、ライブ画面に「S」の文字が表示されます。

メール送信

マスク有無検知時に、登録したメールアカウントにメールが送信されます。

全画面表示

この機能が有効になっていて、マスク有無が検知された場合、そのチャンネルが全画面表示で表示されます。

音声警告: マスク有無検知時に、音声警告を出力する設定ができます。詳しい設定方法は、[5.3.9 音声警告](#)をご参照ください。

5.4.3.3 <人&車両検知>




チャンネル: チャンネル名

ブザー: 内部ブザーを使用してアラーム音を鳴らすことができます。人&車両が検知されたときのブザーの持続時間を10秒単位で設定できます。

アラーム出力: 人&車両が検知された場合、外部の警報機器を作動させることができます。

ラッチタイム: 人&車両が検知されたときの外部アラーム時間を設定します。

録画:  をクリックして、人と車両が検知されたときに録画するチャンネルを選択します。



録画継続時間: 検知してから録画を継続する時間を設定できます。推奨される録画時間は 30 秒ですが、最大 5 分まで設定できます。

メッセージ表示: チェックボックスをオンにすると、人が検知されたときにライブビュー画面に「S」アイコンが表示されます。

メール送信: 人 & 車両が検知されたときに、自動でメールを送信させることができます。

FTP 画像送信: 人 & 車両が検知されたときにアラーム画像を FTP サーバーに送信します。FTP を有効にするには、[5.5.4 FTP](#) を参照してください。

クラウド画像送信: 人 & 車両が検知されたときにアラーム画像をクラウドサーバーに送信します。クラウドを有効にするには、[5.6.2 クラウド](#) をご覧ください。

全画面表示: この機能が有効になっていて、人 & 車両が検知された場合、そのチャンネルが全画面表示で表示されます。

音声警告: 人 & 車両検知時に、音声警告を出力する設定ができます。詳しい設定方法は、[5.3.9 音声警告](#) をご参照ください。

5.4.3.4 <エリア侵入検知>

事前に設定した仮想エリアに出入りする<人・車両>を検知した際に、設定した特定のアクションを実行することができます。

画	特徴	人 & 車両	エリア侵入	ライン侵入	人・車カウント	密集	行列	LPD	RSD
チャンネル	ブザー	アラーム出力	ラッチタイム	録画	録画継続時間	メッセージ表示	メール送信	FTP画像送信	FTP動画
CH1	オフ		10 秒	 オン	30 秒	<input checked="" type="checkbox"/>	<input checked="" type="checkbox"/>	<input checked="" type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>
CH2	オフ		10 秒	 オン	30 秒	<input checked="" type="checkbox"/>	<input checked="" type="checkbox"/>	<input checked="" type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>

チャンネル

チャンネル名を表示します。

ブザー

エリア侵入が検知された場合、アラーム音(本体内蔵)を出力することができます。アラーム音の持続時間を秒単位で設定できます。


アラーム出力

エリア侵入が検知された場合、外部の警報機器を作動させることができます。

ラッチタイム

アラーム出力の作動時間を設定します。

録画

 アイコンをクリックし、エリア侵入を検知したときに録画したいチャンネルを選択します。

録画継続時間

エリア侵入検知時の録画継続時間を設定します。推奨録画時間は 30 秒ですが、最大 5 分まで設定できます。

メッセージ表示

エリア侵入検知時に、ライブ画面に「S」の文字が表示されます。

メール送信

エリア侵入検知時に、登録したメールアカウントにメールが送信されます。

FTP 画像送信

エリア侵入検知時に、FTP サーバーに画像をアップロードします。FTP を有効にする方法は、[5.5.4 FTP](#) をご参照ください。

FTP 動画送信

エリア侵入検知時に、FTP サーバーに動画をアップロードします。FTP を有効にする方法は、[5.5.4 FTP](#) をご参照ください。

クラウド画像送信

エリア侵入検知時に、クラウドサーバーに画像をアップロードします。クラウドを有効にする方法は、[5.6.2 クラウド](#) をご参照ください。

クラウド動画送信

エリア侵入検知時に、クラウドサーバーに動画をアップロードします。クラウドを有効にする方法は、[5.6.2 クラウド](#) をご参照ください。

全画面表示

エリア侵入検知時に、検知したチャンネルがフルスクリーンで表示されます。

音声警告

エリア侵入検知時に、音声警告を出力する設定ができます。詳しい設定方法は、[5.3.9 音声警告](#) をご参照ください。

5.4.3.5 <ライン侵入検知>

事前に設定した仮想ラインを横切る<人・車両>を検知した際に、設定した特定のアクションを実行することができます。

画面	特徴	人・車両	エリア侵入	ライン侵入	人・車カウント	密集	行列	LPD	RSD
チャンネル	ブザー	アラーム出力	ラッチタイム	録画	録画継続時間	メッセージ表示	メール送信	FTP画像送信	FTP動画
CH1	オフ	ⓘ	10 秒	ⓘ オン	30 秒	<input checked="" type="checkbox"/>	<input checked="" type="checkbox"/>	<input checked="" type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>
CH2	オフ	ⓘ	10 秒	ⓘ オン	30 秒	<input checked="" type="checkbox"/>	<input checked="" type="checkbox"/>	<input checked="" type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>

チャンネル

チャンネル名を表示します。

ブザー

ライン侵入が検知された場合、アラーム音(本体内蔵)を出力することができます。アラーム音の持続時間を秒単位で設定できます。

アラーム出力

ライン侵入が検知された場合、外部の警報機器を作動させることができます。

ラッチタイム

アラーム出力の作動時間を設定します。

録画

ⓘ アイコンをクリックし、ライン侵入を検知したときに録画したいチャンネルを選択します。

録画継続時間

ライン侵入検知時の録画継続時間を設定します。推奨録画時間は 30 秒ですが、最大 5 分まで設定できます。

メッセージ表示

ライン侵入検知時に、ライブ画面に「S」の文字が表示されます。

メール送信

ライン侵入検知時に、登録したメールアカウントにメールが送信されます。

FTP 画像送信

ライン侵入検知時に、FTP サーバーに画像をアップロードします。FTP を有効にする方法は、[5.5.4 FTP](#) をご参照ください。

FTP 動画送信

ライン侵入検知時に、FTP サーバーに動画をアップロードします。FTP を有効にする方法は、[5.5.4 FTP](#) をご参照ください。

クラウド画像送信

ライン侵入検知時に、クラウドサーバーに画像をアップロードします。クラウドを有効にする方法は、[5.6.2 クラウド](#) をご参照ください。

クラウド動画送信

ライン侵入検知時に、クラウドサーバーに動画をアップロードします。クラウドを有効にする方法は、[5.6.2 クラウド](#)をご参照ください。

全画面表示

ライン侵入検知時に、検知したチャンネルがフルスクリーンで表示されます。

音声警告

ライン侵入検知時に、音声警告を出力する設定ができます。詳しい設定方法は、[5.3.9 音声警告](#)をご参照ください。

5.4.3.6 <人・車カウント>

仮想ラインを人や車両が横切って移動した回数を検知した際に、設定した特定のアクションを実行することができます。



チャンネル

チャンネル名を表示します。

ブザー

人・車カウントが検知された場合、アラーム音(本体内蔵)を出力することができます。アラーム音の持続時間を秒単位で設定できます。

アラーム出力

人・車カウントが検知された場合、外部の警報機器を作動させることができます。

ラッチタイム

アラーム出力の作動時間を設定します。

録画

⚙️アイコンをクリックし、人・車カウントを検知したときに録画したいチャンネルを選択します。

録画継続時間

人・車カウント検知時の録画継続時間を設定します。推奨録画時間は 30 秒ですが、最大 5 分まで設定できます。

メッセージ表示

人・車カウント検知時に、ライブ画面に「S」の文字が表示されます。

メール送信

人・車カウント検知時に、登録したメールアカウントにメールが送信されます。

FTP 画像送信

人・車カウント検知時に、FTP サーバーに画像をアップロードします。FTP を有効にする方法は、[5.5.4 FTP](#)をご参照ください。

FTP 動画送信

人・車カウント検知時に、FTP サーバーに動画をアップロードします。FTP を有効にする方法は、[5.5.4 FTP](#)をご参照ください。

クラウド画像送信

人・車カウント検知時に、クラウドサーバーに画像をアップロードします。クラウドを有効にする方法は、[5.6.2 クラウド](#)をご参照ください。

クラウド動画送信

人・車カウント検知時に、クラウドサーバーに動画をアップロードします。クラウドを有効にする方法は、[5.6.2 クラウド](#)をご参照ください。

全画面表示

人・車カウント検知時に、検知したチャンネルがフルスクリーンで表示されます。

音声警告

人・車カウント検知時に、音声警告を出力する設定ができます。詳しい設定方法は、[5.3.9 音声警告](#)をご参照ください。

5.4.3.7 <密集検知>

事前に設定した仮想エリア内で設定した人数以上を検知した際に、設定した特定のアクションを実行することができます。

※ 密集検知の機能を搭載したカメラが設定の対象となります。

チャンネル	ブザー	アラーム出力	ラッチタイム	録画	録画継続時間	メッセージ表示	メール送信	FTP画像送信	FTP動画
CH1	オフ		10 秒	オン	30 秒	<input checked="" type="checkbox"/>	<input checked="" type="checkbox"/>	<input checked="" type="checkbox"/>	<input checked="" type="checkbox"/>
CH2	オフ		10 秒	オン	30 秒	<input checked="" type="checkbox"/>	<input checked="" type="checkbox"/>	<input checked="" type="checkbox"/>	<input checked="" type="checkbox"/>

チャンネル

チャンネル名を表示します。

ブザー

密集が検知された場合、アラーム音(本体内蔵)を出力することができます。アラーム音の持続時間を秒単位で設定できます。

アラーム出力

密集が検知された場合、外部の警報機器を作動させることができます。

ラッチタイム

アラーム出力の作動時間を設定します。

録画

アイコンをクリックし、密集を検知したときに録画したいチャンネルを選択します。

録画継続時間

密集検知時の録画継続時間を設定します。推奨録画時間は 30 秒ですが、最大 5 分まで設定できます。

メッセージ表示

密集検知時に、ライブ画面に「S」の文字が表示されます。

メール送信

密集検知時に、登録したメールアカウントにメールが送信されます。

FTP 画像送信

密集検知時に、FTP サーバーに画像をアップロードします。FTP を有効にする方法は、[5.5.4 FTP](#)をご参照ください。

FTP 動画送信

密集検知時に、FTP サーバーに動画をアップロードします。FTP を有効にする方法は、[5.5.4 FTP](#)をご参照ください。

クラウド画像送信

密集検知時に、クラウドサーバーに画像をアップロードします。クラウドを有効にする方法は、[5.6.2 クラウド](#)をご参照ください。

クラウド動画送信

密集検知時に、クラウドサーバーに動画をアップロードします。クラウドを有効にする方法は、[5.6.2 クラウド](#)をご参照ください。

全画面表示

密集検知時に、検知したチャンネルがフルスクリーンで表示されます。

音声警告

密集検知時に、音声警告を出力する設定ができます。詳しい設定方法は、[5.3.9 音声警告](#)をご参照ください。

5.4.3.8 <行列検知>

事前に設定した仮想エリア内で設定した人数と滞留時間以上を検知した際に、設定した特定のアクションを実行することができます。

※ 行列検知の機能を搭載したカメラが設定の対象となります。



チャンネル

チャンネル名を表示します。

ブザー

行列が検知された場合、アラーム音(本体内蔵)を出力することができます。アラーム音の持続時間を秒単位で設定できます。

アラーム出力

行列が検知された場合、外部の警報機器を作動させることができます。

ラッチタイム

アラーム出力の作動時間を設定します。

録画

⚙️アイコンをクリックし、行列を検知したときに録画したいチャンネルを選択します。

録画継続時間

行列検知時の録画継続時間を設定します。推奨録画時間は 30 秒ですが、最大 5 分まで設定できます。

メッセージ表示

行列検知時に、ライブ画面に「S」の文字が表示されます。

メール送信

行列検知時に、登録したメールアカウントにメールが送信されます。

FTP 画像送信

行列検知時に、FTP サーバーに画像をアップロードします。FTP を有効にする方法は、[5.5.4 FTP](#) をご参照ください。

FTP 動画送信

行列検知時に、FTP サーバーに動画をアップロードします。FTP を有効にする方法は、[5.5.4 FTP](#) をご参照ください。

クラウド画像送信

行列検知時に、クラウドサーバーに画像をアップロードします。クラウドを有効にする方法は、[5.6.2 クラウド](#) をご参照ください。

クラウド動画送信

行列検知時に、クラウドサーバーに動画をアップロードします。クラウドを有効にする方法は、[5.6.2 クラウド](#) をご参照ください。

全画面表示

行列検知時に、検知したチャンネルがフルスクリーンで表示されます。

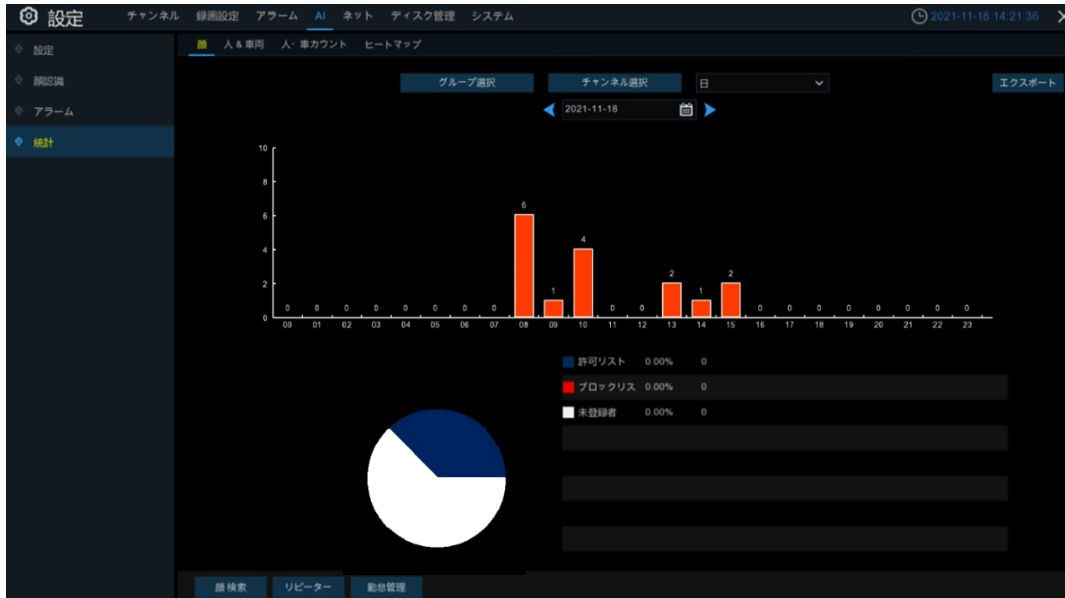
音声警告

行列検知時に、音声警告を出力する設定ができます。詳しい設定方法は、[5.3.9 音声警告](#) をご参照ください。

5.4.4 統計

5.4.4.1 <顔認識>

統計→顔認識では、一定期間に検出されたすべての顔をカウントし、統計グラフ形式で表示できます。



グループ、チャンネル、期間、統計日を選択すると、統計結果が表示されます。

「**エクスポート**」をクリックして、データをUSBにインポートします

5.4.4.2 <人&車両検索>

統計→人&車両検知では、一定期間に検出されたすべての人&車両をカウントして、統計グラフに反映させることができます。



インテリジェントでタイプ、チャンネル、期間、統計日を選択すると、統計結果が表示されます。

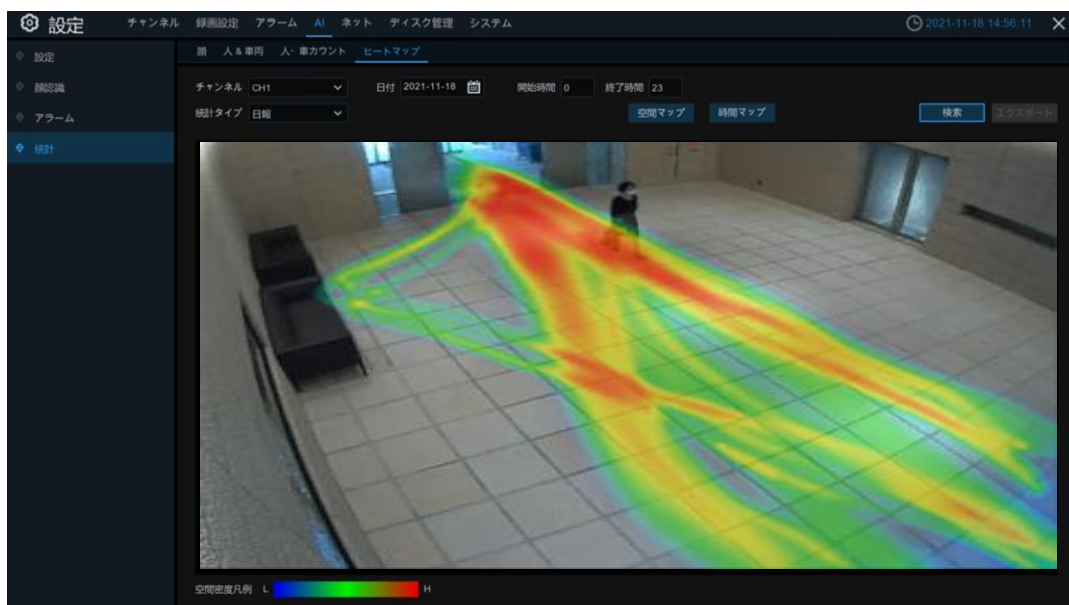
5.4.4.3 <人・車カウント統計>



統計結果は、選択したカウントタイプ、検知タイプについて、年/月/週/日で照会できます。
棒グラフ、折れ線グラフ表示を切替えます。

5.4.4.4 <ヒートマップ統計>

カメラ映像内の人・車両の動きが多いエリアや時間帯を、年/月/週/日で照会できます。



空間マップの表示が赤いほど動きが多くなります。

5.5 ネットワーク設定

このメニューでは、DHCP、内部インターフェース、ポートなどのネットワークの詳細設定を行います。

5.5.1 基本設定

ルーターに接続し、DHCP の使用が可能な場合は、DHCP にチェックを入れてください。
手動で IP アドレスが指定されていない場合は、ルーターからレコーダーに自動的にネットワークパラメータが割り当てられます。

◎ネットワーク基本設定は、
[設定](#)→[ネット](#)→[基本設定](#)から設定できます。

5.5.1.1 <基本設定>

The screenshot shows the 'Basic Settings' (基本設定) page for the network configuration. The left sidebar contains a menu with '基本設定' (Basic Settings) selected. The main area is divided into two sections: 'WAN' and '内部インタフェース' (Internal Interface). The 'WAN' section has fields for DHCP (checked), IP Address (192.168.0.1), Subnet Mask (255.255.255.0), Gateway (192.168.0.1), IPv6 Address (fe80::213:03ff:fe00:0047), and IPv6 Gateway (fe80::004). The '内部インタフェース' section has fields for POE DHCP Server (checked), IP Address (010.010.025.100), and Subnet Mask (255.255.000.000). Below these are fields for DNS1 (192.168.0.1) and DNS2 (208.008.008.008). At the bottom, there is a checkbox for 'WEB互換モード' (checked) and a button for 'チャンネル選択' (Channel Selection).

IP アドレス

ネットワーク内のレコーダーを識別するためのものです。ピリオドで区切られた 0 から 255 までの 4 つのグループの数字で構成されています。例:「192.168.001.100」

サブネットマスク

ネットワークで使用できる IP アドレスの範囲を定義するパラメータです。サブネットアドレスも、ピリオドで区切られた 4 つのグループの数字で構成されています。例:「255.255.255.000」

ゲートウェイ

レコーダーがインターネットにアクセスするためのものです。ゲートウェイのアドレス形式は IP アドレスと同じです。例:「192.168.001.001」

DNS1/DNS2

DNS1 はプライマリサーバーで、DNS2 はバックアップ用サーバーです。

内部インターフェース

カメラ専用の LAN インターフェースを使用する場合に設定します。

WEB 互換モード

チェックを入れると、IE 以外のブラウザ (Chrome、Edge) でも接続できるようになります。

ビデオ暗号化

暗号化したいチャンネルを選択します。

5.5.1.2 <PPPoE>

レコーダーが外部のインターネットに PPPoE 接続する場合に設定します。

The screenshot shows a web-based configuration interface for a device. The top navigation bar includes '設定' (Settings), 'チャンネル' (Channels), '録画設定' (Recording Settings), 'アプロード' (Upload), 'AI', 'ネット' (Network), 'ディスク管理' (Disk Management), and 'システム' (System). The 'ネット' (Network) tab is selected. On the left, a sidebar lists various settings categories: '基本設定' (Basic Settings), 'DDNS', 'メール' (Email), 'FTP', 'IPフィルター' (IP Filter), '音声アシスタント' (Voice Assistant), and 'プラットフォーム' (Platform). The '基本設定' (Basic Settings) category is expanded, showing sub-tabs: '基本設定', 'PPPOE', 'SNMP', 'ワイヤレス', and 'ポート設定'. The 'PPPOE' sub-tab is active. The main content area contains the following fields:

- 'PPPOE起動' (PPPoE Start) with an unchecked checkbox.
- 'ユーザー名' (Username) with an empty text input field.
- 'パスワード' (Password) with an empty text input field.
- 'IPアドレス' (IP Address) with an empty text input field.
- 'サブネットマスク' (Subnet Mask) with an empty text input field.
- 'ゲートウェイ' (Gateway) with an empty text input field.
- 'DNS1' with an empty text input field.
- 'DNS2' with a pre-filled value of '198.198.198.198'.

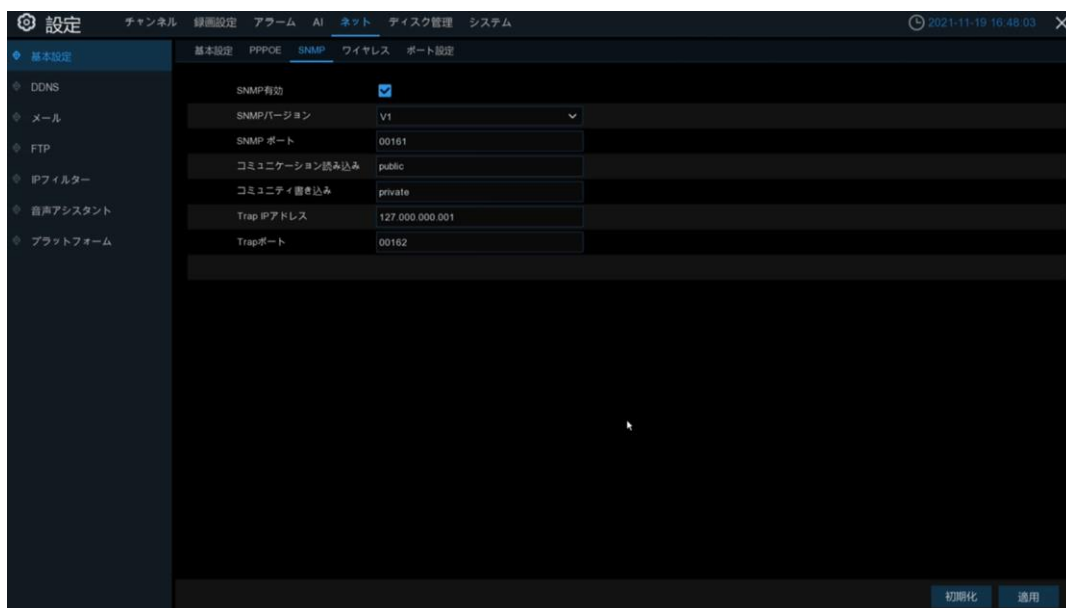
At the bottom right, there are two buttons: '初期化' (Initialize) and '適用' (Apply).

[[PPPoE 起動](#)]にチェックを入れ、PPPoE のユーザー名とパスワードを入力します。

適用 をクリックして保存すると、システムは再起動します。

5.5.1.3 <SNMP>

SNMP マネージャを利用した本機器の制御・管理プロトコルに対応しています。



SNMP 有効

SNMP の有効・無効を設定します。

SNMP バージョン

使用する SNMP のバージョンを選択します。

コミュニケーションの読み込み・書き込み

SNMP コミュニケーションの読み込みと書き込みを設定します。

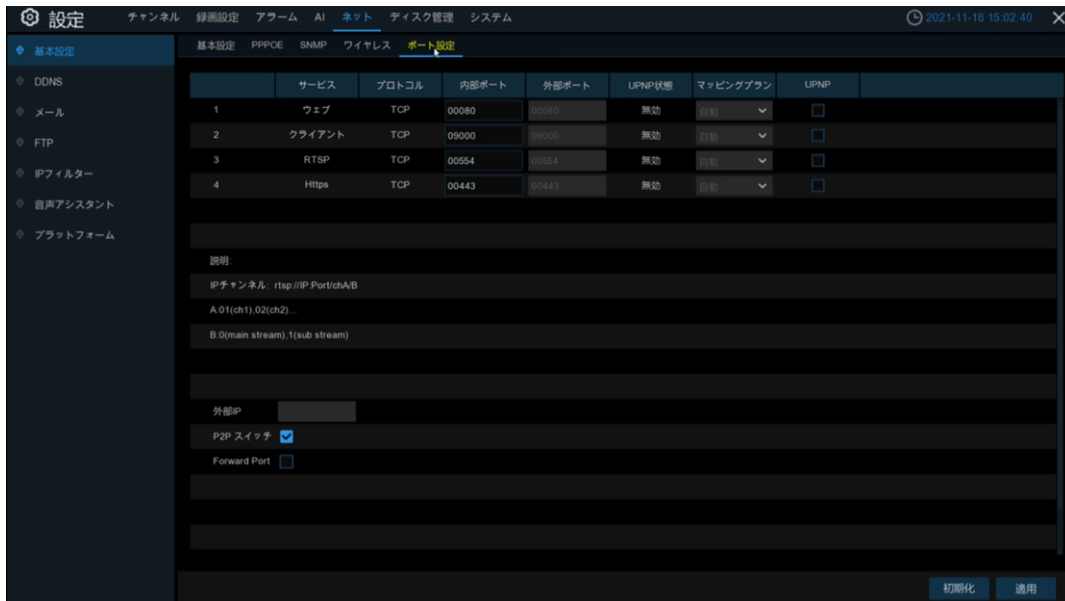
Trap IP アドレス

SNMP トラップを送信する際の IP アドレスを設定します。

Trap ポート

SNMP トラップを送信する際のポートを設定します。

5.5.1.4 <ポート設定>



ウェブポート

リモートからレコーダーにログインするために使用するポートです。(Web クライアントを使用するなど)
デフォルトポート(80 番)がすでに他のアプリケーションによって使用されている場合は、変更してください。

クライアントポート

レコーダーの情報送信(映像や制御など)に使用するためのポートです。デフォルトポート(9000 番)がすでに他のアプリケーションによって使用されている場合は、変更してください。

RTSP ポート

RTSP を搭載しているカメラであれば接続が可能です。デフォルトは 554 番です。デフォルトポート(554 番)がすでに他のアプリケーションによって使用されている場合は、変更してください。

HTTPS ポート

ブラウザ(HTTPS)でのアクセスを行う場合に使用するポートです。

UPNP

Web クライアントを使用しレコーダーにリモートログインする場合は、UPNP(ポートフォワーディング)を設定してください。ルーターで UPNP をサポートしている場合は、レコーダーとルーターの両方で UPNP を有効にしてください。この機能を使用する場合は、手動でのポートフォワーディングの設定は必要ありません。ルーターが UPNP をサポートしていない場合は、ポートフォワーディングを手動で設定してください。

P2P スイッチ

P2P の ON/OFF スイッチ。デフォルトは ON です。リモートからの P2P 接続を使用しない場合は、スイッチを OFF にして下さい。

TOE

TOE の ON/OFF スイッチ。デフォルトは ON です。

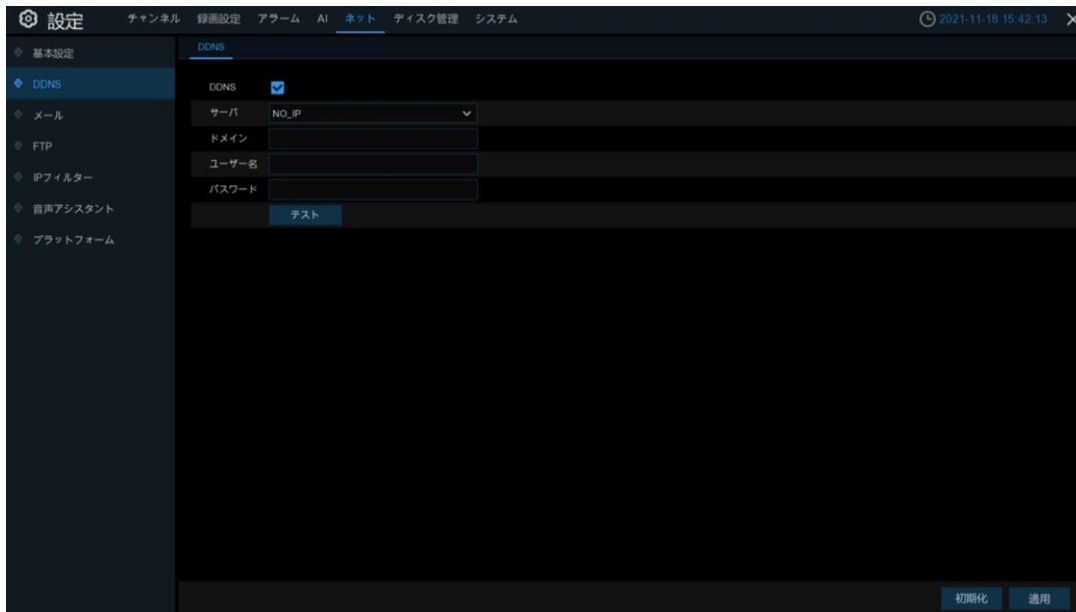
5.5.2 DDNS

このメニューでは DDNS の設定を行うことができます。

DDNS を使用する場合、別途外部の DDNS サービスプロバイダーへのアカウント登録が必要になります。詳しい登録方法については、直接サービスプロバイダーのホームページをご参照ください。

◎DDNS 設定は、

設定 ➡ ネット ➡ DDNS から設定できます。



DDNS

DDNS にチェックを入れて、有効にします。

サーバ

DDNS サーバー (DDNS_3322、DYNDNS、NO_IP、CHANGEIP、DNSEXIT) を選択してください。

ドメインネーム

DDNS サービスプロバイダーのホームページで作成したドメイン名を入力してください。

ユーザー名/パスワード

DDNS サービスプロバイダーのホームページで取得したユーザー名とパスワードを入力します。

すべてのパラメータを入力し、**テスト** をクリックして DDNS 設定をテストします。テスト結果が「ネットワークにアクセスできない、または DNS が正しくない」の場合は、ネットワークが正常に機能しているか、または DDNS 情報が正しいかどうかをご確認ください。

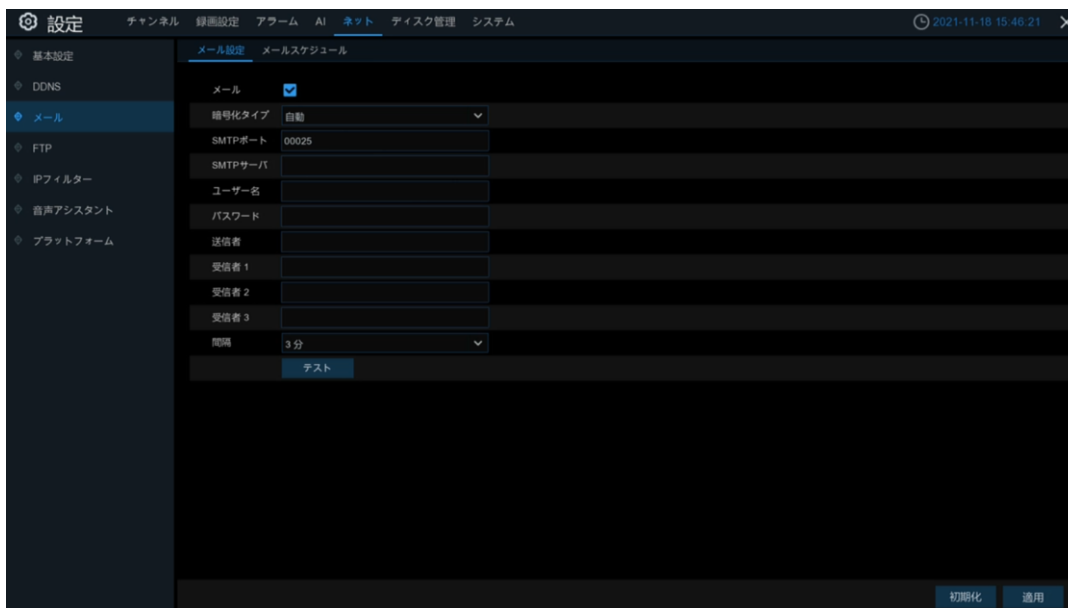
5.5.3 メール

このメニューではメールの設定を行います。

アラーム発生を知らせるためのメールの送受信を設定します。

◎メール設定は、

設定 ➡ ネット ➡ メール から設定できます。



5.5.3.1 <メール設定>



メール

メール機能を使用する場合は、チェックを入れて有効にします。

暗号化タイプ

SSL または TLS が必要な場合は有効にします。自動設定を行う場合は、自動に設定してください。

SMTP ポート

SMTP ポートを入力してください。

SMTP サーバー

SMTP サーバーアドレスを入力してください。

ユーザー名

アカウントを入力してください。

パスワード

パスワードを入力してください。

メール送信者

任意の送信者名を設定して下さい。

受信者アドレス 1～3

イベント通知を受信するメールアドレスを入力してください。

間隔

メールの送信間隔を設定します。

テストメールの送信を行う場合、設定後、**テスト** をクリックしてください。

システムから受信者宛にテストメールが送信されます。

5.5.3.2 <メールスケジュール>

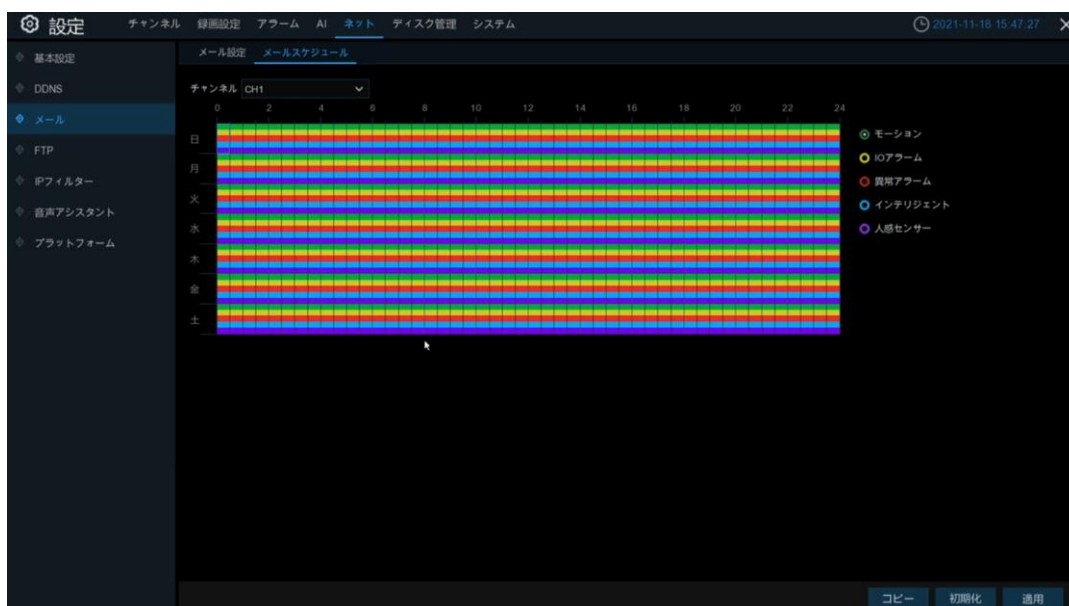
チャンネル別、曜日別、時間帯別、イベント別（モーション、IO アラーム、異常アラーム、インテリジェント、人感センサー）別にスケジュールを設定することができます。

スケジュールを設定するには、まず各イベントの選択ボタン（モーション、IO アラーム、異常アラーム、インテリジェント、人感センサー）を選択し、次にスケジュール上でカーソルをドラッグして設定します。

メール送信スケジュールはチャンネル毎に設定します。

他のチャンネルに同じスケジュールを使用したい場合は、コピー機能をご使用ください。

適用 をクリックして設定を保存します。



5.5.4 FTP

このメニューでは FTP 機能の設定を行います。

アラームの発生時にキャプチャした映像を FTP サーバーにアップロードすることができます。

◎FTP 設定は、

設定 ➡ ネット ➡ FTP から設定できます。



FTP 有効

チェックを入れると、FTP 機能が有効になります。

サーバIP

FTP サーバーの IP アドレスまたはドメイン名を入力してください。

ポート

FTP ポートを入力してください。

ユーザー名/パスワード

FTP サーバーのユーザー名とパスワードを入力してください。

画像解像度

解像度 (1280 × 720 ~ 176 × 120) を選択します。

画像品質

画質 (最高 ~ 最低) を選択します。

ビデオストリームタイプ

メインまたはサブを選択します。

最大パッケージ間隔

間隔 (10 分 ~ 60 分) を選択します。

ディレクトリ名

ディレクトリ名を入力してください。

ノーマル動画送信

動画送信のスイッチ (ON/OFF) を選択します。

アラーム動画送信

<モーション・人感・IO・インテリジェント> のアラーム設定を行います。

FTP テスト

クリックして FTP のテストを行います。

5.5.4.1 <FTP スケジュール>

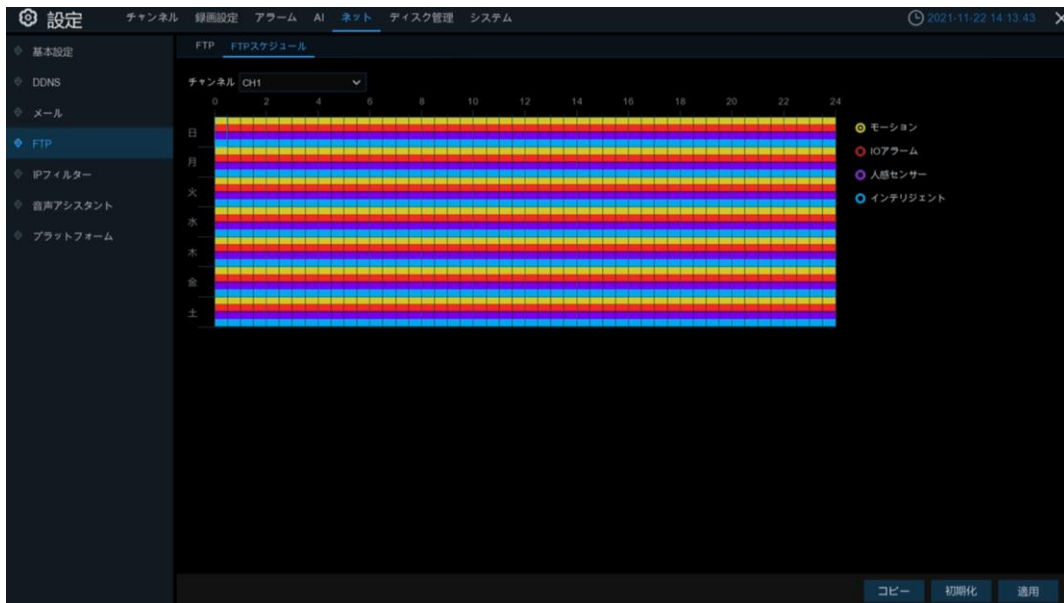
チャンネル別、曜日別、時間帯別、イベント別（モーション、IO アラーム、人感センサー、インテリジェント）別にスケジュールを設定することができます。

スケジュールを設定するには、まず各イベントの選択ボタン（モーション、IO アラーム、人感センサー、インテリジェント、）を選択し、次にスケジュール上でカーソルをドラッグして設定します。

FTP スケジュールはチャンネル毎に設定します。

他のチャンネルに同じスケジュールを使用したい場合は、コピー機能をご使用ください。

適用 をクリックして設定を保存します。



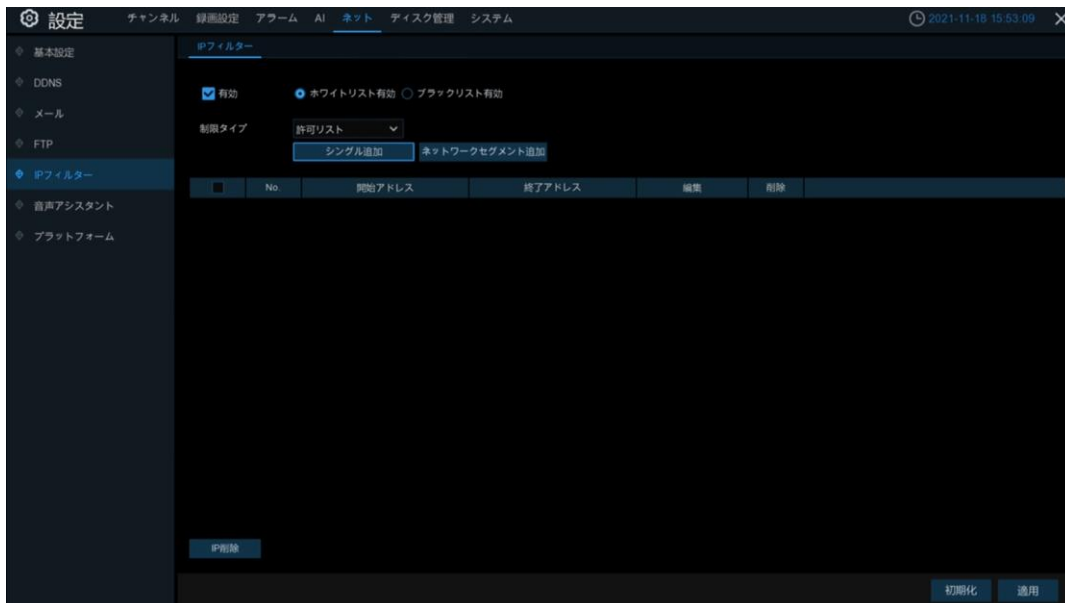
5.5.5 IP フィルター

このメニューでは IP フィルター機能の設定を行います。

レコーダーへのアクセスの権限（ブロックや許可）を IP 別または一定の範囲別に設定することができます。

◎IP フィルター設定は、

設定⇒ネット⇒IP フィルターから設定できます。



有効

チェックを入れると、IP フィルターが有効になります。

ホホワイトリスト有効

ホホワイトリストに設定された個別の IP アドレスまたは IP の範囲(セグメント)が有効になります。

ブラックリスト有効

ブラックリストに設定された個別の IP アドレスまたは IP の範囲(セグメント)が有効になります。

制限タイプ

許可リストまたはブロックリストを選択します。

開始アドレス

一番最初の IP アドレスを設定します。

終了アドレス

一番最後の IP アドレスを設定します。

IP 削除

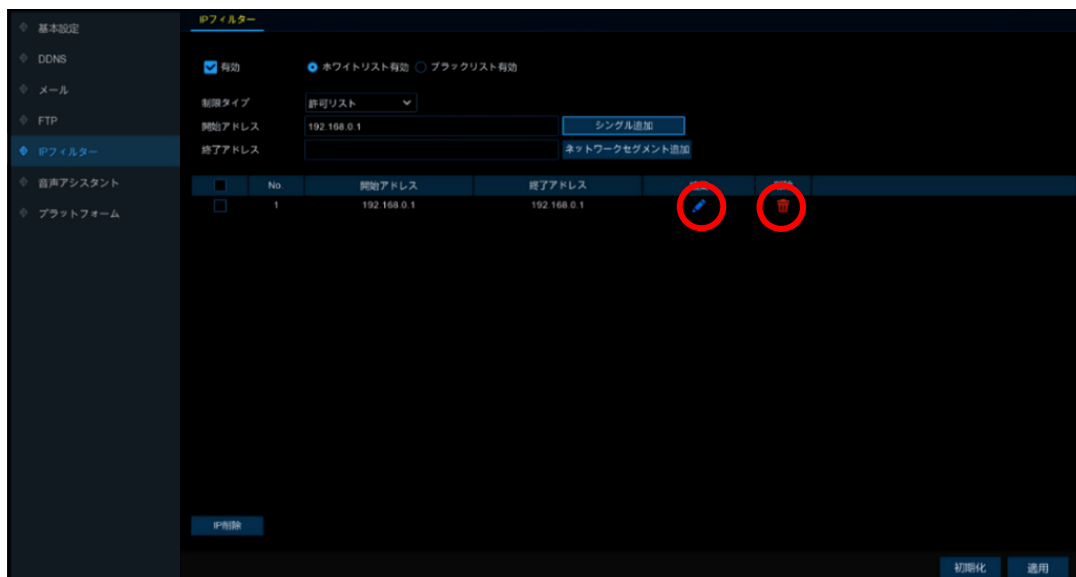
設定した IP アドレスを削除します。

シングル追加

シングル追加 をクリックすると、特定の IP アドレスがリストに追加されます。

ネットワークセグメント追加

ネットワークセグメント追加 をクリックすると、設定した IP アドレスの範囲がリストに追加されます。



編集

開始アドレス

192.168.0.1

終了アドレス

192.168.0.1

OK

キャンセル



編集

開始アドレス

192.168.0.1


終了アドレス

192.168.0.100

OK



キャンセル

編集

をクリックすると開始アドレスと終了アドレスの編集ができます。シングル追加の場合は複数のアドレスを設定することができます。



削除

をクリックすると、「警告！」ダイアログボックスが表示されます。をクリックして、アドレスリストを削除します。

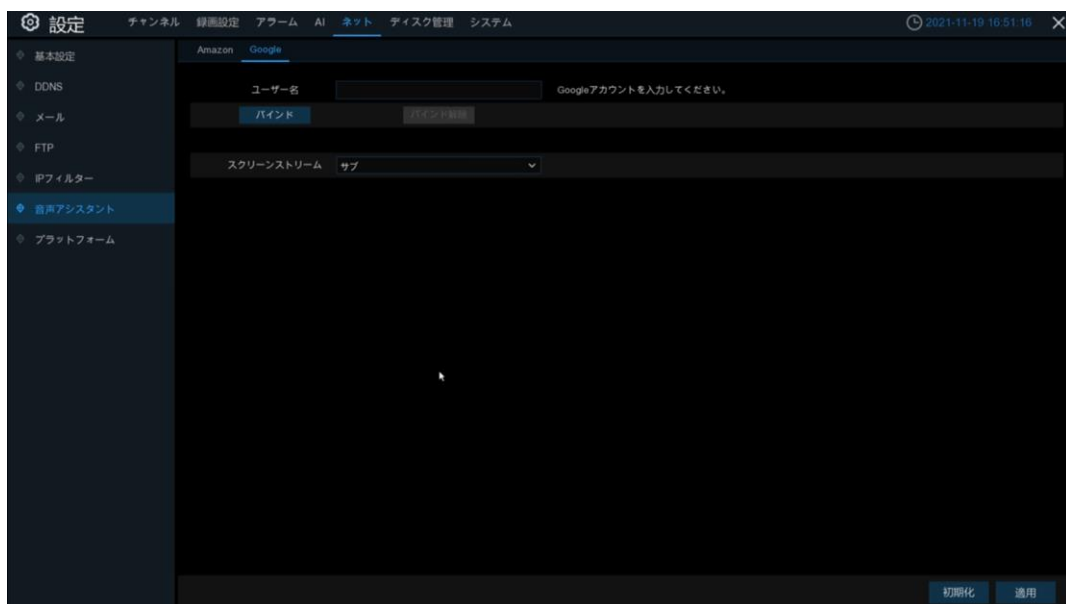
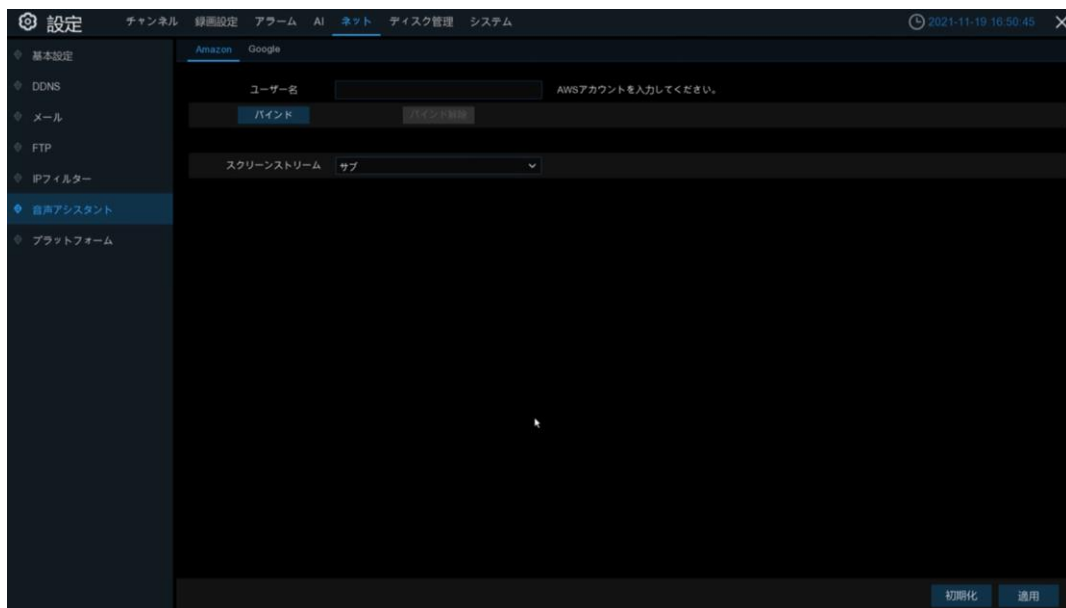
5.5.6 音声アシスタント

このメニューでは使用している Amazon Alexa、Google Home などと連動させることができます。
各アカウントとバインドさせ、Amazon Alexa、Google Home を利用し、カメラ映像をモニターに呼び出します。

◎IP フィルター設定は、

設定→ネット→音声アシスタントから設定できます。

※Amazon Alexa、Google Home のアカウントや設定に関する知識が必要になります。

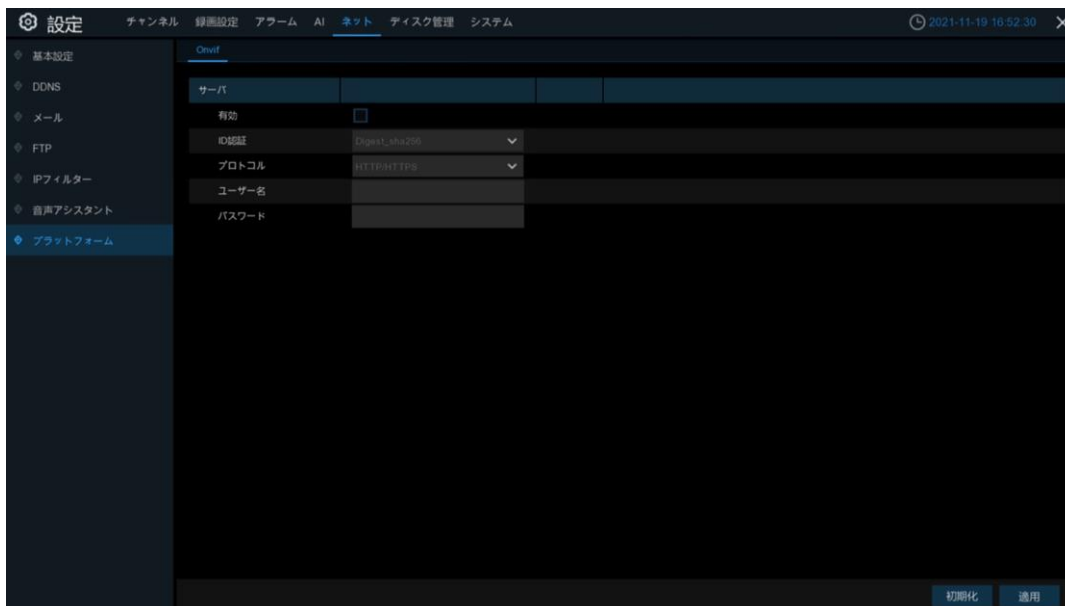


5.5.7 プラットフォーム

このメニューでは接続するカメラの認証モードを選択することができます。
ドロップダウンリストボックスから目的の認証モードを選択します。オプションは次のとおりです。

- **Digest**: MD5 暗号化を使用したダイジェスト認証。
- **Digest_SHA256**: SHA256 暗号化を使用したダイジェスト認証。
- **Digest/ WSSE**: Digest_MD5 と WSSE の両方の認証モードがサポートされていますが、Digest_MD5 認証が推奨されます。
- **WSSE**: Web サービスセキュリティ (WSSE) 認証モードを示します。
- **なし**: 認証が実行されないことを示します。

◎プラットフォーム設定は、
設定⇒ネット⇒プラットフォームから設定できます。
※カメラの認証方式を十分に確認したうえで使用してください。



有効

チェックを入れると、プラットフォームが有効になります。

ID 認証

ドロップダウンリストボックスから目的の認証モードを選択します。オプションは次のとおりです。

- **Digest**: ダイジェスト認証。
- **Digest_SHA256**: SHA256 暗号化を使用したダイジェスト認証。
- **Digest/ WSSE**: Digest と WSSE の両方の認証モードがサポートされていますが、Digest 認証が推奨されます。
- **WSSE**: Web サービスセキュリティ (WSSE) 認証モードを示します。
- **なし**: 認証が実行されないことを示します。

プロトコル

ドロップダウンリストボックスから目的のプロトコルを選択してください。

HTTPS/HTTP、HTTPS、HTTP

ユーザー名とパスワード

ユーザー名とパスワードを入力してください。

5.6 ディスク管理

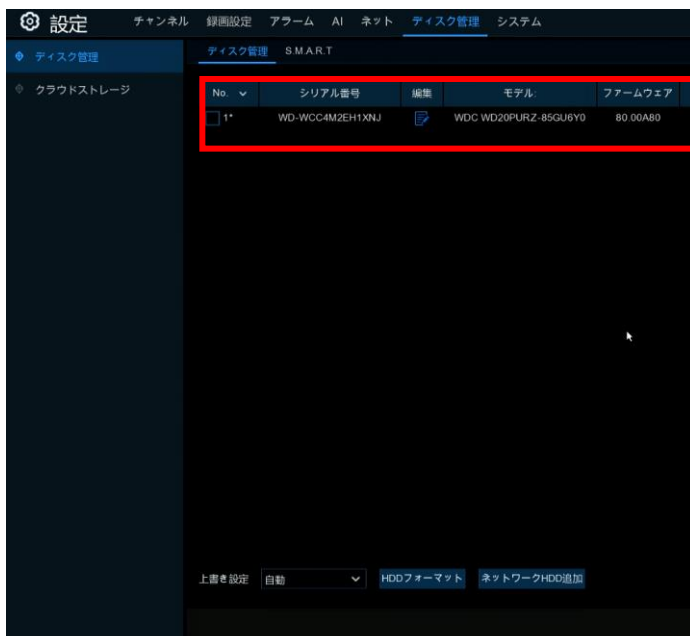
このメニューでは、内蔵 HDD 機能を設定します。

5.6.1 ディスク管理

新しい HDD を設置した場合や交換した場合にのみ HDD をフォーマットします。

5.6.1.1 <ディスク管理>

ディスク管理の設定は、
[設定](#)→[ディスク管理](#)→[ディスク管理](#) から設定できます。



HDD を新しくレコーダーに取り付けた場合は、フォーマットする必要があります。

HDD を選択し、[HDDフォーマット](#)をクリックしてフォーマットを開始します。

※ 設定完了後、必ず [適用](#) をクリックしてください。

上書き設定

自動を選択した場合は、HDD の空き容量が無くなると HDD 上の一番古い録画データから削除し上書きをしていきます。録画日数を選択した場合、7 日間の上書き設定を選択すると、過去 7 日間の録画のみが HDD に保存されます。録画の上書きを停止する場合、オフを選択します。上書き機能を無効にした場合は、HDD の容量に余裕が有ることを確認しながら、定期的に HDD の状態をご確認ください。

編集

レコーダーに複数のハードディスクが搭載されている場合は、[編集](#)  をクリックし編集を行うことができます。



ディスクタイプ

読み書き可能、読み取り専用、冗長。

読み込み/書き込みモード

ハードディスクに録画データの保存と再生を行います。

読み取り専用モード

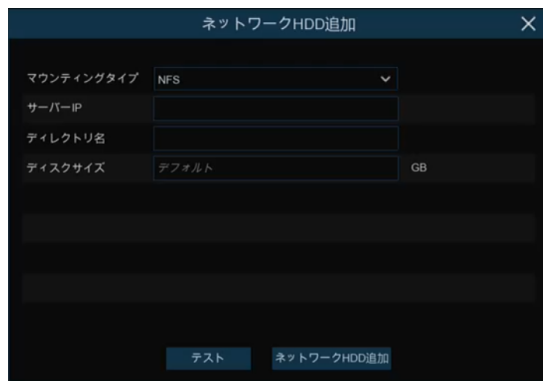
データの書き込みが停止し、重要なデータへの上書きが停止しますが、録画データの再生は可能です。

ディスクグループ

ハードディスクのグループを選択します。

ネットワーク HDD 追加

レコーダーに NAS を設定し録画保存することができます。大容量のストレージや RAID など多彩な機能を持つ NAS と接続することができますが、安定した運用のために NAS 本体の性能に関して十分にご検討ください。



マウンティングタイプ

接続する NAS のプロトコルを選択してください。

※ SMB/CIFS を選択した場合は、ユーザー名とパスワードの入力が必要です。

ディレクトリ名

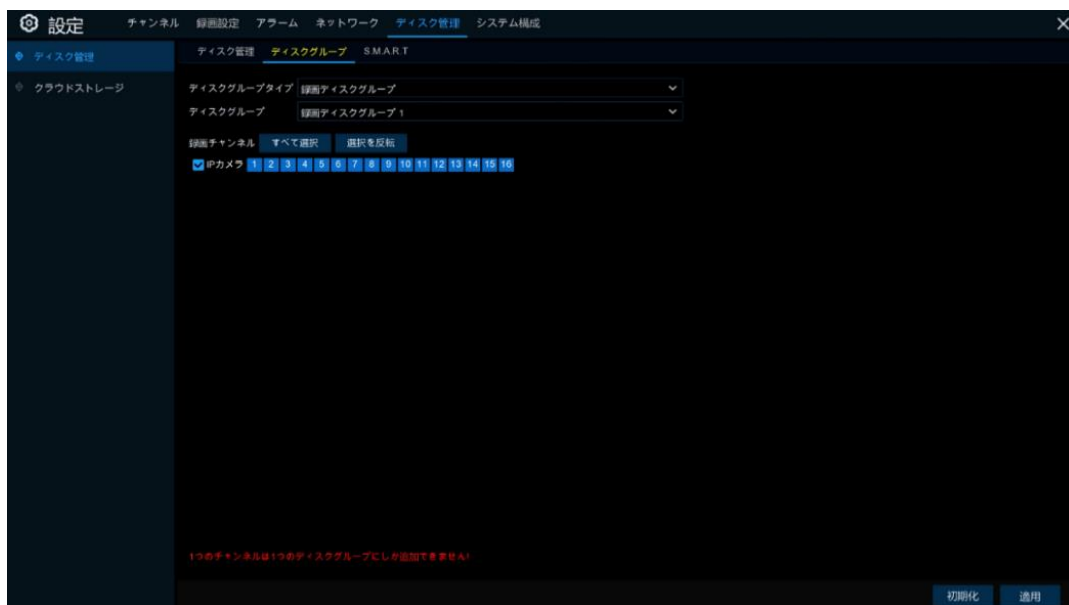
NAS 内に指定されたディレクトリ名を入力します。

ディスクサイズ

NAS 内で保存する容量を設定します。

5.6.1.2 <ディスクグループ>

レコーダーに複数のハードディスクが設置されている場合は、HDD を異なるグループに設定することができます。ディスクグループ毎に録画するカメラを選択することができるため、録画日数の調整が可能です。例えば、1～4 チャンネルをディスクグループ1に、5～8 チャンネルをディスクグループ2に録画することができます。



1. **ディスクグループタイプ**
設定するグループの種類を選択します。
2. **ディスクグループ**
選択したグループタイプ内の特定のグループを選択します。
3. **録画チャンネル**
選択したディスクグループに録画するチャンネルを選択します。
4. **適用** をクリックして保存します。

5.6.1.3 <S.M.A.R.T>

この機能を使用して、レコーダーに設置されているハードディスクの状態をチェックし評価することができます。

ディスク管理

S.M.A.R.T

HDD ID:WD-W004M2EH1XNJ

自己診断タイプ:Short

自己診断状態: 検知されていません。

温度(°C):42

使用時間(d):210

総合評価:合格

チェック

S.M.A.R.T. 情報:

ID	属性名	状態	フラッグ	値	ワースト	閾値	RAWデータ
0x1	Raw Read Error Rate	OK	2f	200	200	51	0
0x3	Spin Up Time	OK	27	175	172	21	4233
0x4	Start Stop Count	OK	32	100	100	0	154
0x5	Reallocated Sector Ct	OK	33	200	200	140	0
0x7	Seek Error Rate	OK	2e	200	200	0	0
0x9	Power On Hours	OK	32	94	94	0	5044
0xa	Spin Retry Count	OK	32	100	100	0	0
0xb	Calibration Retry Count	OK	32	100	253	0	0
0xc	Power Cycle Count	OK	32	100	100	0	29
0xc0	Power-Off Retract Count	OK	32	200	200	0	21
0xc1	Load Cycle Count	OK	32	200	200	0	142
0xc2	Temperature Celsius	OK	22	105	101	0	42
0xc4	Reallocated Event Count	OK	32	200	200	0	0
0xc5	Current Pending Sector	OK	32	200	200	0	0
0xc6	Offline Uncorrectable	OK	30	100	253	0	0
0xc7	UDMA CRC Error Count	OK	32	200	200	0	0

自己診断タイプ

3つのタイプがあります。

Short

読み書きのヘッド、電子機器、内部メモリなどのハードディスクの主要部品を確認します。

Long

上記の診断を行い、問題のある領域が確認された場合、サーフェススキャンを実行し、不良セクターの再配置を強制的に行います。

Conveyance

ハードディスクの機械部品のみを診断するシンプルな検査です。

注意

テストを実行しても、レコーダーは通常どおりに作動します。

HDD S.M.A.R.T エラーが発生した場合、ハードディスクを引き続き使用することはできますが、録画データを失う危険性があります。新しいハードディスクに交換することをお勧めします。

5.6.2 クラウドストレージ

クラウドストレージ(ドロップボックス・グーグルドライブ)に、録画データを自動保存することができます。

※ クラウドを使用するには、各クラウドのアカウントが必要になります。

◎クラウドストレージ設定は、
設定→ディスク管理→クラウドストレージから設定できます。



クラウドストレージ

クラウドストレージ機能を有効にします。

クラウドタイプ

ドロップボックスまたはグーグルドライブを選択し、クラウド有効化をクリックします。

クラウド状態

クラウドの通信状態が表示されます。

クラウド上書き

上書き ON/OFF や録画日数を指定することができます。

ビデオタイプ

「RF」「AVI」「MP4」から録画するファイル形式を選択します。

フォルダー名

任意で設定することができます。

5.7 システム構成

このメニューでは、日時設定、モニター出力設定、ユーザー設定、その他の一般的なシステム情報の変更などを行います。

5.7.1 基本設定(時間設定、NTP、モニター出力など)

◎システム構成の基本設定は、
設定⇒システム⇒基本設定から設定できます。

5.7.1.1 <基本設定>



デバイス名

レコーダーの名称(ローマ字と数字)を入力してください。

デバイス ID

レコーダーに必要な ID を入力してください。デバイス ID はレコーダーを識別するために使用され、数字でのみ構成されます。例えば、2 台のレコーダーが同じ場所に設置されている場合、一台目の ID は 000000、もう一台の ID は 111111 にします。リモコンで操作する場合に、各レコーダーを識別し操作するために設定が必要です。ID 111111 のレコーダーを制御する場合は、リモコンで ID 111111 を入力して操作を続けます。

言語

メニューの言語には、日本語以外にも英語などの選択が可能です。

ビデオ形式

日本国内で使用する場合は、NTSC を選択してください。

メニュータイムアウト

設定メニューを自動で終了する待機時間を設定することができます。「オフ」を選択した場合、メニューが開いた状態になり、パスワード保護が一時的に無効になります。

WEB 接続切断時間

パソコンやスマホで接続してから切断するまでの時間(分単位)を入力し、プレビュー/再生接続を切断するにチェックを入れます。設定時間を過ぎると、自動的に切断状態になります。

ウィザード表示

チェックを入れると、レコーダーの起動または再起動時に、スタートアップウィザードが表示されます。使用しない場合は、チェックを外してください。


5.7.1.2 <日付と時間>

日付と時間	
日付	2021-06-10
時間	13:43:39
日付表示形式	YYYY-MM-DD
時間表示形式	24時
タイムゾーン	GMT+09:00

NTP設定	
NTP有効	<input checked="" type="checkbox"/>
サーバアドレス	pool.ntp.org
今すぐ更新する	

DST設定	
DST認識	<input type="checkbox"/>
時間オフセット	1時
サマータイム	速
開始時間	3月 第2週 日曜日 02:00:00
終了時間	11月 第1週 日曜日 02:00:00

日付

 をクリックして日付を変更します。

時間

時間をクリックして変更します。

日付表示形式

日付形式を選択してください。

時間表示形式

時間形式を選択してください。

タイムゾーン

日本は+09:00 です。

NTP 設定

ネット上のタイムサーバーと同期させ、常に正確な時間を維持します。

NTP を有効にし**サーバアドレス**を選択し、**適用**をクリックして設定を保存します
[今すぐ更新]をクリックすると、タイムサーバーと時間が同期します。

5.7.1.3 <出力構成>

このメニューではモニター出力の解像度を設定することができます。

ビデオ出力

出力オプションを選択します。

シーケンスモード

画面を自動的に切り替える際のレイアウトを選択します。

シーケンス切替時間

画面の自動切替モードの切り替え時間を設定します。設定時間は最大 300 秒です。

VGA/HDMI 解像度

使用するモニターに適した解像度を選択してください。

スケール&オフセット

設定

をクリックしてモニターに合うサイズと位置を調整してください。

ズーム: 表示画面の大きさを調整

X オフセット: 表示画面を左右に移動

Y オフセット: 表示画面を上下に移動

マウスの非表示化

マウスが非表示になるまでの時間を選択します。

マウスポインタ速度調整

カーソルの速度を調整します。

透明度

メニューバーとメインメニューの画面の透明度を調整します。

5.7.2 マルチユーザー設定

このメニューでは、ユーザー名、パスワード、ユーザーの権限を設定します。

◎マルチユーザー設定は、

設定⇒システム⇒マルチユーザー設定から設定できます。




admin 管理者

システムの設定や操作ができ、admin のパスワードと user パスワードを変更することができます。また、パスワード保護の有効/無効を設定することができます。


user ユーザー

ユーザーID ではライブ、検索、再生などの基本機能にのみアクセスできます。ユーザーID ごとにアクセスできる権限の設定が可能です。

5.7.2.1 <パスワード変更>

管理者またはユーザーアカウントのパスワードを変更する場合は、ユーザー編集のをクリックします。

パスワードは 8 文字(数字と文字)以上で、設定してください。

パスワードの確認に同じパスワードをもう一度入力し、をクリックしてください。

パスワードの変更を確定する場合は、古いパスワードを入力する必要があります。

ユーザー編集

レベル

ADMIN

ユーザー名

admin

パスワード有効

有効

パスワードの強度

中

パスワード

表示

確認

表示

パターンロックを解除します。

無効

初期化

保存

キャンセル

ID認証

ユーザー名

admin

パスワード

表示

認証

キャンセル

パスワード有効

セキュリティ強化のためには、必ずパスワード入力を有効にしてください。無効にするとパスワード入力なしで操作が可能になります。

ユーザー編集

レベル

ADMIN

ユーザー名

admin

パスワードの強度

パスワード

確認

パターンロックを解除します。

有効

パターン

シングルユーザーログイン数


3

初期化






保存

キャンセル


パターンロックの有効/無効を設定します。

 **パターン**でロック解除のパターンを変更できます。

5.7.2.2 <マルチユーザー追加>

マルチユーザー設定						
No.	ユーザー名	レベル	ユーザー有効	パスワード有効	ユーザー編集	許可
1	admin	ADMIN	有効	有効		
2	user1	USER1	無効	無効		
3	user2	USER2	無効	無効		
4	user3	USER3	無効	無効		
5	user4	USER4	無効	無効		
6	user5	USER5	無効	無効		
7	user6	USER6	無効	無効		

既定のユーザ admin

現在無効になっているユーザーアカウントを選択し、**ユーザー編集**  をクリックします。

ユーザー編集

レベル: USER1

ユーザー有効: 有効

ユーザー名: user1

パスワード有効: 有効

パスワードの強度: 中

パスワード: *****

確認: *****

初期化 保存 キャンセル

ユーザー有効

有効にします。

ユーザー名

直接変更することもできます。

パスワード有効

有効にし、セキュリティを強化してください。

パスワード

新しく入力してください。

確認

新しく入力したパスワードを再入力します。

保存

をクリックし、設定を保存します。

5.7.2.3 <ユーザー許可の設定>

管理者アカウントは、すべての機能を制御することのできる唯一のアカウントです。
各ユーザーアカウント別に、メニューや機能へのアクセスを制限することができます。

マルチユーザー設定						
No.	ユーザー名	レベル	ユーザー有効	パスワード有効	ユーザー編集	許可
1	admin	ADMIN	有効	有効		
2	user1	USER1	有効	無効		
3	user2	USER2	無効	無効		
4	user3	USER3	無効	無効		
5	user4	USER4	無効	無効		
6	user5	USER5	無効	無効		
7	user6	USER6	無効	無効		

既定のユーザ: admin

許可の アイコンをクリックします。



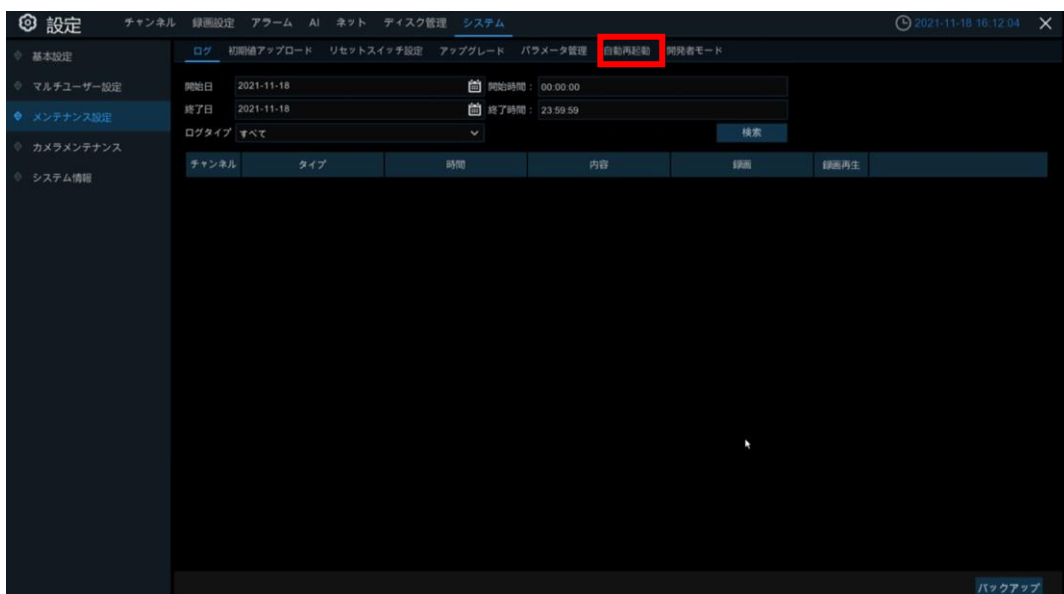
アクセスできるメニューや機能などを設定します。チェックを入れるとアクセスが可能になります。設定後、**保存** をクリックして保存します。

5.7.3 メンテナンス設定

このメニューでは、システムログの検索と表示、初期値のアップロード、アップグレード、システムパラメータのエクスポートとインポート、レコーダーの自動再起動を行うことができます。

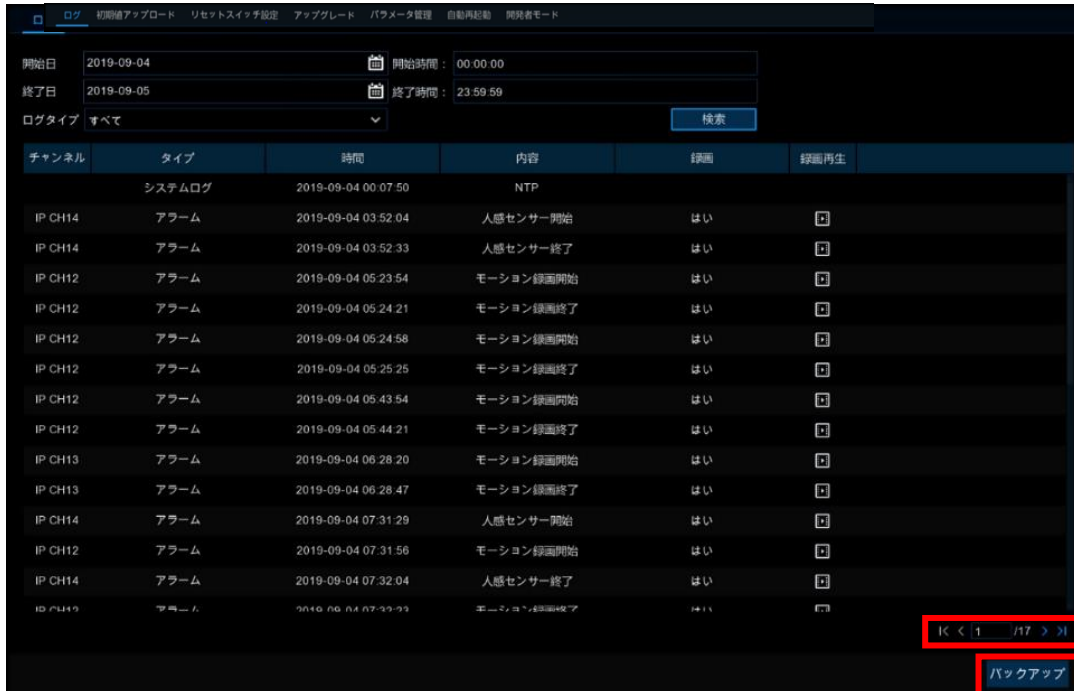
安定したシステム運営を実現するために、自動再起動(週 1 回)の設定をお勧めします。

◎メンテナンス設定は、
設定⇒システム⇒メンテナンス設定から設定できます。



5.7.3.1 <ログ>

システムログには、モーションアラーム、システムアラームなどの重要なイベントが表示されます。システムログのファイルは、USB メモリにバックアップすることができます。



ログの検索とバックアップ:

開始日と開始時間

設定が可能です。日付は、 を押して、カレンダーから日付を選択してください。

終了日と終了時間

設定が可能です。日付は、 を押して、カレンダーから日付を選択してください。

ログタイプ

検索するイベントの種類を選択してください。

をクリックします。

検索期間内のシステムログイベントがリストアップされます。

録画再生

をクリックすると、録画映像が再生されます。



再生後、右クリックすると検索結果に戻ります。

メニューの右下隅にあるアイコン をクリックして、前後のページに移動します。

をクリックし、バックアップすることもできます。

バックアップ用 USB メモリが表示され、次に、ファイルを保存するフォルダに移動します。 をクリックしてバックアップを開始します。

5.7.3.2 <初期値アップロード>

レコーダーの設定を出荷時の状態に初期化します。

すべての設定または特定のメニューだけを初期化することができます。

初期化を実行しても、ハードディスクに保存されている録画データやスナップショットは削除されません。

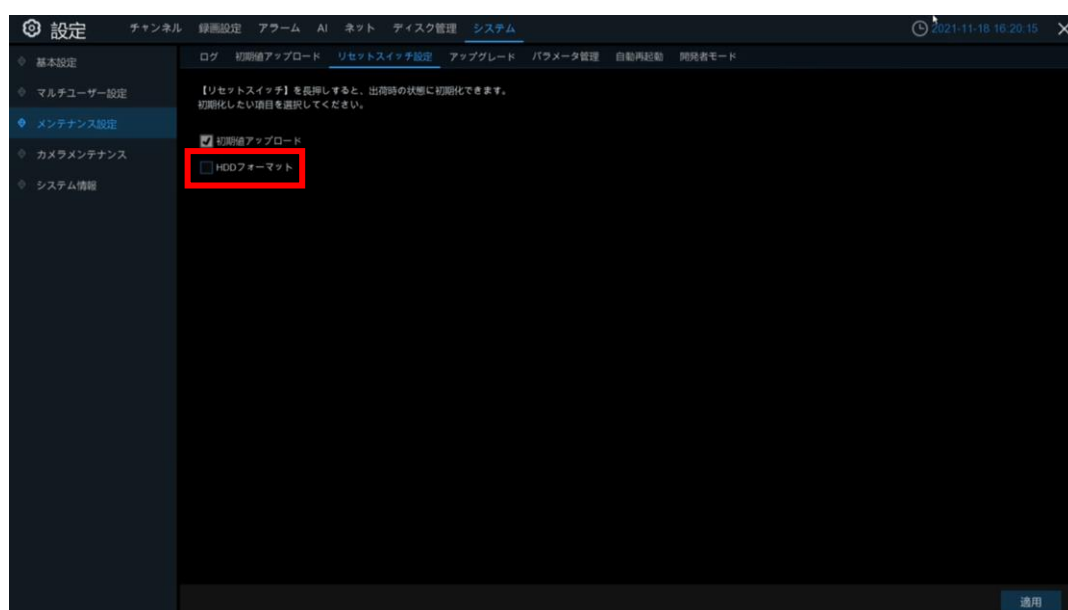


初期化したい項目をチェックするか、**すべて選択**を選択します。

適用 をクリックすると、選択した項目を初期化します。

5.7.3.3 <リセットスイッチ設定>

NVR 本体背面のリセットスイッチを使用する場合に、HDD を含めた初期化を行うかを選択します。



チェックを入れた状態で、

適用 をクリックすると、リセットスイッチで HDD を含めた初期化が可能になります。

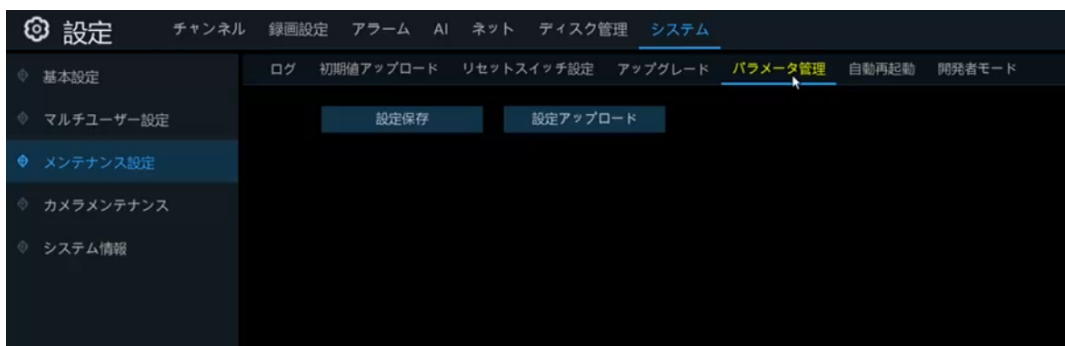
5.7.3.4 <アップグレード>



1. ファームウェア(.sw ファイル)を USB メモリにコピーし、レコーダーに USB メモリを接続します。
2. USB メモリからファームウェアを選択し、**OK** をクリックします。
3. **アップグレード**をクリックし、アップグレードを実行します。
アップグレードには 5～10 分程度かかります。
ファームウェアのアップグレード中は、レコーダーの電源を切ったり、USB メモリを取り外さないでください。

5.7.3.5 <パラメータ管理>

メニューの設定値(パラメータ)を別途 USB メモリに保存することもでき、また反対に USB メモリから設定値(パラメータ)を読み取ることもできます。



設定保存

クリックし、レコーダーの設定値(パラメータ)を USB メモリに保存します。

設定アップロード

USB メモリに保存されている設定値(パラメータ)をレコーダーにインポートすることができます。同じレコーダーだけでなく、別のレコーダーにもインポートが可能です。

5.7.3.6 <自動再起動>

システムを定期的に自動再起動させることができます。

自動再起動を有効にすると、レコーダーの負荷を定期的にリフレッシュすることができます。



自動再起動

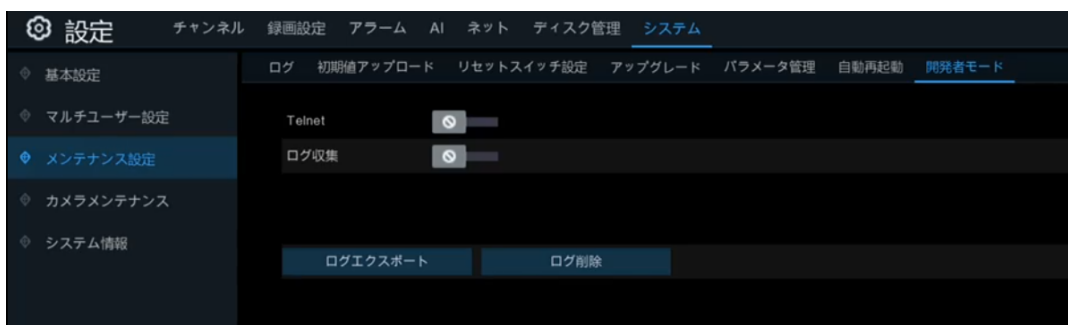
自動再起動の有効/無効を選択します。

時間

再起動の周期やタイミング(週・曜日・時間)を選択します。

5.7.3.7 <開発者モード>

管理者以外は使用しないでください。



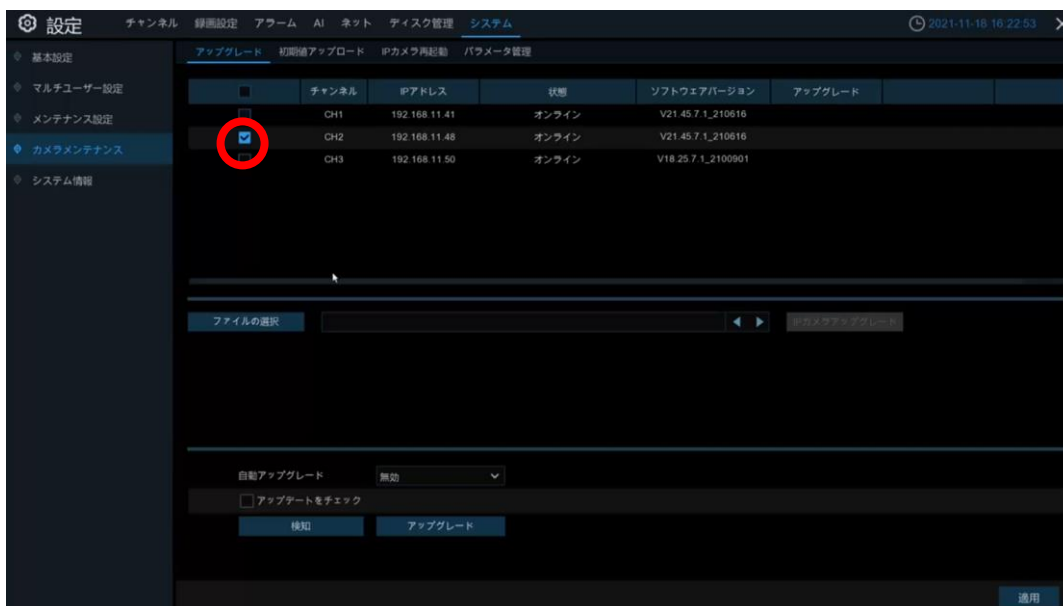
5.7.4 IP カメラのメンテナンス

IP カメラのファームウェアのアップグレードや初期化を行うことができます。

◎IP カメラメンテナンス設定は、
設定⇒システム⇒カメラメンテナンスから設定できます。



5.7.4.1 <IP カメラアップグレード>



1. まず、IP カメラを選択します。
2. ファイルの選択をクリックし、USB メモリからファームウェアを選択します。
3. IPカメラアップグレード をクリックしてアップグレードを開始します。
アップグレード中は、レコーダーとIP カメラの電源を切ったり、USB メモリを取り外したりしないでください。

5.7.4.2 <初期値アップロード>



- 工場出荷状態に初期化する IP カメラを選択します。
- 初期値アップロード** をクリックしてカメラを初期化します。

5.7.4.3 <IP カメラ再起動>



- 再起動する IP カメラを選択します。
- IPカメラ再起動** をクリックしてカメラを再起動します。

5.7.4.4 <パラメータ管理>



パラメータ管理を行う IP カメラを選択します。

設定保存 をクリックし、USB メモリに保存します。

設定アップロード をクリックし、USB メモリから設定値をカメラにアップロードします。

5.7.5 システム情報

このメニューでは、システム情報、チャンネル情報、録画情報、ネットワーク情報などの確認ができます。

◎システム情報は、

[設定](#) ➡ [システム構成](#) ➡ [システム情報](#) から確認できます。

5.7.5.1 <システム情報>

デバイス ID、デバイス名、IP アドレス、MAC アドレス、ファームウェアバージョンなどのシステム情報の確認が可能です。リモート接続を行う場合は、P2P の ID や QR コードをご利用ください。

設定

チャンネル

録画設定

アラーム

AI

ネット

ディスク管理

システム

基本設定

マルチユーザー設定

メンテナンス設定

カメラメンテナンス

システム情報

システム情報

チャンネル情報

録画情報

ネットワーク情報

デバイスID

000000

デバイス名

N5604

デバイスタイプ

DCT-5104KR

ハードウェアバージョン

DM-370

ソフトウェアバージョン

V8.1.0-20210407

IEクライアントバージョン

V1.0.0.110

ビデオ形式

NTSC

HDDボリューム

1863G

IPアドレス

192.168.11.249

IPv6 アドレス

fe80::5ae8:76ff:fe03:ebf4 / 64

ウェブ

80.80

クライアント

9000.9000

MACアドレス

58-E8-76-03-EB-F4

ネットワーク情報

接続成功

P2P ID

Y3GCX1F6MC6CW6S8111A



5.7.5.2 <チャンネル情報>

カメラ名、接続状態、メインストリーム、サブストリーム、モーション検知、プライバシーゾーンなど、接続されている各カメラのチャンネル情報を確認することができます。

システム情報		チャンネル情報	録画情報	ネットワーク情報			
チャンネル	カメラ名	状態	メイン	サブ	モバイル	モーション検知	プライバシーゾーン
IP CH1	IP CH1	オンライン	1920x1080, 30Fps, 2Mbps	1280x 720, 30Fps, 2Mbps	640x 480, 30Fps, 512Kbps	サポート	サポート
IP CH2	IP CH2	オンライン	1920x1080, 30Fps, 2Mbps	640x 480, 30Fps, 512Kbps	640x 480, 30Fps, 512Kbps	サポート	サポート
IP CH3	IP CH3	オンライン	1920x1080, 25Fps, 4Mbps	640x 480, 10Fps, 1024Kbps	サポートしない	サポート	サポート
IP CH4	IP CH4	オンライン	3840x2160, 15Fps, 6Mbps	1280x 720, 15Fps, 2Mbps	640x 480, 10Fps, 512Kbps	サポート	サポート
IP CH5	IP CH5	オンライン	1920x1080, 30Fps, 6Mbps	1280x 720, 30Fps, 2Mbps	640x 480, 30Fps, 512Kbps	サポート	サポート

5.7.5.3 <録画情報>

各カメラの録画情報（ストリームタイプ、解像度、フレームレート(FPS)、ビットレートなど）を確認することができます。

システム情報チャンネル情報録画情報ネットワーク情報

チャンネル	録画状態	録画スイッチ	ストリーム	解像度	FPS	ビットレート
IP CH1	オン	有効	デュアルストリーム	1920x1080 1280x720	30Fps 30Fps	2Mbps 2Mbps
IP CH2	オン	有効	デュアルストリーム	1920x1080 640x480	30Fps 30Fps	2Mbps 512Kbps
IP CH3	オン	有効	デュアルストリーム	1920x1080 640x480	25Fps 10Fps	4Mbps 1024Kbps
IP CH4	オン	有効	デュアルストリーム	3840x2160 1280x720	15Fps 15Fps	6Mbps 2Mbps
IP CH5	オン	有効	デュアルストリーム	1920x1080 1280x720	30Fps 30Fps	6Mbps 2Mbps

5.7.5.4 <ネットワーク情報>

システム情報 チャンネル情報 録画情報 ネットワーク情報	
プロパティ	値
WLAN	
IPアドレス	192.168.11.201
サブネットマスク	255.255.255.0
ゲートウェイ	192.168.11.1
MACアドレス	08-23-45-79-13-FF
DHCP	有効
内部インタフェース	Connected
IPアドレス	192.168.5.204
サブネットマスク	255.255.255.0
DNS1	192.168.11.1
DNS2	8.8.8.8
PPPOE	無効
ポート	
ウェブ	80,80,無効,無効
クライアント	9000,9000,無効,無効
RTSP	554,554,無効,無効
Https	443,443,無効,無効
合計バンド幅	320Mbps
使用バンド幅	29.5Mbps
TOE	有効

合計バンド幅: レコーダーの合計帯域幅(カメラ映像の合計入力容量)

使用バンド幅: 接続中のカメラの合計帯域幅(カメラの合計使用容量)

Chapter 6 検索・再生・バックアップ

スタートメニューの 🔍 [検索]、または、タスクバーの [録画再生] をクリックして検索画面に移動します。



6.1 基本検索・再生

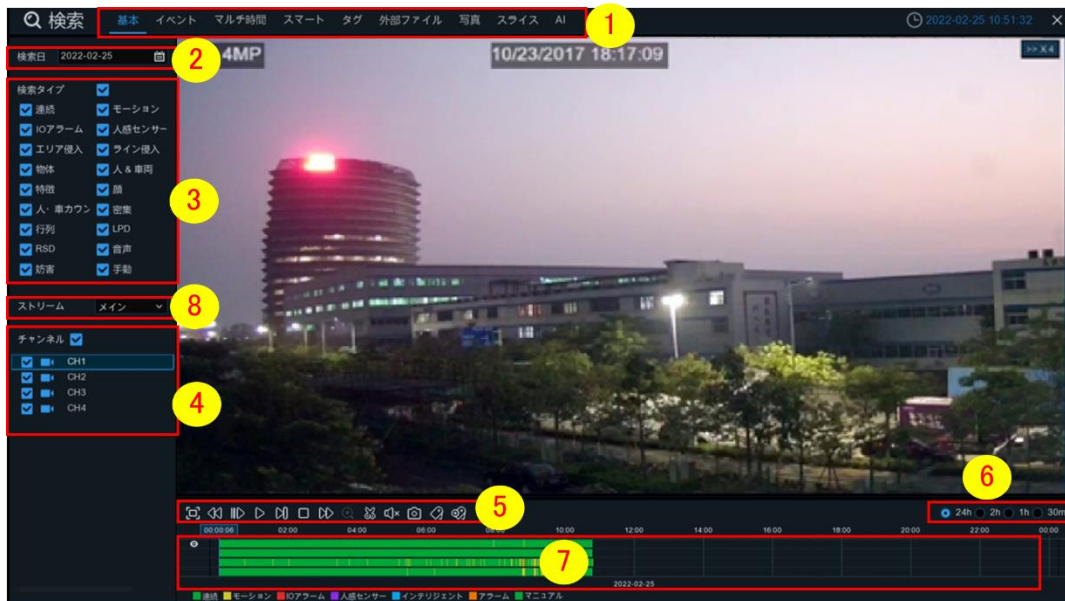
録画映像やレコーダーに保存されているスナップショット等を検索して再生することができます。連続録画、手動録画、各種イベント(AI、モーション、人感センサーなど)から検索タイプを選択し、再生することができます。バックアップ機能を使用し、重要な録画データ(映像、スナップショット)を USB メモリに保存することもできます。

6.1.1 基本検索・再生について

◎基本検索・再生操作は、
検索→基本から操作できます。

6.1.1.1 <基本再生画面の説明>

効率的な検索を行うには検索タイプの選択を必ず行って下さい。



①検索オプション

様々な検索方法があります。

(基本・イベント・マルチ時間・スマート・タグ・外部ファイル・写真・スライス・インテリジェント)

②検索日

カレンダーから日付を選択します。

③検索タイプ

検索方法を絞り込みます。

④チャンネル選択










検索再生したいチャンネルを選択します。

⑤再生コントロールバー

映像再生を制御します。




- ⏏ 再生映像をフルスクリーンに拡大
- ⏮ 巻き戻し、2 倍、4 倍、8 倍、16 倍
- ⏪ スロープレイ、1/2、1/4、1/8、1/16 スピード
- ▶ 再生
- ⏸ 一時停止
- ⏭ フレームごとに再生します。ワンクリックで1フレームを再生
- ⏹ 停止
- ⏩ 早送り、2 倍、4 倍、8 倍、16 倍

-  デジタルズームイン・アウト(マウスのホイールで拡大縮小します)、右クリックすると元の再生画面に戻ります。
-  録画映像の一部を切り取りします。詳細については [6.2.1 ビデオクリップバックアップ](#)をご参照ください。
-  切り取った録画映像を保存します。
-  スライダーバーで音量を調整します。
-  映像を指定し  をクリックして画像をキャプチャします。画像は USB メモリに保存されます。
-  デフォルトタグを追加します。
-  カスタムタグを追加します。
-  スクリーンショットを選択し、マウスのカーソルで映像の一部や全体を指定してイメージを切り取りします。








⑥タイムライン

タイムラインはカメラ別に 0 時～24 時までの録画状況が表示されます。また、各カメラの録画方式に合わせてカラーバーで表示されます。(凡例は再生画面の一番下に表示されています。)

時間枠オプション  を使用して、表示する時間単位を 24 時間→2 時間、1 時間、30 分に変更することができます。

録画タイプ別のカラー表示



-  緑色: 連続録画
-  黄色: モーション録画
-  赤色: IO アラーム録画
-  紫色: 人感センサー録画
-  青色: インテリジェント録画
-  オレンジ色: アラーム録画
-  緑色: マニュアル(手動)録画

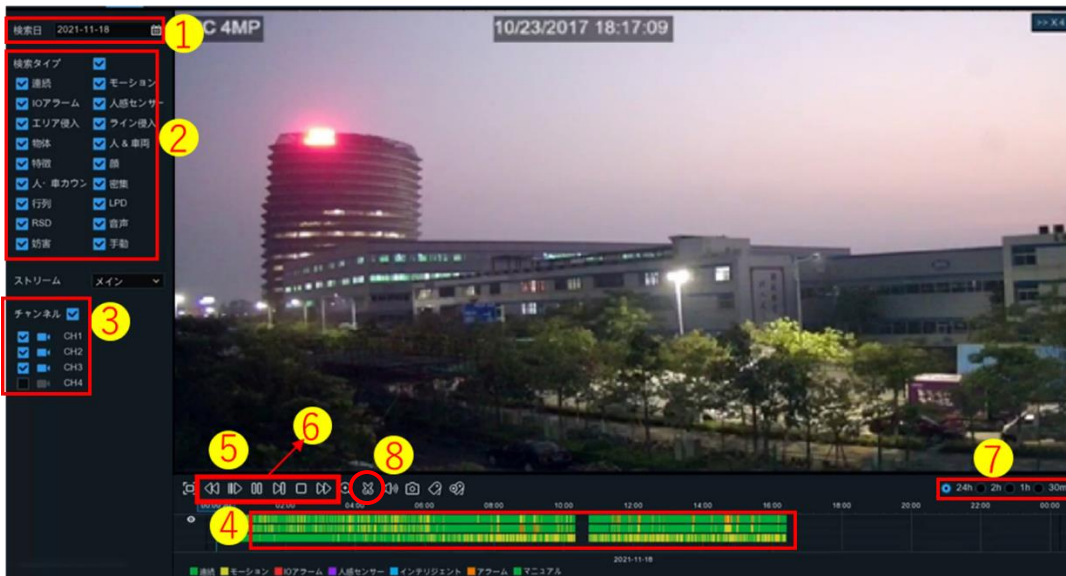
⑦再生速度

再生速度を表示

⑧ストリームタイプ

再生時の映像品質をメインまたはサブに切り替えることができます。

6.1.1.2 <基本再生画面の検索・再生方法>



1. カレンダーから検索する日付を選択
2. 検索タイプを選択
3. 検索したいチャンネルにチェック
4. 上記の 1～3 番で選択内容がタイムラインに自動表示
5. ▶ をクリックして再生を開始
6. 再生コントロールバーで再生を制御
7. 時間枠オプション(● 24h ● 2h ● 1h ● 30m)を使用して、時間表示 24 時間単位→2 時間単位、1 時間単位、30 分単位に変更してタイムラインを表示することができます。
8. 再生画面から映像の一部を USB メモリに保存したい場合は、[6.2.1 ビデオクリップによるバックアップ](#)をご参照ください。

6.2 バックアップについて


バックアップ方法には 2 種類があります。

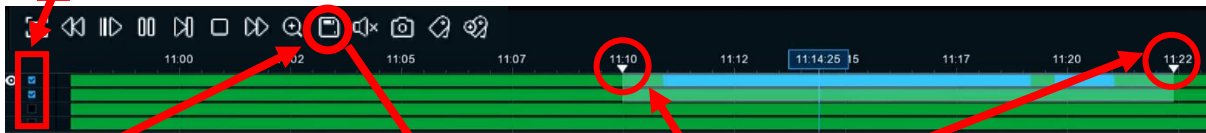
- ① ビデオクリップによるバックアップ
- ② クイックバックアップ




6.2.1 ビデオクリップによるバックアップ



1. USB メモリをレコーダーに接続します。
2. 録画映像の再生を開始します。
3. バックアップをしたいチャンネル左横のボックスにチェックを入れます。

() にチェックを入れます。




4.  をクリックします。クリックすると  に切り替わります。
5. タイムライン上に表示されたビデオクリップの開始と終了時間  をマウスで移動させます。

<マウス操作方法>

タイムラインの▽ をマウスの左ボタンでクリックしたまま、バックアップしたい時間にドラッグして、マウスのボタンを離します。

6. 開始時間と終了時間を設定した後、 をクリックしてバックアップを開始します。



7. 映像のファイルタイプを選択し、 をクリックします。

サイズ: バックアップするデータの合計容量です。



※ このバーで、バックアップのファイル数と進行状況を確認することができます。

データ量およびファイル数は下記の表を参考にしてください。

(バックアップのファイル数は、レコーダーが自動で設定します。手動で設定できません。)

<検索タイプ>連続: 1 時間, データ容量: 約 1.8GB, ファイル数: 2

連続: 3 時間, データ容量: 約 5.3GB, ファイル数: 6

8. 保存する USB メモリのフォルダに移動します。

9. **OK** をクリックすると、バックアップが開始されます。

※ 画面一番下に、バックアップの進行状況が表示されます。

10. 終了する場合は、**キャンセル** を押し、USB メモリをレコーダーから外します。

※ 再生方法については、7.1 ビデオプレイヤーの操作方法をご参照ください。

6.3 イベント再生

6.3.1 イベント検索・再生・バックアップ

イベント検索を使用し、イベント別に録画映像をすばやくリストアップすることができます。
バックアップもイベント検索画面から簡単に行えます。

◎ イベント検索・再生操作は、
検索 → **イベント** から操作します。

6.3.1.1 <イベント再生画面の説明>



- ① 検索したい日時を選択します。
- ② 録画タイプを選択します。
- ③ ストリームタイプをメインからサブに切り替えることができます。
- ④ 検索したいチャンネルを選択します。
- ⑤ 🔍 をクリックして、検索を開始します。
- ⑥ 検索条件に合うイベントがサムネイル画像で表示されます。
確認したい画像を左ボタンでダブルクリックすると、録画映像が再生されます。
詳細については、[6.3.2 イベント再生コントロール](#)をご参照ください。
- ⑦ 画面の右下にある **◀ 4 /15 ▶** をクリックして、確認したいページに移動します。
- ⑧ 画面の右下に表示されているアイコンから、検索結果の表示をサムネイルから詳細リストに変更することができます。

サムネイル表示: イベントのスナップショットを表示

リスト表示: イベントを一覧で表示

1 CH1 00:00:00	2 CH1 00:00:45	3 CH1 00:16:30	4 CH1 00:44:03	5 CH1 01:10:48	6 CH1 01:19:22	7 CH1 01:35:37	8 CH1 01:43:32
9 CH1 02:01:12	10 CH1 02:25:38	11 CH1 02:43:17	12 CH1 03:02:08	13 CH1 03:08:37	14 CH1 03:10:01	15 CH1 03:14:54	16 CH1 03:42:12
17 CH1 04:07:23	18 CH1 04:19:35	19 CH1 04:36:40	20 CH1 05:00:20	21 CH1 05:24:12	22 CH1 05:45:55	23 CH1 06:04:07	24 CH1 06:14:27
25 CH1 06:41:12	26 CH1 06:44:25	27 CH1 07:01:42	28 CH1 07:20:43	29 CH1 07:31:23	30 CH1 07:48:04	31 CH1 08:17:33	32 CH1 08:40:16
33 CH1 08:50:34	34 CH1 09:07:05	35 CH1 09:25:12	36 CH1 09:44:07	37 CH1 09:46:08	38 CH1 10:00:52	39 CH1 10:14:18	40 CH1 10:34:42
41 CH1 10:45:57	42 CH1 11:12:48	43 CH1 11:20:27	44 CH1 11:48:18	45 CH1 12:07:25	46 CH1 12:30:12	47 CH1 12:44:43	48 CH1 12:55:49
49 CH1 13:06:48	50 CH1 13:30:46	51 CH1 13:37:51	52 CH1 13:57:01	53 CH1 14:10:24	54 CH1 14:11:16	55 CH1 14:18:12	56 CH1 14:35:26
57 CH1 14:40:31	58 CH1 14:44:42	59 CH1 14:48:39	60 CH1 15:15:44	61 CH1 15:39:06	62 CH1 16:01:07	63 CH1 16:16:00	64 CH1 16:24:41
65 CH1 16:27:29	66 CH1 16:43:47	67 CH1 16:45:43	68 CH1 17:01:14	69 CH1 17:05:03	70 CH1 17:28:30	71 CH1 17:54:23	72 CH1 18:08:49
73 CH1 18:36:07	74 CH1 18:44:14	75 CH1 18:57:14	76 CH1 19:07:37	77 CH1 19:12:12	78 CH1 19:36:50	79 CH1 19:50:34	80 CH1 20:01:42
81 CH1 20:25:40	82 CH1 20:34:32	83 CH1 20:49:48	84 CH1 21:04:51	85 CH1 21:21:09	86 CH1 21:42:12	87 CH1 21:47:36	88 CH1 22:02:49
89 CH1 22:29:59	90 CH1 22:39:14	91 CH1 22:54:42	92 CH1 22:57:45	93 CH1 23:08:03	94 CH1 23:22:59	95 CH1 23:35:50	

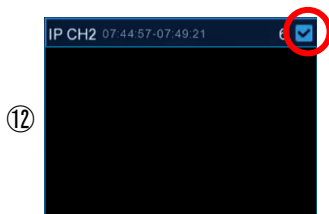
詳細表示: イベントの詳細を表示

	チャンネル	タイプ	日付	開始時間	終了時間	サイズ	録画再生	ロック
1	IP CH2	S	2019-09-12	05:40:25	05:41:02	19MB	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>
2	IP CH2	S	2019-09-12	05:40:58	05:45:06	125MB	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>
3	IP CH2	S	2019-09-12	07:40:48	07:41:24	19MB	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>
4	IP CH2	S	2019-09-12	07:41:20	07:43:49	75MB	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>
5	IP CH2	S	2019-09-12	07:44:17	07:45:05	24MB	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>
6	IP CH2	S	2019-09-12	07:44:57	07:49:21	133MB	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>
7	IP CH2	S	2019-09-12	08:45:56	08:47:24	45MB	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>
8	IP CH2	S	2019-09-12	08:47:16	08:50:36	102MB	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>
9	IP CH2	S	2019-09-12	08:57:57	08:58:49	27MB	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>
10	IP CH2	S	2019-09-12	09:13:33	09:14:22	26MB	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>
11	IP CH2	S	2019-09-12	09:32:47	09:33:31	23MB	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>
12	IP CH2	S	2019-09-12	09:33:23	09:36:11	86MB	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>
13	IP CH2	S	2019-09-12	10:28:18	10:28:58	21MB	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>
14	IP CH2	S	2019-09-12	10:28:54	10:33:30	108MB	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>

詳細表示モードでは、録画イベントをロックして、イベントデータが上書きされないようにすることができます。



 をクリックしてロック、または  をクリックしてロックを解除します。

- ⑨ 検索結果データの上でマウスの左ボタンをクリックすると、検索画面の左下に画像データの詳細情報が表示されます。
- ⑩ 選択したファイルの数、合計サイズは検索画面の右下に表示されます。
- ⑪ 降順で表示されます。




ファイルを個別に選択する場合は、データ番号の横にあるボックスにチェックを入れてください。

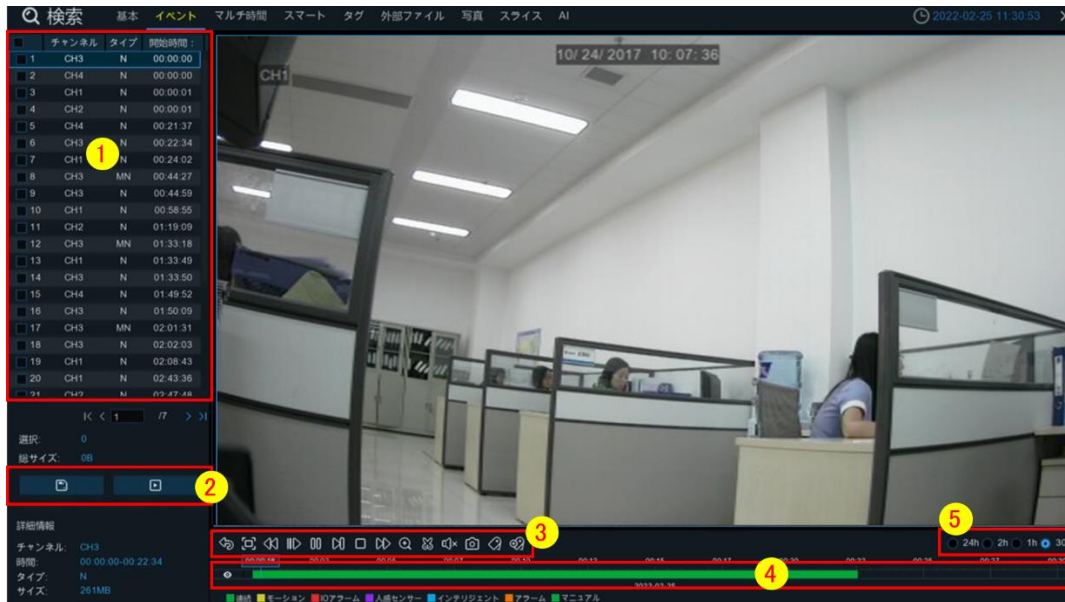
ページ内のすべてのイベントを選択する場合は、画面一番下の選択の左横にあるボックスにチェックを入れてください。




- ⑬  をクリックすると映像を USB メモリに保存することができます。
- ⑭  をクリックすると、映像が順次再生されます。
- ⑮ USB メモリにバックアップしたデータを PC で確認したい場合は、[Chapter 7 パソコンでバックアップデータを再生](#)をご参照ください。

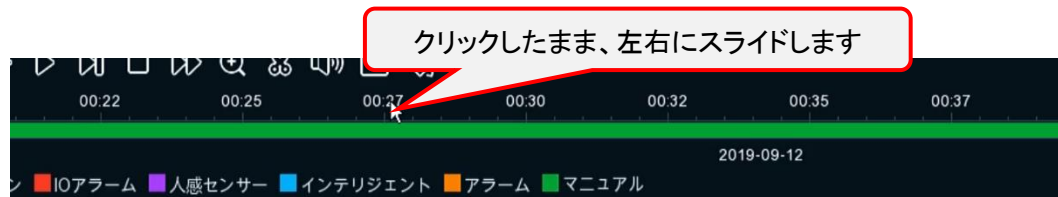
6.3.2 イベント再生コントロール

イベント検索画面で映像を選択し、 を押すとイベント再生ページが表示されます





6.3.2.1 <イベント再生コントロール画面の説明>



- ① イベントリストから録画映像を選択することができます。
- ②  をクリックして選択した録画映像を USB メモリに保存します。
 をクリックして録画映像を再生します。
- ③ 再生コントロールバーで再生を制御します。
 をクリックするかマウスの右ボタンをクリックすると再生が終了し、イベント検索画面に戻ります。
- ④ 再生中の映像がタイムラインに表示されます。



表示時間を移動したい場合は、タイムバー上の時間表示部分をマウス左ボタンでクリックしたまま左右にスライドします。

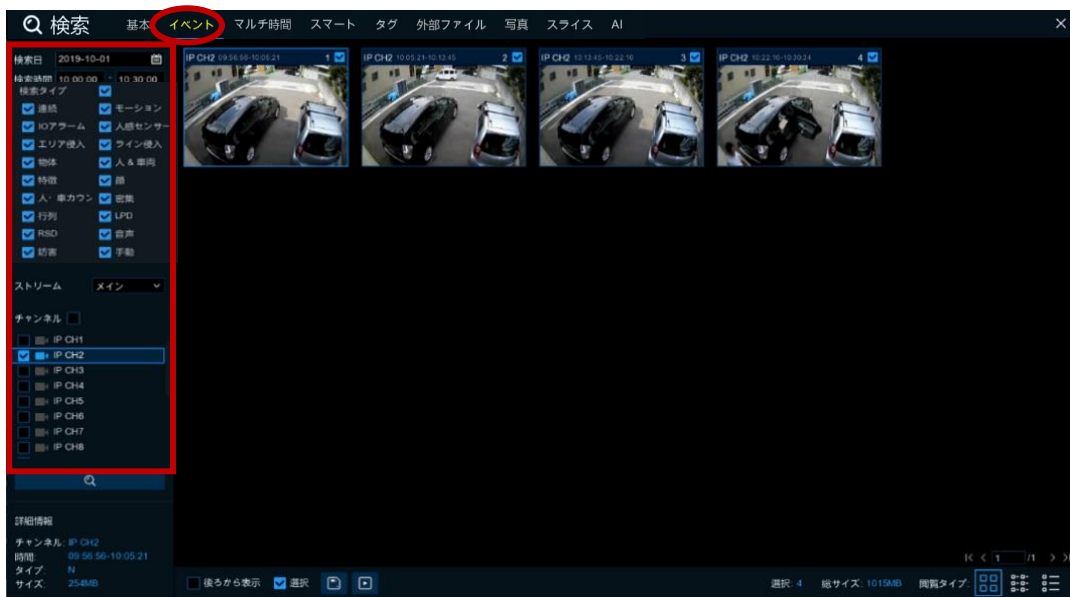
- ⑤ 時間枠オプション     を使用して、表示する時間単位を 24 時間→2 時間、1 時間、30 分に変更することができます。


※ ビデオクリップを行う場合は、[6.2.1 ビデオクリップバックアップ](#)をご参照ください。

6.3.3 イベント検索とクイックバックアップ

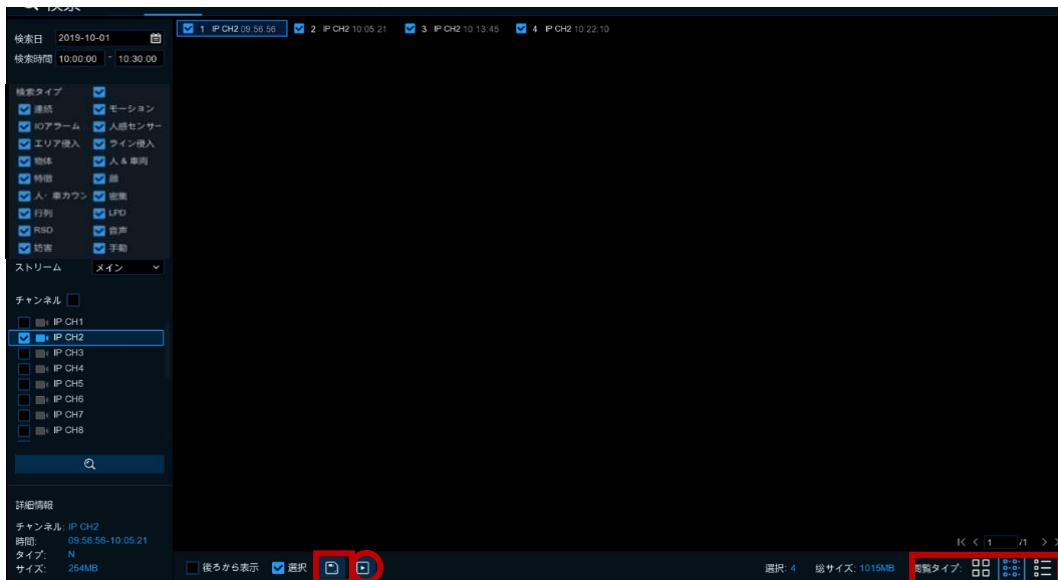







1. USB メモリをレコーダーに接続します。



2. 検索する日時・検索タイプ・検索チャンネルを設定し  をクリックします。

例: 2019 年 10 月 1 日 10:00:00~10:30:00 <すべての検索タイプ><IP CH2>を検索し、RF 形式のデータでバックアップします。



3. 画面右下の閲覧タイプ    を選択し、同じく左下の選択  選択 にチェックを入れます。
※ 個別のファイルを選択する場合は、ファイル横の各ボックスにチェックを入れてください。
4. バックアップ  をクリックします。



サイズ

バックアップデータの総容量

※ 必ず USB メモリの容量をご確認ください。

RF

付属ソフト「[Video Player](#)」で再生できるファイル形式で保存されます。


※ 再生方法については、[7.1 ビデオプレーヤーの操作方法](#)をご参照ください。

AVI

AVI ファイル形式で保存されます。

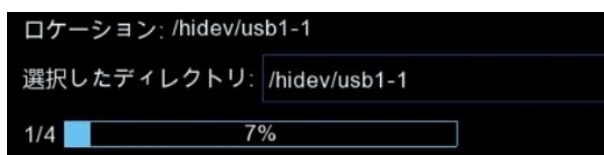
MP4

MP4 ファイル形式で保存されます。

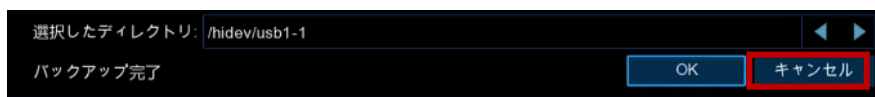
5.  をクリックします。



6. **OK** をクリックします。



7. USB メモリに保存されます。



8. バックアップ完了後は、必ず、**キャンセル** をクリックし、USB メモリを外します。
 ※ **OK** を選択すると、バックアップが再開します。
9. バックアップした USB メモリのデータは、パソコン用ビデオプレーヤーで再生が可能です。
 ※ 再生方法については、[7.1 ビデオプレーヤーの操作方法](#)をご参照ください。

6.4 マルチ時間再生

6.4.1 マルチ時間(複数時間同時)再生

マルチ時間再生では、1つのチャンネルの録画映像を録画タイプ別・時間帯別に同時に再生することができます。画面の分割構成に合わせ録画映像が均等な時間単位で分割されます。
映像の長さが1時間で分割画面が4分割の場合、分割単位ごとに15分間再生されます。

◎マルチ時間検索・再生操作は、
[検索](#)→[マルチ時間](#)から操作できます。

[マルチ時間画面の説明と検索・再生方法]



マルチ時間で映像を検索・再生するには

- ① 検索したい日時を選択します。
- ② 映像を表示する分割画面を選択します。
- ③ 録画タイプを選択します。
- ④ ストリームタイプをメインまたはサブから選択します。
- ⑤ 検索したいチャンネルを選択します。
※ マルチ時間再生では、複数チャンネルの選択はできません。1チャンネルのみ選択可能です。
- ⑥ 再生 ▶ をクリックして再生を開始します。
再生コントロールバーで再生を制御します。
- ⑦ 映像は分割画面で再生されています。
- ⑧ 画面上から特定のチャンネルをクリックすると、タイムラインに指定された再生期間が表示されます。



- ⑨ 時間枠オプション [24h](#) [2h](#) [1h](#) [30m](#) を使用して、表示する時間単位を 24 時間→2 時間、1 時間、30 分に変更することができます
- ⑩ マルチ時間検索再生画面からのバックアップ方法は、[6.2.1 ビデオクリップバックアップ](#)をご参照ください。

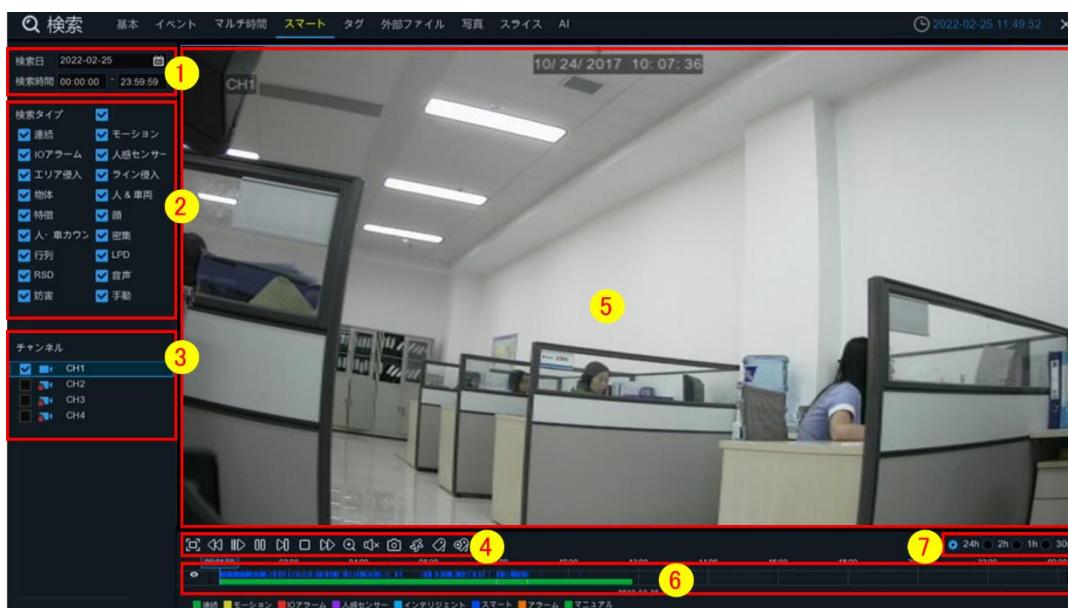
6.5 スマート再生

6.5.1 スマート検索・再生・バックアップ

スマートモードでの検索再生では、選択した1チャンネルの映像の中から、確認したい特定のエリアの変化を抽出・再生することができます。

◎スマート検索・再生操作は、
[検索](#)→[スマート](#)から設定できます。

6.5.1.1 <スマート検索再生画面の説明>




- ① 検索する日時を選択します。
- ② 録画タイプを選択します。
- ③ 検索したいチャンネルを選択すると、タイムラインに録画された時間帯が表示されます。
<この機能では複数のカメラを一度に選択することはできません。
1チャンネルの検索・再生のみをサポートしています。>
- ④ ▶再生をクリックして、再生を開始します。
再生コントロールバーで再生を制御します。
- ⑤ 映像が再生されます。
- ⑥ タイムラインの上部にあるカラーバーは、スマート検索で検索した時間です。
タイムラインの下部にあるカラーバーは、録画がされている全時間です。







- ⑦ 時間枠オプション(☒ 24h ☐ 2h ☐ 1h ☐ 30m)を使用して、再生表示時間を調整できます。
- ⑧ スマート検索再生画面からのバックアップ方法は、[6.2.1 ビデオクリップバックアップ](#)をご参照ください。

6.5.1.2 <スマートエリア設定>

1つ以上の特定のエリアを指定して、画面上の変化を絞り込むことができます。
再生コントロールバーの (スマート)をクリックすると、映像が全画面表示されます。
画面下の部分にあるスマートコントロールバーを使いエリアの設定を行います。



[スマートコントロールバー]



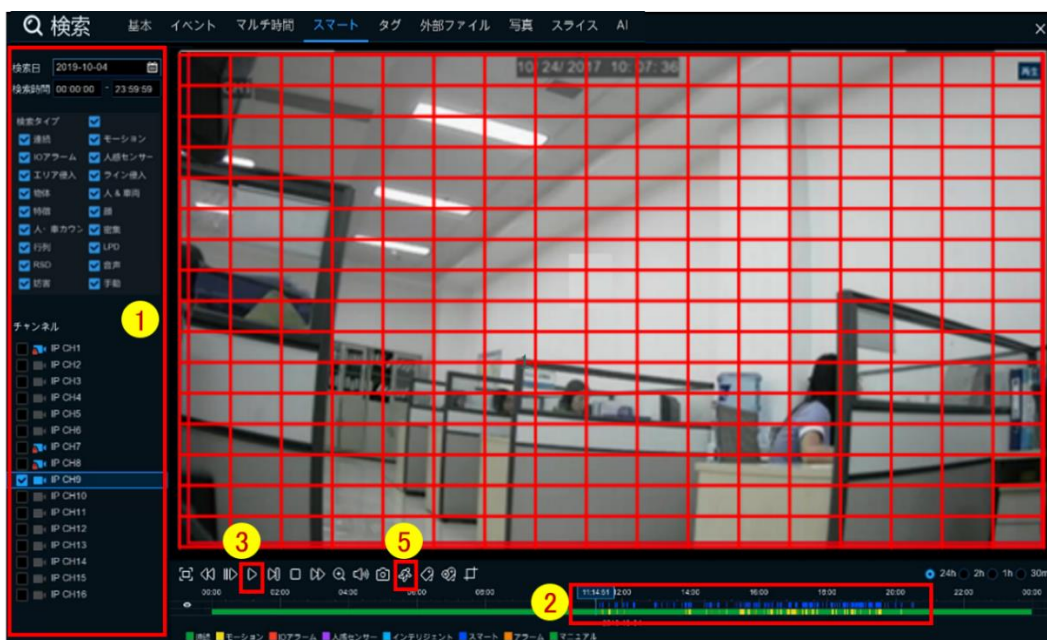
-  : 画面全体を検知エリアとして設定します。
-  : すべてのエリアを削除します。
-  : 設定したエリア内の変化を抽出し、再生します。
-  : 1つ前のスマート検索画面に戻ります。

検索エリアを設定する場合は、

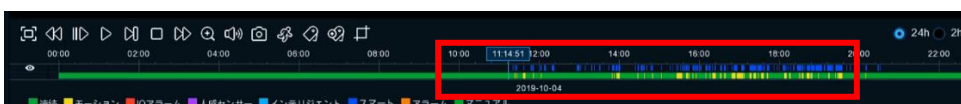
マウスをクリックしながらドラッグし、エリアを選択します。複数のエリアの設定が可能です。設定したエリアの範囲を追加・削除することも可能です。


 検索をクリックし  再生をクリックすると、設定したエリア内の変化のみを抽出し、再生を開始します。抽出した時間帯は、タイムラインに青色で表示されます。


6.5.1.3 <スマート検索・バックアップ方法>

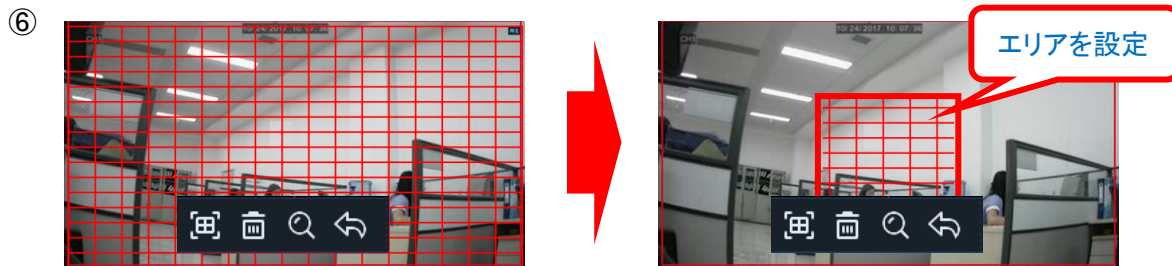


① 検索日・検索時間・検索タイプ・を設定し、検索したいチャンネルを 1 チャンネル選択します。



- ② タイムラインの上段に「スマート録画データ」が青色で表示されていることを、ご確認ください。
※ 青色で表示されていない場合は、録画データが存在しないため、スマート再生はできません。
- ③  再生をクリックして、録画データを表示します。
- ④ 画面にデータが表示されたら一時停止します。

⑤ 表示画面内でのスマートエリア検索を行う場合は、 をクリックしスマートエリア設定画面に入ります。



⑦ 画面内をマウスでドラックし、スマートエリアを設定します。

⑧  をクリックし、検索を開始します。

⑨ 画面が切り替わり、設定したエリアの変化を抽出し、自動再生されます。



※ 再生コントロールバーで調整してください。

⑩ スマート検索でのバックアップ方法は、まずタグを作成し、次にビデオクリップを使いバックアップを行ってください。

※ 詳細については、[6.6.1.1 タグ作成](#)と [6.2.1 ビデオクリップバックアップ](#)をご参照ください。

6.6 タグ再生

6.6.1 タグ作成・検索・再生・バックアップ

ライブ映像や録画映像に対しタグを作成することにより、データ検索をスムーズに行うことが可能になります。

◎タグ検索・再生操作は、
検索⇒タグから設定できます。

6.6.1.1 <タグ作成>

ライブ映像や録画映像に対するタグを作成することができます。



ライブ画面のカメラクイックツールバーからリアルタイム映像のカスタムタグを作成します。

※ 詳細は、[◎カスタムタグの作成](#)をご参照ください。

タグの作成方法は、2 種類あります。


A:デフォルトタグ(タグの名前は「Tag」になります)

B:カスタムタグ(任意の名前を設定します)

◎デフォルトタグの作成

再生コントロールバー



検索画面の  (デフォルトタグ)をクリックするだけで、自動的にタグが作成されます。

※ タグの作成は上記の手順だけで完了します。

◎作成したタグの確認方法

確認方法は「タグ検索」画面に移動し、「開始日時」「終了日時」「チャンネル」を選択し、検索してください。

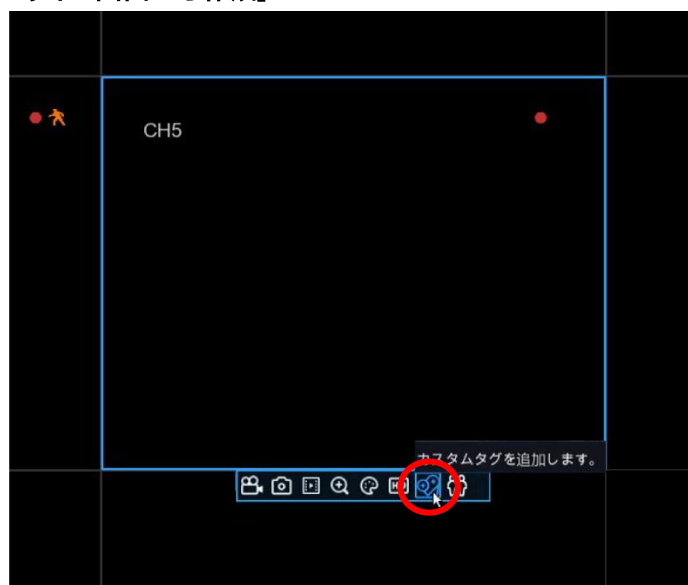
注意:「タグ検索」においての検索日時の設定は、タグを作成した日時ではなく、録画データが作成された日時になります。


タグの名前は、デフォルトタグで作成した場合は、自動的に「Tag」と設定されます。

※ カスタムタグで作成したデータを検索する場合は、「キーワード」検索欄にファイル名を入力して検索すると、より簡単に検索することができます。

◎カスタムタグの作成

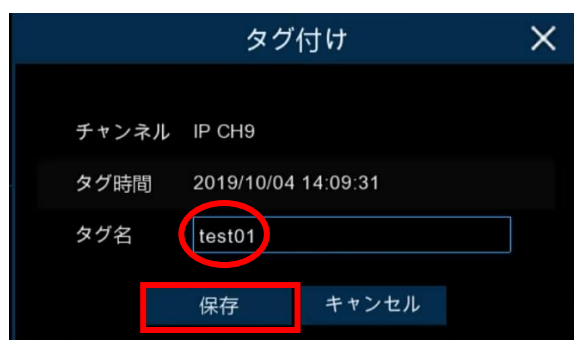
[A:ライブ画面から作成]



1  をクリックし、任意の名前を設定します。



- 2 **カスタムタグ**では、タグの名前を仮想キーボードで入力することができます。




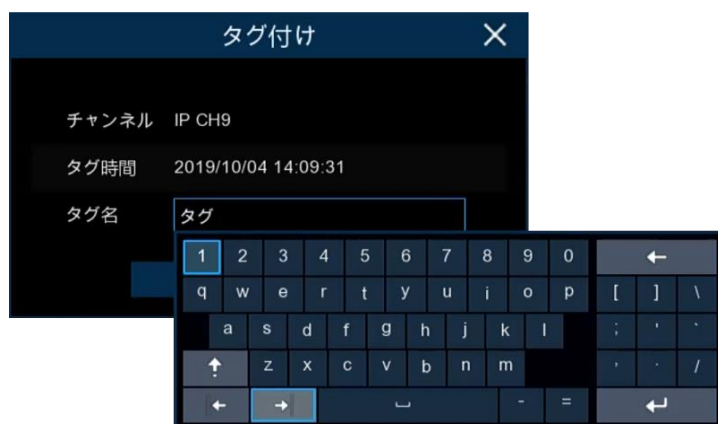
- 3 **保存** をクリックします。

[B:録画データの再生画面から作成]

再生コントロールバーから作成します。



1. 検索画面の  (カスタムタグ) をクリックします。



2. 任意の名前を設定します。

タグ付け ×

チャンネル IP CH9

タグ時間 2019/10/04 14:09:31

タグ名 test01

保存
キャンセル

3. 保存 をクリックします。

6.6.1.2 <タグ検索・再生画面の説明>


The screenshot shows the 'タグ検索・再生画面' (Tag Search and Playback Screen). It features a table of search results and a sidebar for channel selection. Numbered callouts indicate the following elements:

- ① 開始時間 (Start Time): 2019-09-05 00:00:00
- ② 終了時間 (End Time): 2019-09-05 23:59:59
- ③ キーワード (Keyword): Tag
- ④ チャンネル (Channel): IP CH1
- ⑤ 検索 (Search): Search icon
- ⑥ 再生 (Playback): Play button icon
- ⑦ 編集 (Edit): Edit icon
- ⑧ 削除 (Delete): Delete icon

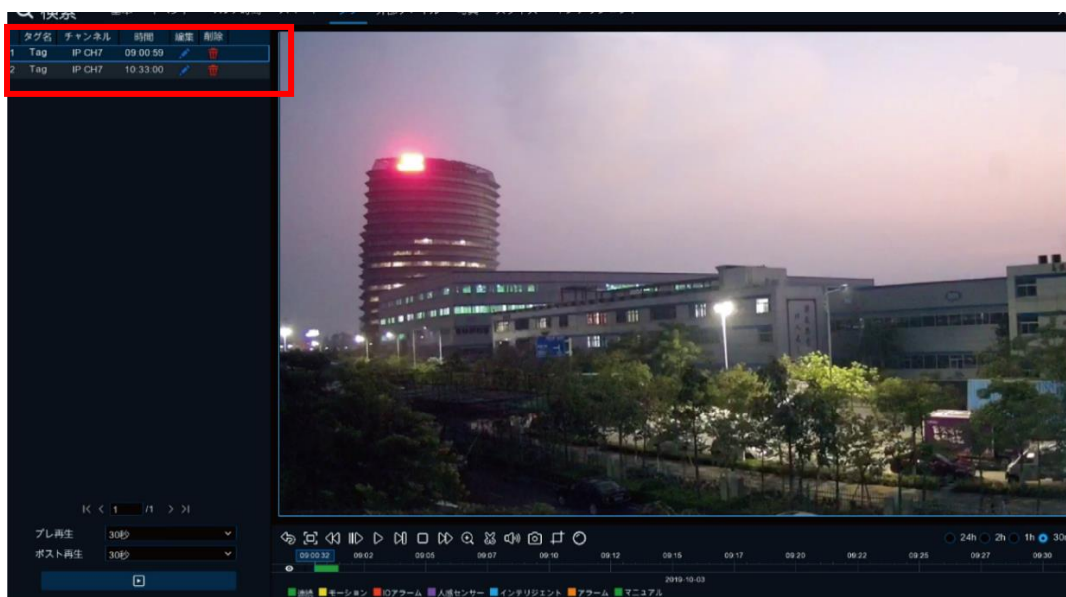
タグ名	チャンネル	日付	時刻	再生	編集	削除
1 Tag	CH2	04/09/2019	00:00:03			
2 Tag	CH2	04/09/2019	06:56:29			
3 Tag	CH2	04/09/2019	09:09:18			
4 Tag	CH2	04/09/2019	13:36:15			

- ① **開始時間**: 検索を開始する年月日を設定します。
- ② **終了時間**: 検索を終了する年月日を設定します。
- ③ **キーワード**: デフォルトタグ = 「Tag」、カスタムタグ = 「設定した名前」を入力します。
- ④ **チャンネル**: 検索したいチャンネルを選択します。
- ⑤ **検索**: 検索を開始します。
- ⑥ **再生**: をクリックして録画データを再生します。
- ⑦ **編集**: をクリックしてタグ名を編集します。
- ⑧ **削除**: をクリックしてタグをリストから削除します。

6.6.1.3 <タグ検索・再生・バックアップ方法>

1. 検索したタグのリストから再生を行います。
2. 再生したいデータの  をクリックします。

	タグ名	チャンネル	日付	時刻	再生	削除	バックアップ
1	Tag	CH2	04/09/2019	00:00:03			
2	Tag	CH2	04/09/2019	06:56:29			
3	Tag	CH2	04/09/2019	09:09:18			
4	タグ	CH2	04/09/2019	13:36:15			



3. ページが再生画面に切り替わり、選択したデータが自動再生されます。
※ その他のデータは、画面左にリストアップされます。その他のデータを再生したい場合は、データをダブルクリックしてください。
4. タグデータのバックアップは、[6.2.1 ビデオクリップバックアップ](#)をご参照ください。

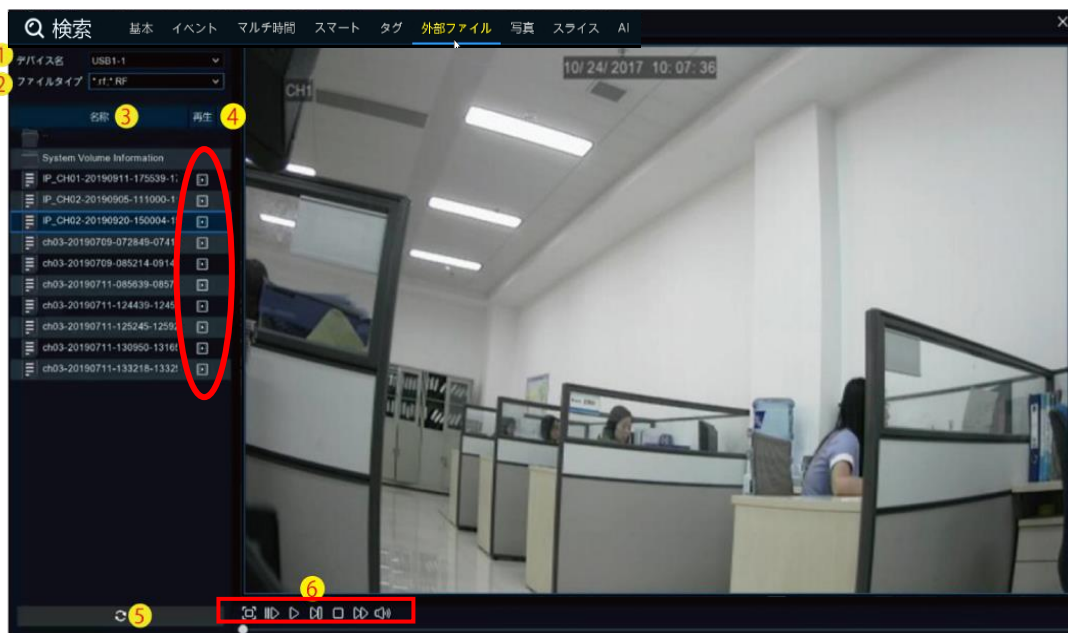
6.7 外部ファイル再生

6.7.1 外部ファイルの検索・再生

USB メモリからのデータを読み込み、レコーダーで再生することができます。

◎外部ファイルの検索・再生操作は、
検索➡外部ファイルから操作できます。

6.7.1.1 <外部ファイルの検索・再生画面の説明>

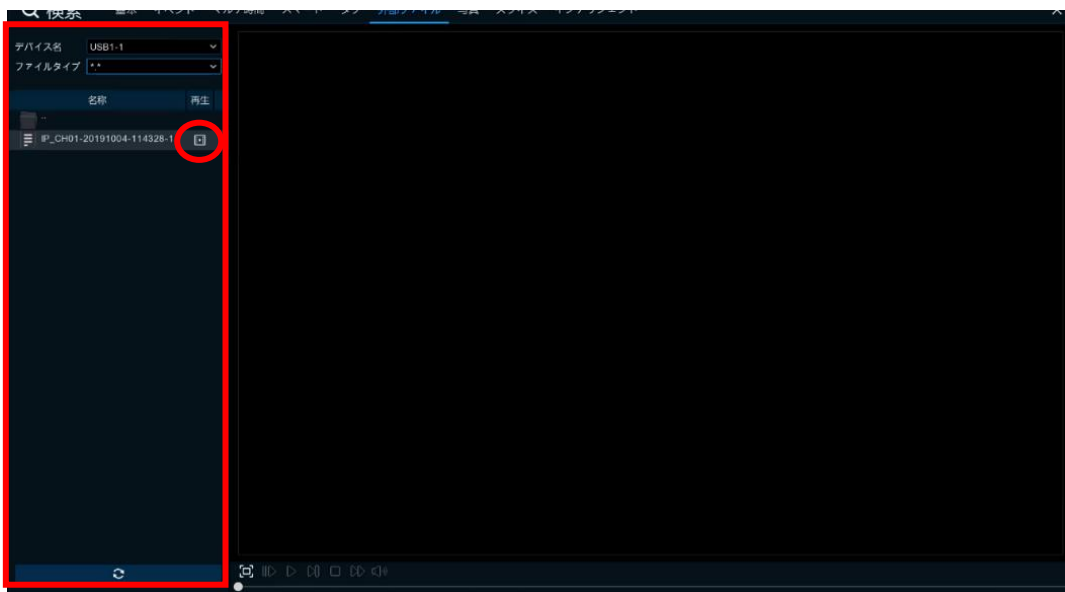



- ① デバイス名: USB メモリ名
- ② ファイルタイプ: 検索したいファイルデータの拡張子を選択します。
※ すべてのファイルを選択する場合は「*.*」を選択します。
- ③ 名称: ファイル名
- ④ 再生: クリックすると再生が開始します。
- ⑤ 更新: USB メモリの読み込みを更新します。
- ⑥ 再生コントロールバー

6.7.1.2 <外部ファイルの検索・再生方法>



1. USB メモリをレコーダーに接続します。
2. 外部ファイル検索画面に入ります。
3. 「デバイス名」「ファイルタイプ」を選択します。



4. 再生したいファイルを確認し、ファイル名の横の  再生をクリックします。

6.8 写真再生

6.8.1 写真検索・再生・バックアップ

この機能では、スナップショットの検索、再生、USB メモリへのバックアップを行うことができます。


◎写真検索・再生操作は、
検索→写真から設定できます。

6.8.1.1 <写真検索画面の説明>





- ① 検索したい日時を選択してください。
- ② 検索タイプを選択します。
- ③ チャンネルを選択します。
- ④ 🔍 検索開始
- ⑤ 検索条件に合った写真が表示されます。
写真をダブルクリックすると拡大表示されます。
- ⑥ 画面の右下にある「<< 4 /15 >>」をクリックして、次のページに移動します。
または閲覧したいページを入力します。
- ⑦ 画面の右下に表示されているアイコンの下をクリックすると、リストの表示方法をサムネイルから詳細表示に切り替えることができます。
サムネイル表示: イベントの画像がサムネイルで表示されます。
リスト表示: リストとして表示されます。

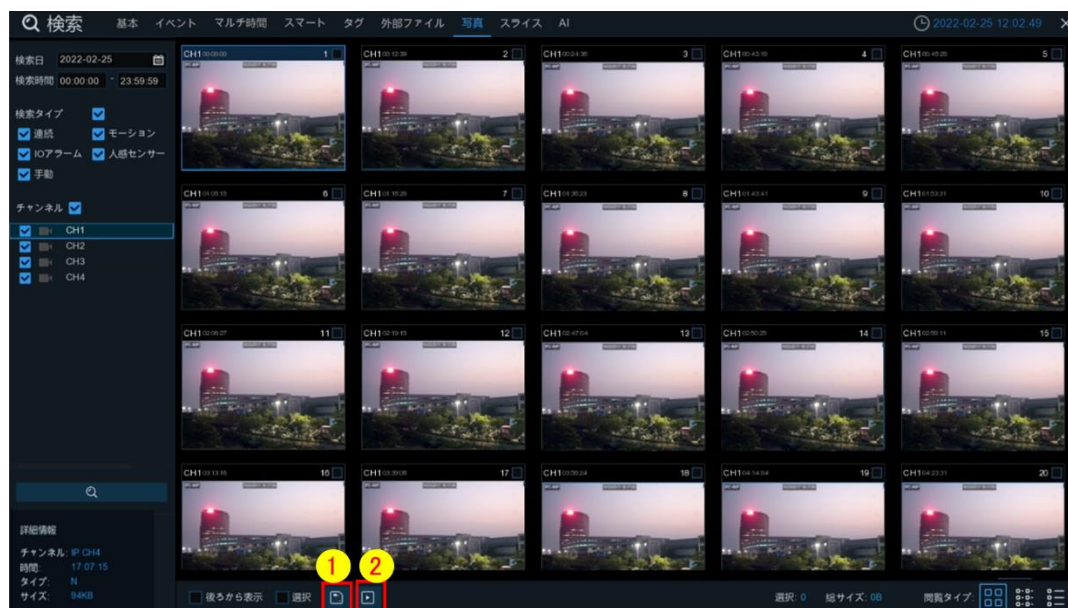
<input type="checkbox"/> 1 CH1 00:00:00	<input type="checkbox"/> 2 CH1 00:00:45	<input type="checkbox"/> 3 CH1 00:18:30	<input type="checkbox"/> 4 CH1 00:44:03	<input type="checkbox"/> 5 CH1 01:10:48	<input type="checkbox"/> 6 CH1 01:19:22	<input type="checkbox"/> 7 CH1 01:35:37
<input type="checkbox"/> 9 CH1 02:01:12	<input type="checkbox"/> 10 CH1 02:25:38	<input type="checkbox"/> 11 CH1 02:43:17	<input type="checkbox"/> 12 CH1 03:02:08	<input type="checkbox"/> 13 CH1 03:08:37	<input type="checkbox"/> 14 CH1 03:10:01	<input type="checkbox"/> 15 CH1 03:14:54
<input type="checkbox"/> 17 CH1 04:07:23	<input type="checkbox"/> 18 CH1 04:19:35	<input type="checkbox"/> 19 CH1 04:36:40	<input type="checkbox"/> 20 CH1 05:00:20	<input type="checkbox"/> 21 CH1 05:24:12	<input type="checkbox"/> 22 CH1 05:45:55	<input type="checkbox"/> 23 CH1 05:04:07
<input type="checkbox"/> 25 CH1 05:41:12	<input type="checkbox"/> 26 CH1 05:44:25	<input type="checkbox"/> 27 CH1 07:01:42	<input type="checkbox"/> 28 CH1 07:20:43	<input type="checkbox"/> 29 CH1 07:31:23	<input type="checkbox"/> 30 CH1 07:48:04	<input type="checkbox"/> 31 CH1 08:17:33
<input type="checkbox"/> 33 CH1 08:50:34	<input type="checkbox"/> 34 CH1 09:07:05	<input type="checkbox"/> 35 CH1 09:25:12	<input type="checkbox"/> 36 CH1 09:44:07	<input type="checkbox"/> 37 CH1 09:46:08	<input type="checkbox"/> 38 CH1 10:00:52	<input type="checkbox"/> 39 CH1 10:14:18
<input type="checkbox"/> 41 CH1 10:45:57	<input type="checkbox"/> 42 CH1 11:12:48	<input type="checkbox"/> 43 CH1 11:20:27	<input type="checkbox"/> 44 CH1 11:48:18	<input type="checkbox"/> 45 CH1 12:07:25	<input type="checkbox"/> 46 CH1 12:30:12	<input type="checkbox"/> 47 CH1 12:44:43
<input type="checkbox"/> 49 CH1 13:06:48	<input type="checkbox"/> 50 CH1 13:30:46	<input type="checkbox"/> 51 CH1 13:37:51	<input type="checkbox"/> 52 CH1 13:57:01	<input type="checkbox"/> 53 CH1 14:10:24	<input type="checkbox"/> 54 CH1 14:11:16	<input type="checkbox"/> 55 CH1 14:18:12
<input type="checkbox"/> 57 CH1 14:40:31	<input type="checkbox"/> 58 CH1 14:44:42	<input type="checkbox"/> 59 CH1 14:48:38	<input type="checkbox"/> 60 CH1 15:15:44	<input type="checkbox"/> 61 CH1 15:39:06	<input type="checkbox"/> 62 CH1 16:01:07	<input type="checkbox"/> 63 CH1 16:16:00

 **詳細ビュー:** 詳細情報が表示されます。

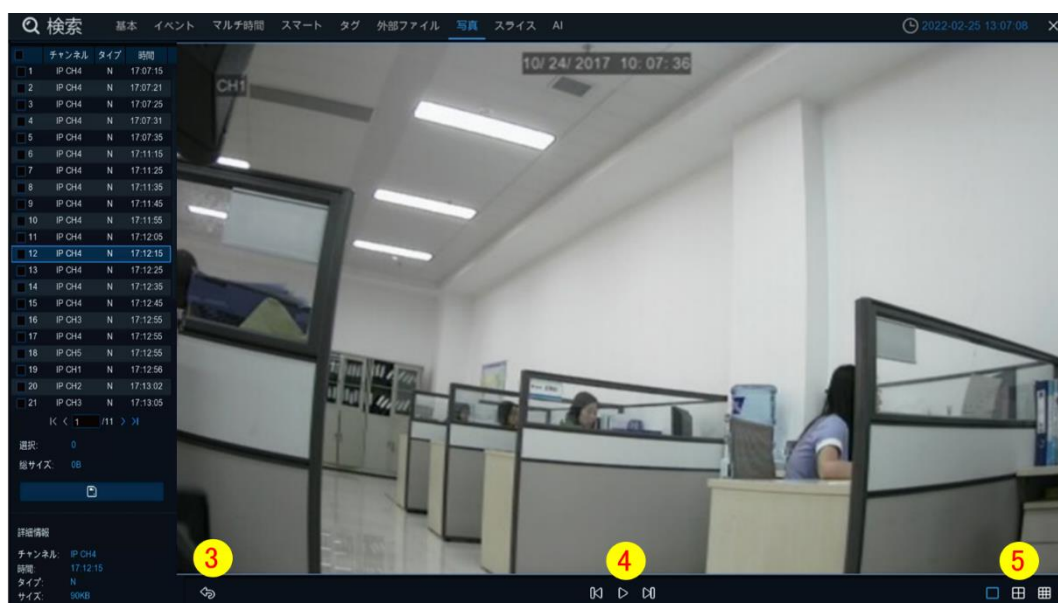
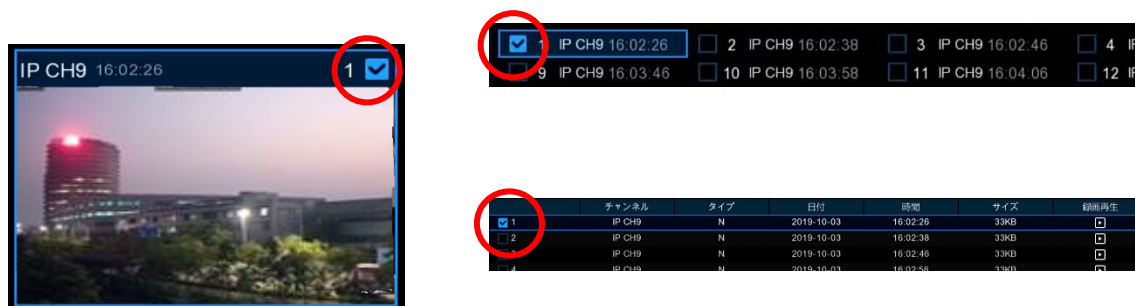
	チャンネル	タイプ	日付	時刻	サイズ	再生
<input type="checkbox"/> 1	CH5	N	03/28/2019	17:01:52	165KB	<input type="checkbox"/>
<input type="checkbox"/> 2	CH7	N	03/28/2019	17:01:52	176KB	<input type="checkbox"/>
<input type="checkbox"/> 3	IP CH5	N	03/28/2019	17:01:52	187KB	<input type="checkbox"/>
<input type="checkbox"/> 4	CH5	N	03/28/2019	17:01:57	166KB	<input type="checkbox"/>
<input type="checkbox"/> 5	CH7	N	03/28/2019	17:01:57	176KB	<input type="checkbox"/>
<input type="checkbox"/> 6	IP CH5	N	03/28/2019	17:01:58	185KB	<input type="checkbox"/>
<input type="checkbox"/> 7	CH5	N	03/28/2019	17:02:02	165KB	<input type="checkbox"/>
<input type="checkbox"/> 8	IP CH5	N	03/28/2019	17:02:02	185KB	<input type="checkbox"/>
<input type="checkbox"/> 9	CH7	N	03/28/2019	17:02:03	175KB	<input type="checkbox"/>
<input type="checkbox"/> 10	CH5	N	03/28/2019	17:02:07	165KB	<input type="checkbox"/>
<input type="checkbox"/> 11	CH7	N	03/28/2019	17:02:07	176KB	<input type="checkbox"/>











- ⑧ ファイルをマウスで指定すると、検索画面の左下にファイルの詳細情報が表示されます。
- ⑨ 降順で表示されます。
- ⑩ イベント番号の横にあるチェックボックスにチェックを入れて、選択します。
ページ内のすべての写真を選択する場合は、**選択**の左横にあるボックスにチェックを入れます。
- ⑪ ファイルを選択した後、 をクリックして USB メモリに写真を保存します。
(クイックバックアップの詳細については、[6.3.3 イベント検索とクイックバックアップ](#)をご参照ください。)
または  再生をクリックして画像の再生画面に移動します。
- ⑫ 選択したファイル数、合計サイズ情報が表示されます。

6.8.1.2 <写真検索・再生・バックアップ方法>



日時・検索タイプ・チャンネルを設定し、🔍 をクリックして検索を開始します。



1. 検索結果から保存したいデータにチェックを入れ、 バックアップをクリックして USB メモリに保存します。
※ バックアップ方法は、[6.3.3 イベント検索とクイックバックアップ](#)をご参照ください。
2. 他のデータを続けて再生する場合は、 をクリックします。画面が切り替わり、スライドショーで写真が表示されます。
3.  を押して、画像検索画面に戻ります。
4.  を押すと一時停止し、 を押すとスライドショーが再開します。
 を押すと前のスナップショットまたはスナップショットのデータが表示され、
 を押すと次のスナップショットまたはスナップショットのデータが表示されます。
5. 1 画面に表示する場合は、 をクリックし、一度に 4 つのスナップショットを表示する場合は、 をクリックし、9 つのスナップショットを表示する場合は、 を選択します。

6.9 スライス再生

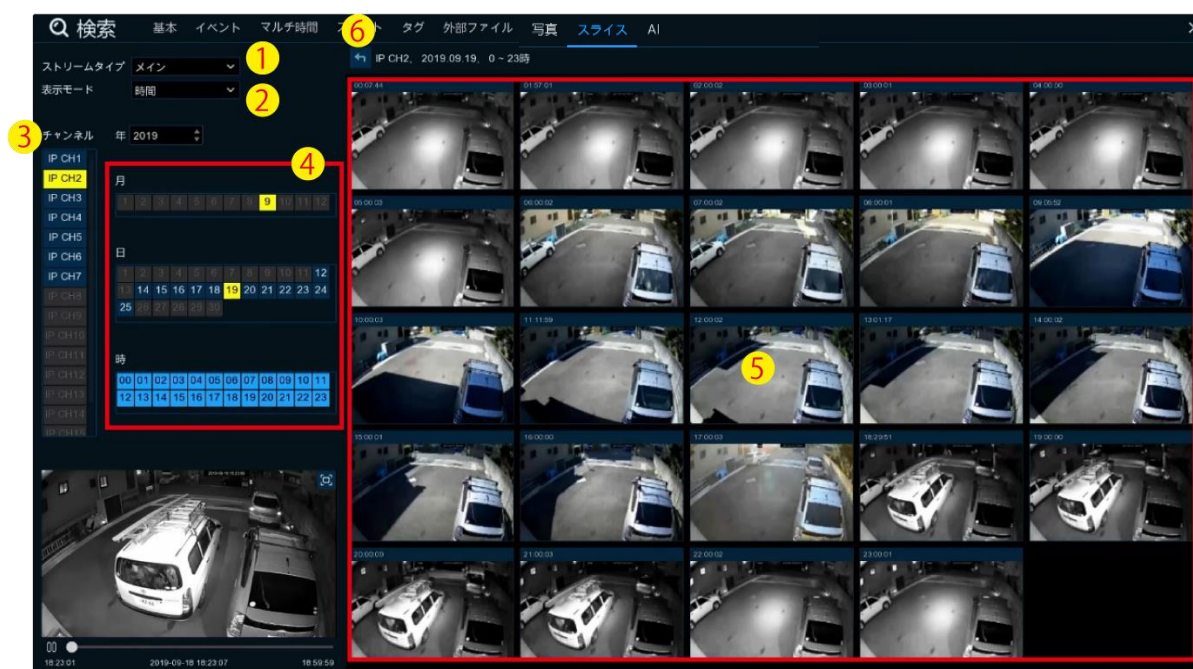
6.9.1 スライス検索・再生・バックアップ


録画チャンネルの 1 日分のデータを 24 分割(1 時間毎)または 60 分割(1 分毎)にスライスして録画データを確認することができます。

◎スライス検索・再生操作は、
検索→スライスから操作できます。

6.9.1.1 <スライス検索画面の説明>

[分割画面の説明]

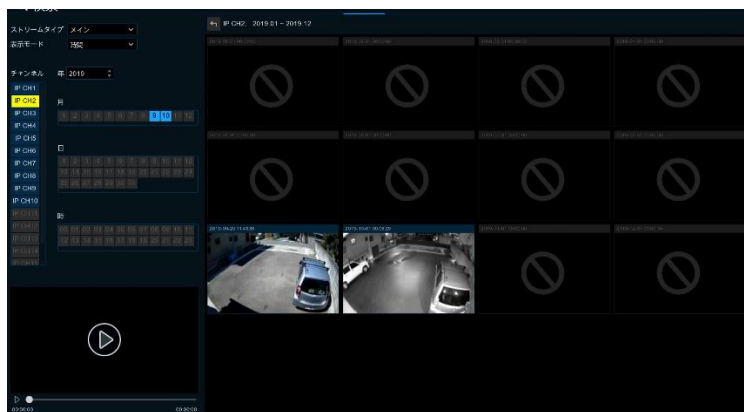


- ① ストリームタイプを選択します。
- ② 表示モードを選択します。
- ③ チャンネルを選択します。
- ④ 検索したい年、月、日、時をクリックし選択します。
 ※ 検索日を設定した時点で、0 時～24 時までを 1 時間単位の 24 分割で録画データが表示されます。
 ※ 時間まで選択すると、1 分ごとの録画データが 60 分割でモニター表示されます。
- ⑤ 再生したい画像をクリックすると、左下の再生画面に自動再生されます。
 ※ 60 分割表示画像をダブルクリックすると、大きな画面にて再生確認できます。
- ⑥  をクリックすると、ひとつ前の画面に戻ります。

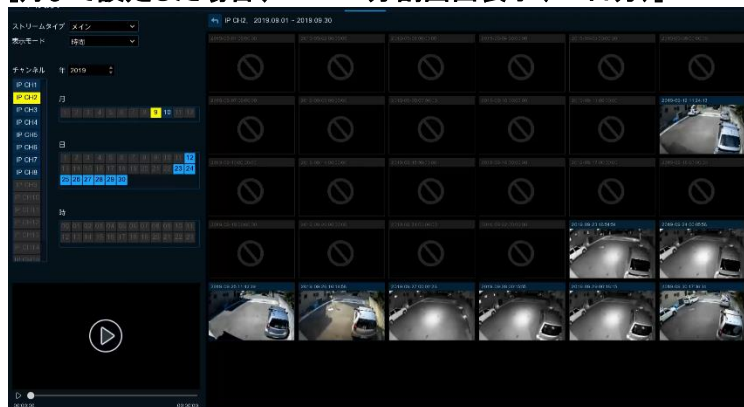
6.9.1.2 <スライス検索・再生・バックアップ方法>

1. ストリームタイプ・表示モード・チャンネルを設定します。

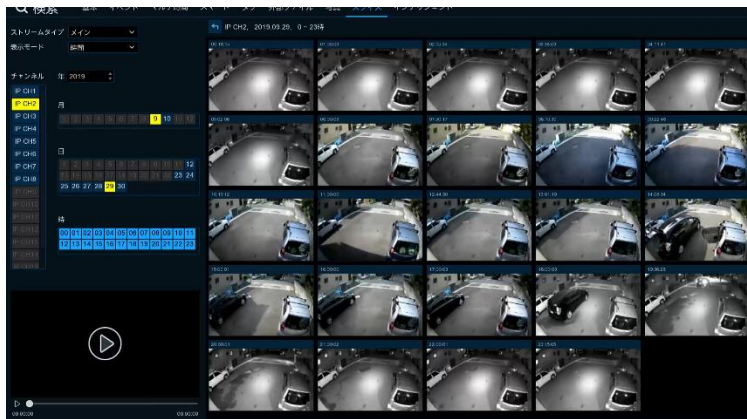
[年まで設定した場合、12 分割画面表示(12 ヶ月分)]



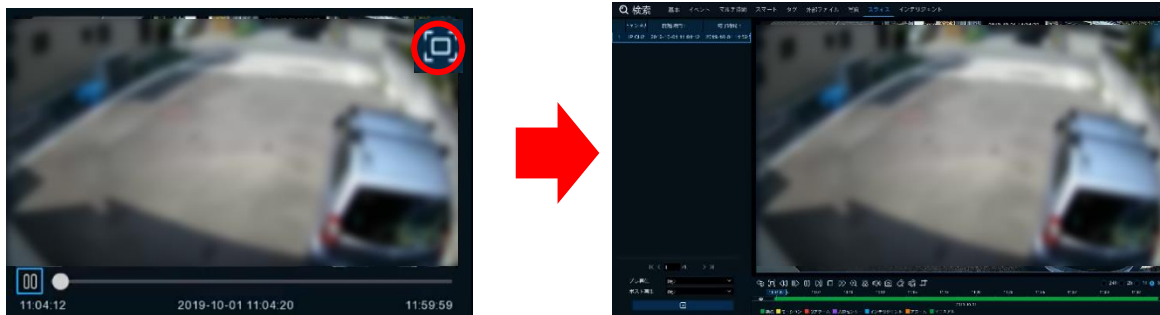
[月まで設定した場合、28～31 分割画面表示(31 日分)]




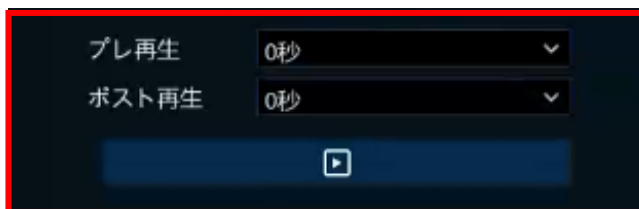
[日まで設定した場合、24 分割画面表示(24 時間分)]



2. 年・月・日・時間を設定するごとに、右側には該当する画像データが分割表示されます。
3. 表示された画像をクリックすると、左下の再生画面で録画データが自動的に再生されます。




※ 画面右上の  をクリックすると画面が切り替わり、再生映像が拡大されます。



プレ再生・ポスト再生: 再生しているデータの再生開始・終了時間を変更することができます。

例: 13:00:00～13:59:59 がオリジナルデータ(右側の再生画面のデータ)の場合、

プレ再生=5分、ポスト再生=2分に設定

 をクリックすると再生時間が、
12:55:00～14:01:59 で再生されます。

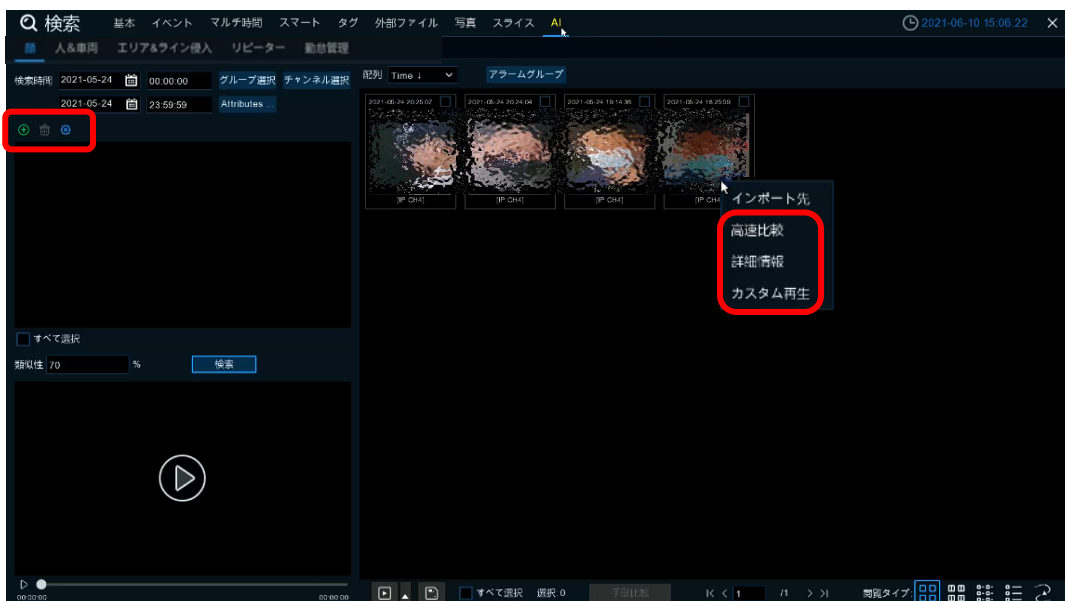
4. バックアップの方法は、[6.2.1 ビデオクリップバックアップ](#)をご参照ください。

6.10 AI 再生

6.10.1 顔


日付、時刻、チャンネル、グループを選択し、[検索]をクリックすると、この特定の時刻とグループのすべての顔情報を検索できます。

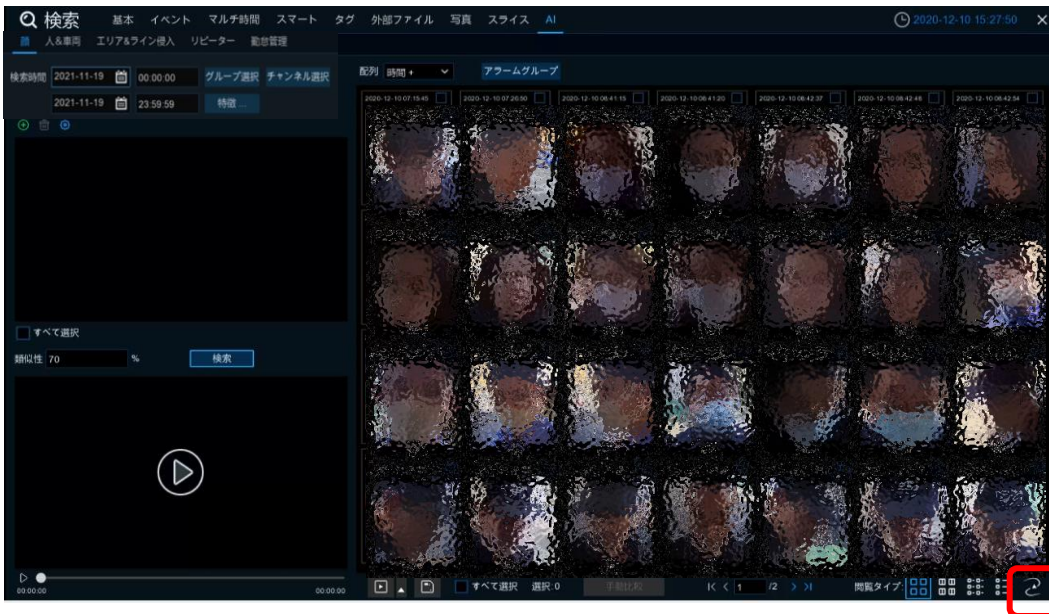
◎AI(人物の顔・人&車両)検索・再生操作は、
検索→AIから操作できます。




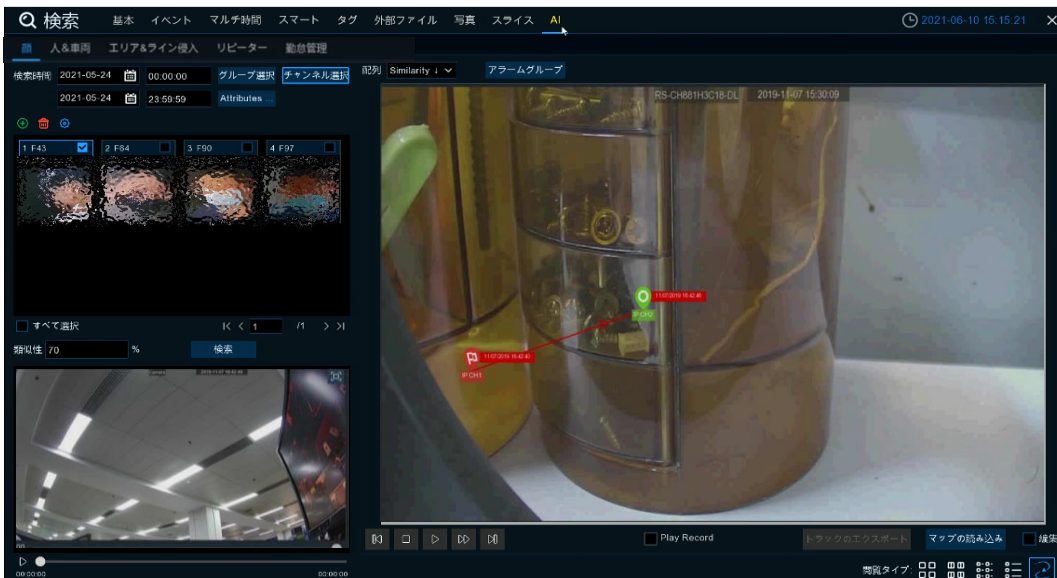
🔍 をクリックして検索顔を追加するか、マウスを右クリックして[高速比較]を選択して検索します。🗑️ をクリックして写真を削除し、🔍 をクリックするとAI 管理インターフェースに入ります。写真をグループにインポートするには、[インポート]をクリックします。詳細な顔情報を表示するには、[詳細情報]をクリックします。この顔が検出されたときに再生するには、[カスタム再生]をクリックします。🔍 をクリックして別の表示タイプを選択します。

6.10.1.1 <E-マップ>

右下隅のをクリックして、E マップ追跡メニューに入ります。



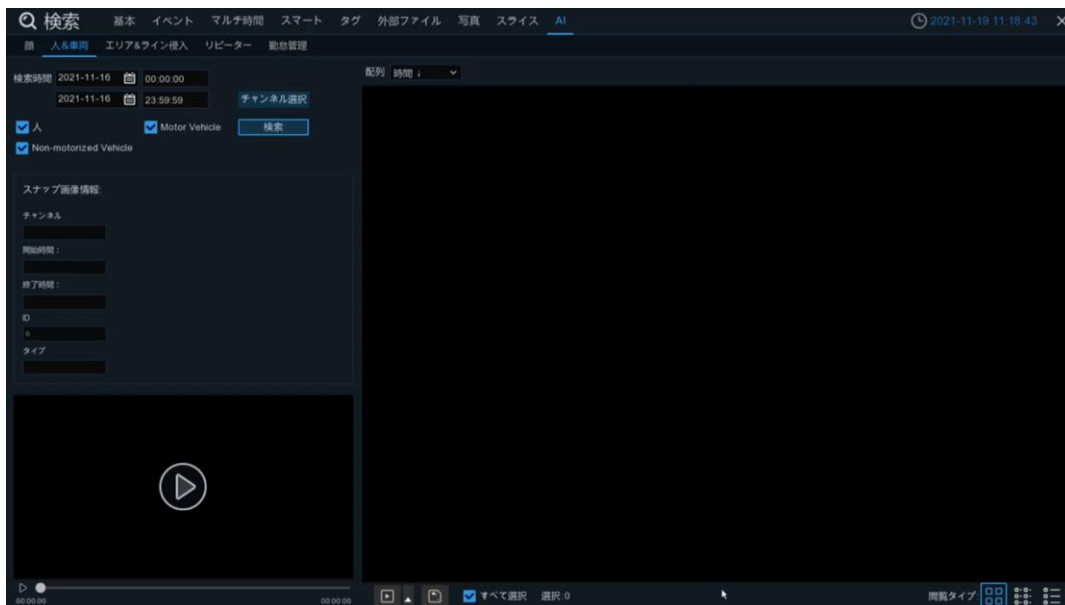
[マップの読み込み]をクリックして USB ディスクをポップアウトし、マップを追加します。
[編集]をクリックして IPC アイコンを目的の位置に移動し、クリックを解除して編集モードを終了します。次にをクリックし、ローカル顔管理リストまたは USB ディスクから顔を選択し、検索(1つの顔の検索のみをサポート)をクリックすると、この顔を検出した IPC を検索できます。マップ上にカラーマークが表示されます。



IPC アイコン上でマウスを左クリックして再生すると、右隅に簡単な再生が表示されます。
複数のカメラで1つの顔を検出すると、カメラはこの人物の移動方向を認識し、矢印を描画します。

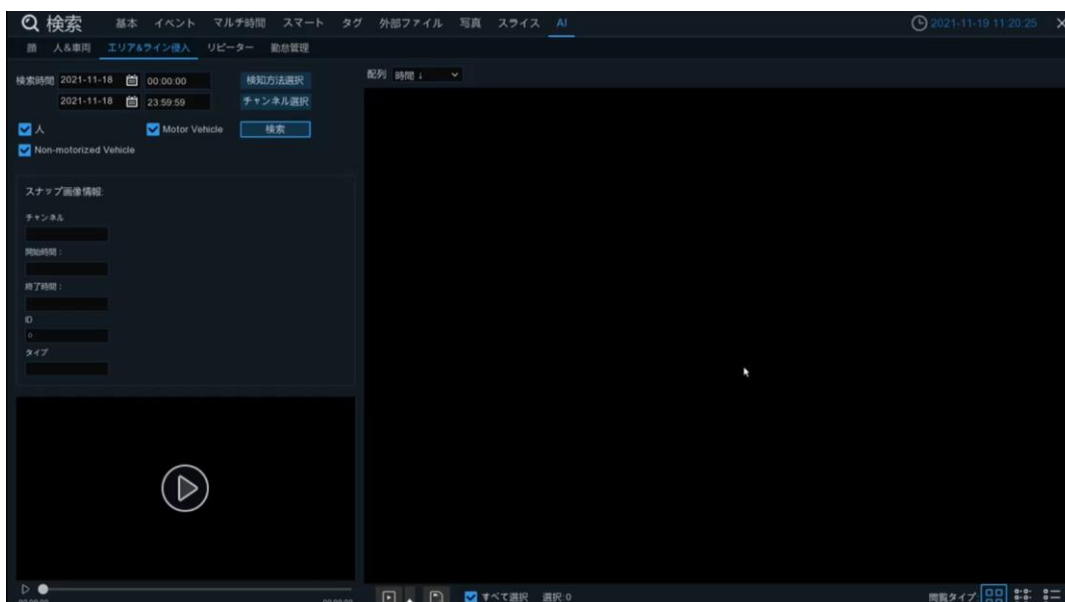
6.10.2 人&車両

日付、時刻、チャンネル、人・車両を選択し、[\[検索\]](#)をクリックすると、指定した時間からすべての人と車両の情報を検索します。



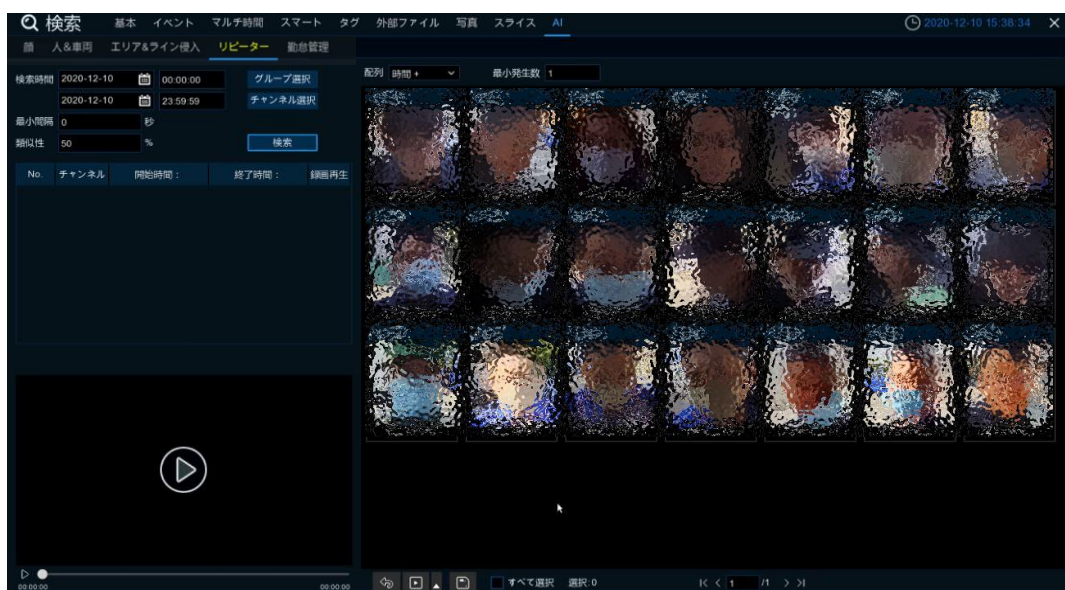
6.10.3 エリア&ライン侵入

日付、時刻、チャンネル、人・車両、検知方法(エリア侵入・ライン侵入)を選択し、[\[検索\]](#)をクリックすると、指定した時間からすべての人と車両のエリア&ライン侵入情報を検索します。



6.10.4 リピーター

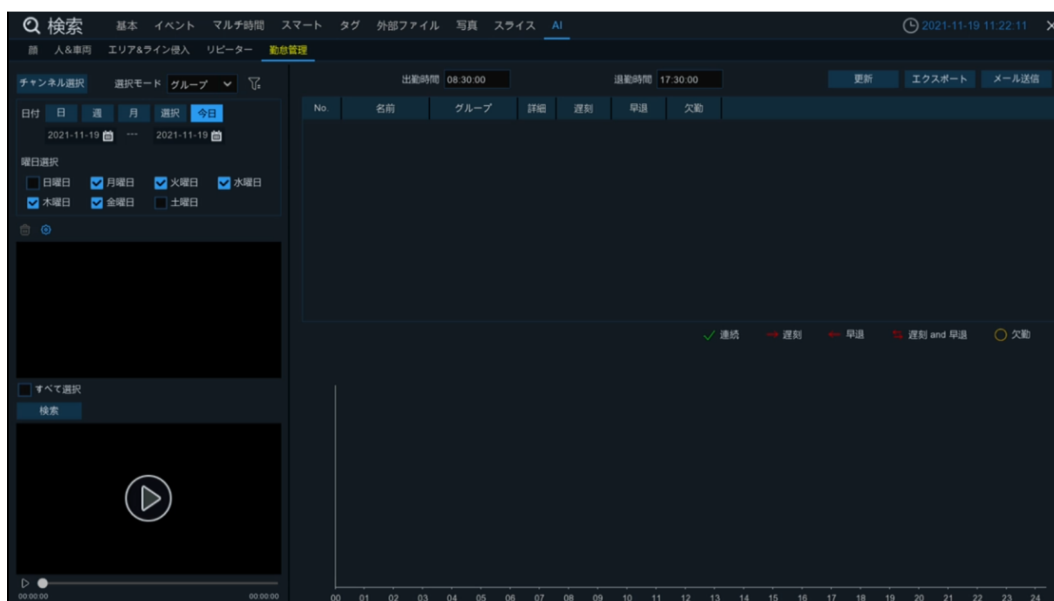
1つの顔が表われる回数を検索して計算します



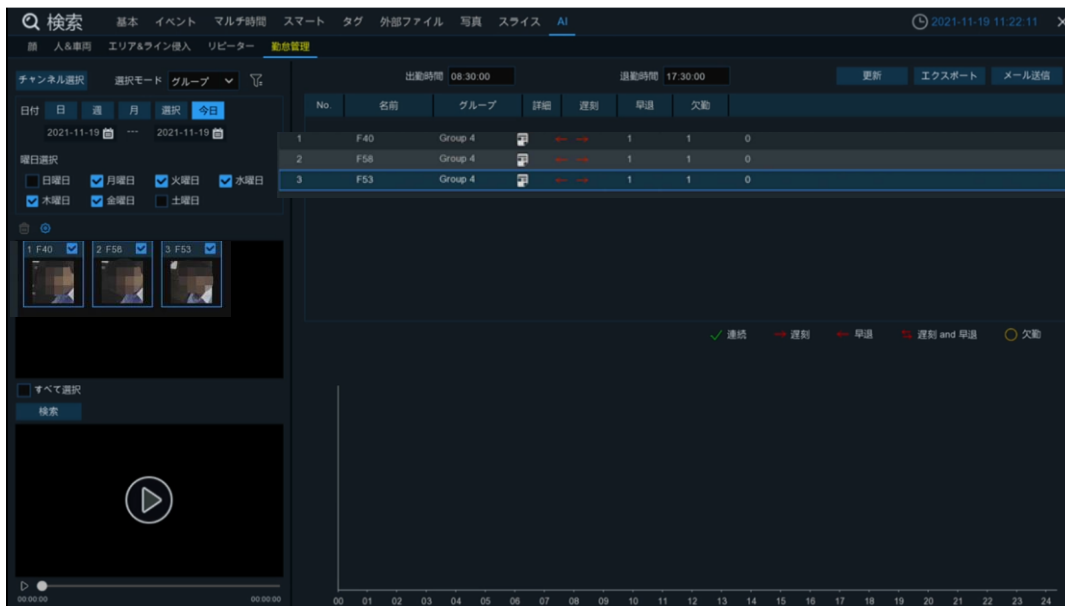
日時と期間を選択し、**[検索]**をクリックします。マウスを左クリックして結果を検索すると、左側に詳細な再生と情報が表示されます。マウスを右クリックして顔をインポートしたり、詳細情報を表示したりします。


6.10.5 勤怠管理

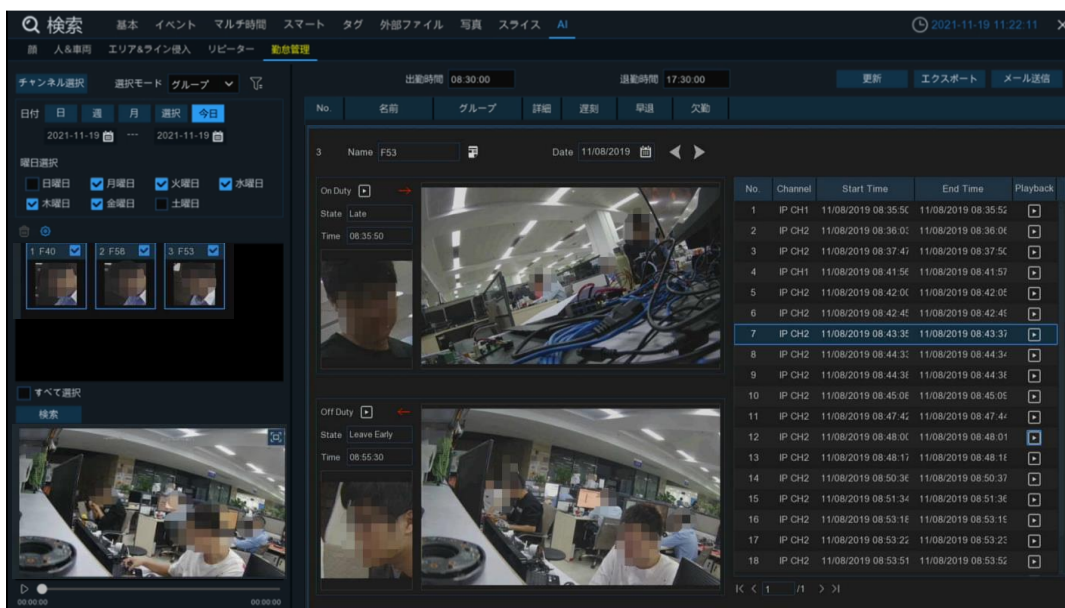
特定の時間に出勤したかどうかを確認し、遅刻か早退かを判断できます。




チャンネル、日付、曜日、グループを選択すると、このグループのすべての顔情報が自動的に表示されます。次に、検索する顔をクリックし、**[検索]**をクリックして結果を取得します。



結果を1つクリックすると、下部に検出されたすべてのレコードが表示されます。
 詳細アイコンをクリックして、詳細情報インターフェースに入ります。



最初から最後まで時間の詳細な勤怠情報を得ることができます。再生する場合は、左下隅のをクリックしてください。

6.11 フィルター再生

6.11.1 フィルター

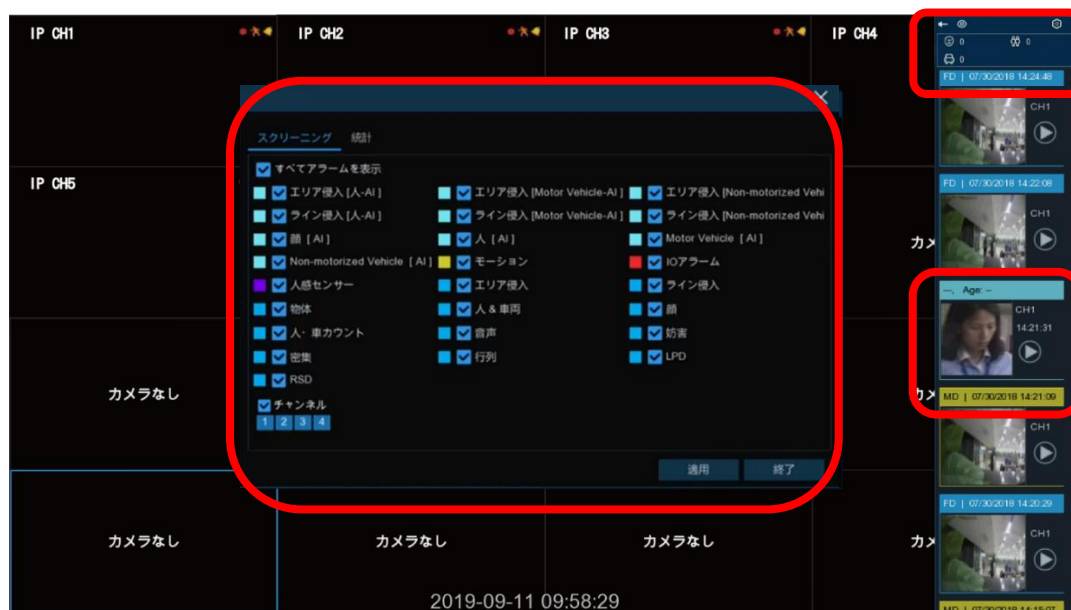
◎フィルター検索・再生操作は、
ライブビュー画面 →  から操作できます。

フィルターツール: フィルターツールは、通常、画面の右側に隠れています。

- ・マウスのカーソルを画面の一番右側に移動させると、フィルターが右側に現れます。
- ・マウスのカーソルがフィルター画面から離れ、ライブ画面上に移動すると、5 秒後に非表示になります。







[フィルター設定メニュー]





フィルター設定メニュー:




  : クリックすると、フィルターツールの自動ポップアップ、固定を切り替えることができます。

  : フィルターツールの表示、非表示マーク

 : アイコンをクリックすると、スクリーニングメニューが表示されます。

表示したいアラームとチャンネルを選択し、 をクリックします。

 : フィルターツールから再生したい画像をクリックすると、自動的に再生画面に移動します。

Chapter 7 パソコンでバックアップデータを再生

USB メモリにバックアップしたデータが RF ファイルの場合は、必ず、付属のソフト Video Player(ビデオプレーヤー)で再生してください。

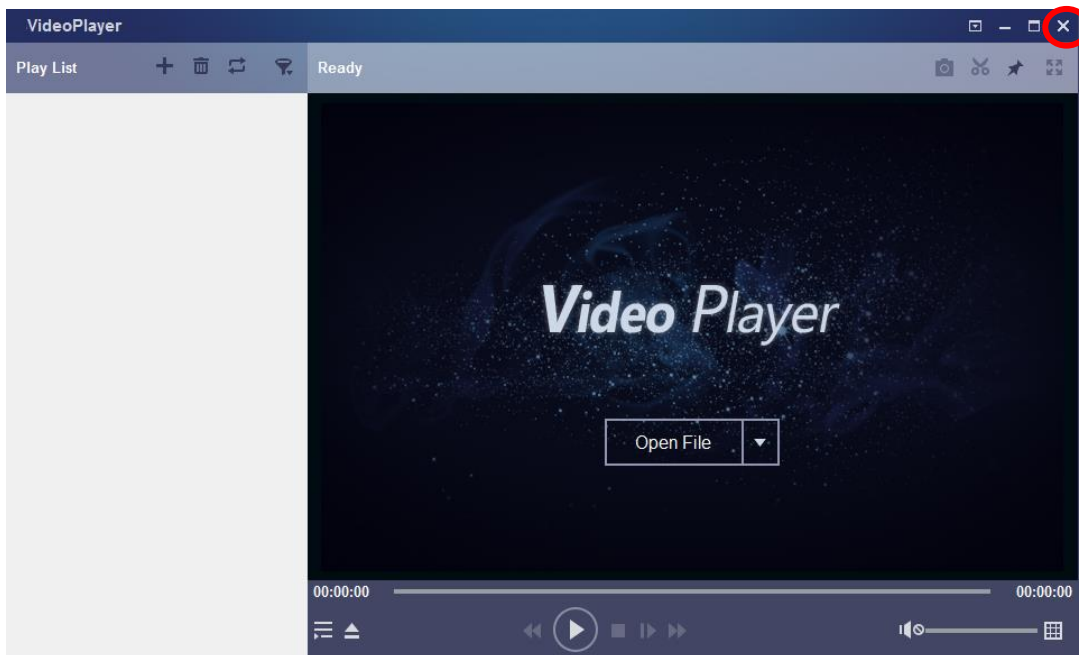
7.1 ビデオプレーヤーの操作方法

7.1.1 ソフトのインストール

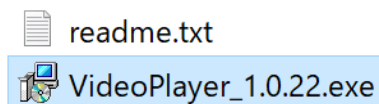
付属の CD から Video Player を PC にインストールします。

Mac ユーザーの場合は、アプリ **VideoPlayer_1.0.15.dmg** をインストールしてください。

Windows ユーザーの場合は、ソフトウェア **VideoPlayer_1.0.22.exe** をインストールしてください。



1. 付属 CD の「Video player」をインストールします。



2. インストールが完了すると自動で「VideoPlayer」が起動します。
※ 「VideoPlayer」のショートカットアイコン  が、デスクトップに作成されています。
3. ソフトを終了する場合は、ソフト右上の  をクリックします。

7.1.2 ビデオプレーヤー再生画面の説明



① Play List(プレイリスト)

- 追加ファイル
- ファイル削除
- 再生パターンからファイルの再生方法を選択します。
- ファイル名で絞り込む

② プレイリストを非表示/表示

- クリックしてファイル、またはフォルダを開きます。

③ 再生コントロール

- 再生
- 一時停止
- 停止
- フレームごとに再生します。1 クリック1フレームを再生。
- スロー再生速度、1/2、1/4、1/8、1/16
- 早送り再生速度、x2、x4、x8、x16

④ 音量調整

- マルチスクリーンを選択すると、一度に複数の映像を再生することができます。

⑤ スナップショット

- ビデオクリップ。動画をパソコンに保存します。
一度押すと開始し、もう一度押すと終了します。
- ビデオプレーヤーを常に画面上に表示させます。
- 再生画面をフルスクリーンに拡大

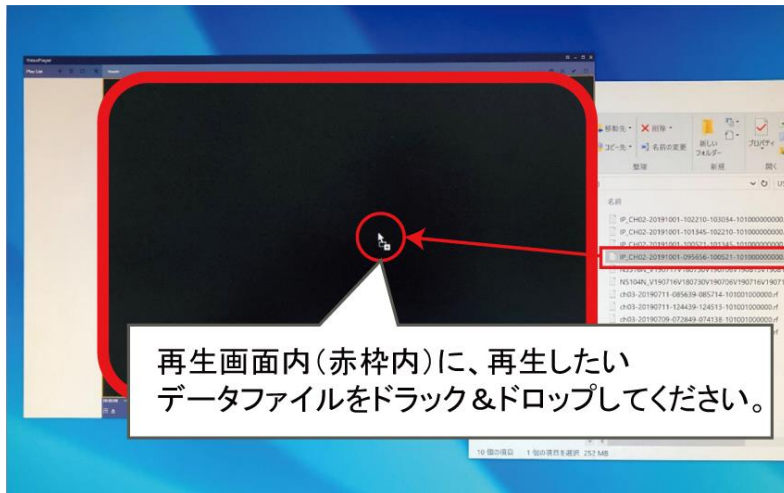
⑥ 詳細設定メニュー: ビデオプレーヤーの表示方法やキャプチャーした画像の保存先を設定します。

Basic Settings (基本設定): オントップモードを設定します。

キャプチャ設定: スナップショットを保存するための形式とパスを設定します。

7.1.3 バックアップデータの再生方法

1. PC に USB メモリを接続し、バックアップ先のフォルダーを開きます。
2. 再生したいファイルを「VideoPlayer」の画面にドラック&ドロップすると、自動的に映像が再生されます。
「.rf」、「avi」、「mp4」、「.264」、「.265」などファイルの追加と再生に対応しています。



Chapter 8 モバイルデバイスを介したリモートアクセス

レコーダーは、Android および iOS オペレーティングシステムに基づくモバイルデバイスを介したリモートアクセスをサポートしています。

1. Android デバイスの Google Play ストアまたは App Store または iOS デバイスから [RXCamView](#) を検索してインストールします。
2. アプリを実行すると、ライブビュー画面が表示されます。



3.  アイコンをタッチしてメニューを開き、「デバイスリスト」を選択し、+をタッチしてデバイスを追加します。



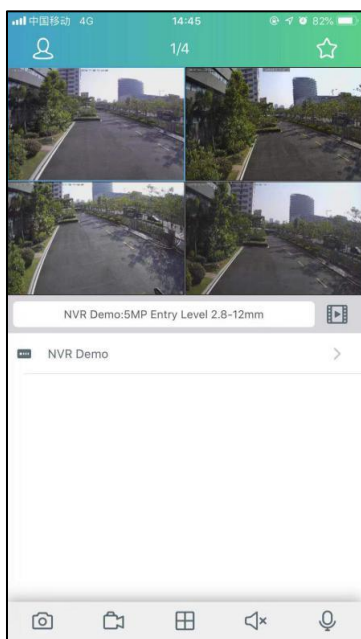
4. 「手動追加」を選択し、レコーダー情報を入力します。



新しいデバイスを追加する







- 1、**QRコードをスキャンする**: QRコードをスキャンしてデバイスを追加します
- 2、**オンライン検索**: 同じローカルエリアネットワークでデバイスを検索し、デバイスを検索して追加します
- 3、**手動追加**:
IP アドレス/ ID: IP アドレスを入力するか、P2PID を入力します。
メディアポート: NVR ネットワーク設定でメディアポートを入力します
ユーザー名/パスワード: レコーダーのユーザー名とパスワードを入力します。

5. すべての設定が完了したら、**保存**をタッチして保存します。デバイスが正常に接続されている場合、アプリはライブビュー表示に変わります。



-  1 画像表示
-  4 画像表示
-  6 画像表示
-  8 画像表示
-  9 画像表示
-  16 画像表示

注:アプリは1つの画面に最大16枚の画像を表示します。
画面をスライドして次の画面に移動すると、他の16枚の写真を表示できます。合計80枚の写真を表示できます。

-  画像をスナップ撮影する
-  ライブビューをモバイルデバイスに録画する
-  音量オン/オフ
-  デュアルウェイスピーカー
(レコーダーがサポートしている場合)
-  PTZ コントロール (IPC サポートの場合)
-  画像表示を閉じます
(ウインドウにこのアイコンがポップアウトするまで映像を
長押しして映像をドラッグし、このアイコンに移動して
ライブビューを閉じます)

Chapter 9 付録

9.1 トラブルシューティング

1. Q: システムが HDD を検出しない場合はどうすればよいですか？
A: 電源システムが正しく接続され、データコードと電源ケーブルがしっかりと接続されているかどうか、および HDD インターフェースに問題がないかどうかを確認してください。もしくは仕様や説明書を参照して、HDD がサポートされているかどうかを確認してください。
2. Q: パスワードを変更しましたが、新しいパスワードを忘れました。どうすればシステムにアクセスできますか？
A: システムパスワードを忘れた場合は、技術担当者にご相談ください。覚えやすく、比較的安全なパスワードを設定することを強くお勧めします。安全性を求める場合は、000000 などの単純なパスワードを設定しないでください。
3. Q: レコーダーとカメラを接続すると、異常なビデオ信号が表示されるか、ビデオ信号が表示されません。両方のデバイスの電源は OK です。なにが問題ですか？
A: レコーダー側のネットワークケーブルをチェックして、ケーブルがしっかりと接続されているかどうか、ケーブルが摩耗して交換する必要があるかどうか、または NTSC または PAL が一貫して選択されているかどうかを確認します。
4. Q: レコーダーが熱の影響を受けないようにするにはどうすればよいですか？
A: レコーダーは、実行中に熱を放散する必要があります。レコーダーの安定性と寿命を確保するために、レコーダーは、空気の循環が良好で熱源から離れた場所に配置してください。
5. Q: モニター画面に問題がなく、パネルキーが機能している間は、レコーダーのリモコンは機能しません。どうしてですか？
A: リモコンをフロントパネルの IR レシーバーに向けて再度操作してください。それでも動作しない場合は、リモコンの電池が切れていないか確認してください。そうでない場合は、リモコンが壊れていないか確認してください。
6. Q: PC から HDD を取り出してレコーダーにインストールしたい。それはできますか？
A: システムでサポートされているすべての HDD を使用できます。ただし、レコーダーが作動すると、HDD 上のデータは失われます。
7. Q: 録画しながら再生できますか？
A: はい。できます。
8. Q: レコーダーの HDD の一部のデータを削除できますか？
A: ファイルのセキュリティ上、記録の一部を削除できない場合があります。すべての記録を削除したい場合は、HDD をフォーマットすることができます。
9. Q: レコーダークライアントにログインできないのはなぜですか？
A: ネットワーク接続設定が正しく、RJ-45 ポートが良好に接触しているかどうかを確認してください。また、アカウントとパスワードが正しく入力されているか確認してください。
10. Q: 再生中に記録が見つからないのはなぜですか？
A: HDD のデータ回線接続に問題がなく、システム時刻が適切に調整されているか確認してください。数回試して、再起動してください。それでも機能しない場合は、HDD が壊れていないか確認してください。
11. Q: レコーダーが PTZ を制御できない理由は？
A: 次のことを確認してください。
 - a) 前面の PTZ が故障している。
 - b) PTZ デコーダーの設定、接続、およびインストールが正しくない。
 - c) レコーダーの PTZ 設定が正しくない。
 - d) PTZ デコーダーのプロトコルがレコーダーのプロトコルと一致しない。
 - e) PTZ デコーダーのアドレスがレコーダーのアドレスと一致しない。

- f) 多数のデコーダーが接続されている場合、反射抑制とインピーダンス整合を実現するために、PTZ デコーダーの AB ラインの最も遠い側に 120 Ω の抵抗を追加する必要があります。 そうしないと、PTZ 制御が不安定になります。
12. Q: 動的検知が機能しないのはなぜですか?
A: モーション検知時間とモーション検知領域の設定が正しいか、感度の設定が低すぎないか確認してください。
13. Q: アラームが機能しないのはなぜですか?
A: アラーム設定、アラーム接続、アラーム入力信号が正しいか確認してください。
14. Q: ブザーが鳴り続けるのはなぜですか?
A: アラームの設定、モーション検知機能が有効になっていて、常に物体の動きが検知されているか、I / O アラームが常時オフに設定されているかを確認してください。 また、対応する HDD アラーム設定を参照してください。
15. Q: 「STOP」ボタンを押すか、コンテキストメニューの「StopRecording」をクリックして録画を停止できないのはなぜですか?
A: [停止]または[録画の停止]を押すと、手動録画のみを停止できます。 特定の時間量でスケジュールされた録画を停止する場合は、設定を[録画なし]に変更してください。 スタートアップ録画を停止するには、録画モードをスケジュール録画または手動録画に変更してください。 その後、所定の方法で録画を停止することができます。 また、録画を停止する別の方法としては、録画設定でチャンネルをオフ状態として設定する方法があります。

9.2 メンテナンス

1. レコーダーをシャットダウンするには、最初にシステムをシャットダウンしてから、電源をオフにしてください。 直接電源を切らないでください。HDDデータが失われたり破損したりします。
2. レコーダーを熱源や高温となる場所から遠ざけてください。
3. 内部のほこりを定期的に清掃してください。熱放散するために、レコーダーの換気を確認してください。
4. オーディオケーブルとビデオケーブル、またはRS-232やRS-485などのポートに接続されているケーブルをホットプラグしないでください。ポートが損傷することがあります。
5. HDDケーブルとデータケーブルを定期的にチェックして、経年劣化していないか確認してください。
6. レコーダーのオーディオ信号とビデオ信号が他の電子機器に干渉されないようにし、HDDが静電気や誘導電圧によって損傷しないようにしてください。 ネットワークケーブルが頻繁に詰まる場合は、定期的にケーブルを交換することをお勧めします。入力信号が不安定になる可能性があります。
7. これはクラス A 製品です。電波障害が起こることがあるかもしれません。このような状況では、ユーザーが対策を講じる必要があります。

Chapter 10 付録

10.1 梱包物



☐ 電源アダプター



☐ 保証書



☐ USB マウス



☐ CD

10.2 設定内容

IP アドレス (イーサネット 1)	
IP アドレス (イーサネット 2)	
サブネットマスク	
DNS	
P2PID	
ポート	
Web ポート	
録画解像度	
画質(ビットレート)	
フレームレート	
メールアドレス(送信者)	
メールアドレス(受信者)	
その他	